

平成24年度  
まちづくりアンケート  
報告書

平成25年3月



長野市

# はじめに

この「まちづくりアンケート」は、市民の皆様のご意見・ご要望をお聴きし、市政に反映させることを目的として、昭和 57 年度から毎年度実施しております。

調査から得られた結果を十分精査し、より正確でスピーディーな事務処理や、きめ細かなサービスの提供に努めてまいります。

また、不断の行財政改革を推進し、効率的な財政運営による健全財政の堅持の下、さらなる市民サービスの充実・拡大に心を砕き、地域の特色を生かした魅力と個性のあふれるまちづくりを推進してまいります。

私は、「みんなの声が『ながの』をつくる」を政治姿勢の根幹に据え、市民の皆様のご理解とご協力の下、さまざまな施策に取り組んでまいりました。とりわけ、私の政策の大きな柱である「都市内分権の推進」については、市民自らの自治意識の確立を目指して取り組んでいるところであり、本アンケート調査の結果から、住民自治協議会とその活動について、市民の皆様のご理解が、着実に進んでいる傾向が伺えました。

本市としては、この結果に甘んじることなく、今後の地域の一層の発展のため、地域における自主的なまちづくり活動に対し、積極的な支援を行うとともに、この地で結ばれる全ての人々とともに、将来の夢を語り合える、希望あふれるまちを築き上げるため、一つ一つの施策を着実に進めてまいります。

結びに、本アンケートの実施に当たり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後も市政に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

長野市長 鷲澤 正一



# 目 次

1	調査の概要	1
2	調査分析結果	9
	広報活動について	10
	市立図書館の利用について	29
	選挙における投票行動について	42
	住民自治協議会について	50
	第四次長野市総合計画 施策の指標項目	66
	行政施策の満足度	71
	行政施策の優先度	79
3	アンケート用紙	85



---

# 1 調査の概要

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、満足度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの（昭和 57 年度から毎年度実施）

## (2) 調査対象

長野市内に在住の 20 歳以上の男女

## (3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成 24 年 10 月 16 日現在）からの等間隔無作為抽出

## (4) 標本総数

5,000 人

## (5) 調査方法

返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

## (6) 調査期間

平成 24 年 10 月 25 日（木）から 11 月 8 日（木）まで

## (7) 回収結果

有効（送達）標本数	5,000 通
無効（未送達、返送）標本数	0 通
回収標本数	3,178 通
回収率	63.6 %

## (8) 集計方法

電子計算機による集計（委託）

	有効標本数	構成比	回収数		回収率	
全体	5,000	100.0%	3,178	(性別不明)	63.6%	
20歳代	男性	336	6.7%	124	0	36.9%
	女性	317	6.3%	146		46.1%
30歳代	男性	438	8.8%	185	0	42.2%
	女性	456	9.1%	293		64.3%
40歳代	男性	486	9.7%	239	1	49.2%
	女性	461	9.2%	331		71.8%
50歳代	男性	417	8.3%	231	0	55.4%
	女性	411	8.2%	319		77.6%
60歳代	男性	449	9.0%	323	0	71.9%
	女性	516	10.3%	410		79.5%
70歳以上	男性	309	6.2%	254	4	82.2%
	女性	404	8.1%	305		75.5%
不明	-	-	13	-	-	

---

## (9) 調査項目

### 回答者の属性

- A 地域区分 市街地地域、市街地周辺地域、犀南地域、松代・若穂、中山間地域
- B 性別区分 男性、女性
- C 年代区分 20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上
- D 職業区分 [自営業主および家族従業員]  
農業・林業・漁業、工業、商業・自由業  
[会社員、公務員]  
会社員(事務系・技術系)、公務員・教員  
[その他]  
主婦、パート・アルバイト、無職(学生含む)、その他
- E 居住年数区分 5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上

### 設問テーマ

#### 広報活動について(企画政策部 広報広聴課)

広報紙やホームページなどについて市民の利用状況などを把握し、今後の広報活動に役立てるもの

#### 市立図書館の利用について(教育委員会 長野図書館・南部図書館)

身近な生涯学習施設である図書館に対して、市民がどのような意識を持っているかを調査し、今後の図書館運営の参考にする。

#### 選挙における投票行動について(選挙管理委員会事務局)

平成23年9月18日に執行した長野市議会議員一般選挙で投票した人、投票しなかった人の意識を調査し、今後の啓発事業の参考とする。

#### 住民自治協議会について(地域振興部 都市内分権課)

住民自治協議会が本格的に稼働して3年目を迎える中、住民がどのように受けとめているか調査し、今後の取り組みの参考にする。

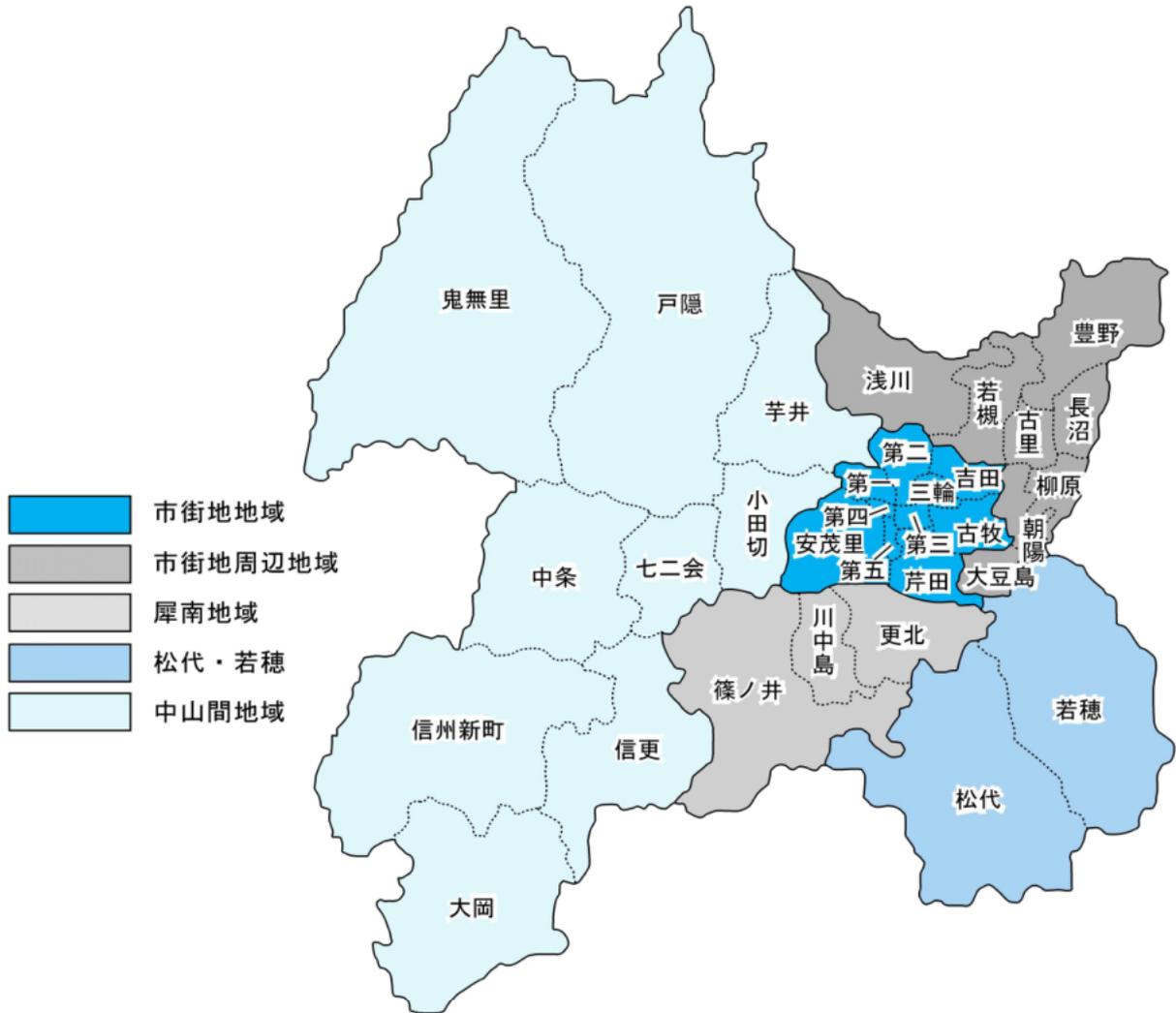
#### その他市政全般(企画政策部 企画課)

行政施策の満足度、優先度などについて継続的に統計をとり、第四次長野市総合計画の指標などに活用する。

## (10) 地域区分別回収状況一覧

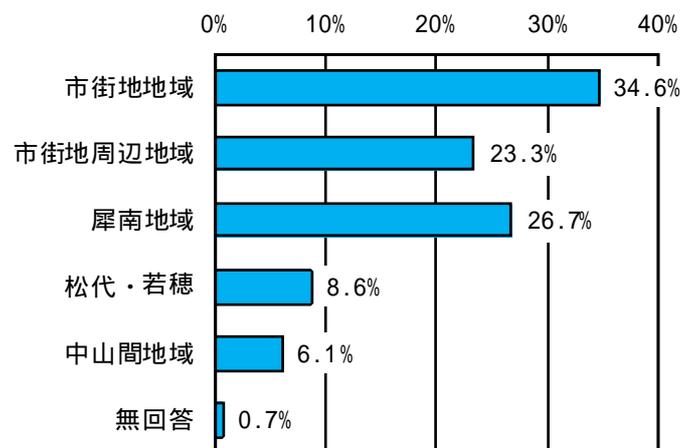
		抽出標本数			無効 標本数	有効 標本数	回収 標本数	有効標本 回収率
		男性	女性	合計				
市街地地域	第一	48	32	80	0	80	56	70.0%
	第二	79	87	166	0	166	91	54.8%
	第三	60	64	124	0	124	59	47.6%
	第四	17	19	36	0	36	33	91.7%
	第五	31	34	65	0	65	36	55.4%
	芹田	170	140	310	0	310	190	61.3%
	古牧	157	177	334	0	334	184	55.1%
	三輪	101	121	222	0	222	131	59.0%
	吉田	96	123	219	0	219	145	66.2%
	安茂里	146	146	292	0	292	173	59.2%
	小計	905	943	1,848	0	1,848	1,098	59.4%
市街地 周辺地域	古里	87	93	180	0	180	114	63.3%
	柳原	43	52	95	0	95	64	67.4%
	浅川	52	43	95	0	95	58	61.1%
	大豆島	72	92	164	0	164	109	66.5%
	朝陽	95	102	197	0	197	124	62.9%
	若槻	124	138	262	0	262	164	62.6%
	長沼	18	15	33	0	33	23	69.7%
	豊野	64	64	128	0	128	86	67.2%
	小計	555	599	1,154	0	1,154	742	64.3%
犀南 地域	篠ノ井	263	271	534	0	534	356	66.7%
	川中島	160	189	349	0	349	245	70.2%
	更北	210	222	432	0	432	247	57.2%
	小計	633	682	1,315	0	1,315	848	64.5%
松代 若穂	松代	129	111	240	0	240	165	68.8%
	若穂	77	87	164	0	164	109	66.5%
	小計	206	198	404	0	404	274	67.8%
中山間 地域	小田切	10	7	17	0	17	9	52.9%
	芋井	18	15	33	0	33	21	63.6%
	七二会	6	18	24	0	24	16	66.7%
	信更	18	13	31	0	31	22	71.0%
	戸隠	36	15	51	0	51	34	66.7%
	鬼無里	9	13	22	0	22	17	77.3%
	大岡	5	9	14	0	14	11	78.6%
	信州新町	27	34	61	0	61	43	70.5%
	中条	7	19	26	0	26	21	80.8%
	小計	136	143	279	0	279	194	69.5%
	不明(未記入)					22	-	
	合計	2,435	2,565	5,000	0	5,000	3,178	63.6%

(11) 地域区分図

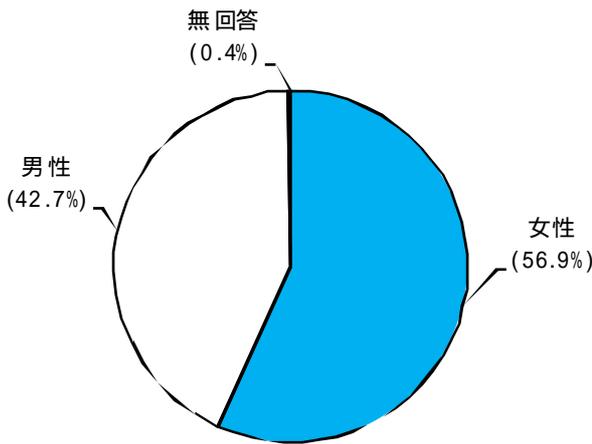


(12) 地域区分別サンプル構成

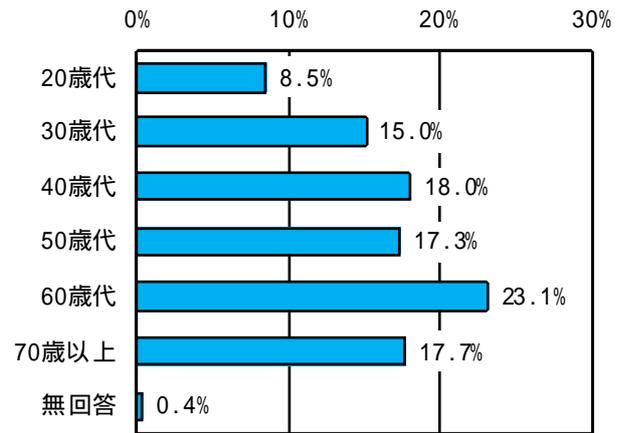
地域区分	地区名
市街地地域 (10地区)	第一地区、第二地区、第三地区、 第四地区、第五地区、芹田地区、 古牧地区、三輪地区、吉田地区、 安茂里地区
市街地周辺地域 (8地区)	古里地区、柳原地区、浅川地区、 大豆島地区、朝陽地区、 若槻地区、長沼地区、豊野地区
犀南地域 (3地区)	篠ノ井地区、川中島地区、 更北地区
松代・若穂 (2地区)	松代地区、若穂地区
中山間地域 (9地区)	小田切地区、芋井地区、 七二会地区、信更地区、戸隠地区、 鬼無里地区、大岡地区 信州新町地区、中条地区



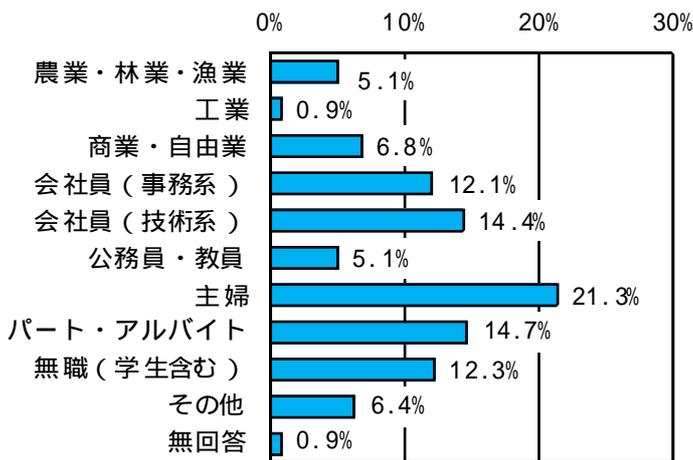
(13) 性別区分別サンプル構成



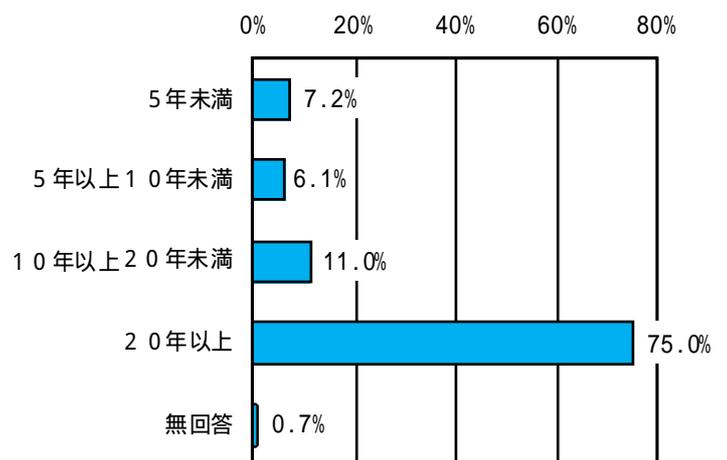
(14) 年代区分別サンプル構成



(15) 職業区分別サンプル構成



(16) 居住年数区分別サンプル構成



(17) 報告書の見方

調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記している。従って、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。

アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。

属性別の結果については、特徴的なもの、資料として重要と思われるものについて分析した。

なお、属性別にみた図表では、不明サンプルを表示していないため、標本数の合計が全体の標本数と異なる場合がある。

設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合がある。

## (18) 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度は95%とする。

(注) 信頼度95%：同じ調査を100回実施したときに、おおむね95回まではこの精度が得られることを示す。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \cong 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b：標本誤差（±少数ポイント）

N：母集団（人）

n：標本数（人）

P：回答比率（少数）

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

回答比率と標本誤差（信頼度95%の場合）

回答比率 (P) 標本数 n(人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%
3,000	1.07	1.43	1.64	1.75	1.79
2,000	1.31	1.75	2.01	2.15	2.19
1,500	1.52	2.02	2.32	2.48	2.53
1,000	1.86	2.48	2.84	3.04	3.10
500	2.63	3.51	4.02	4.29	4.38
300	3.39	4.53	5.19	5.54	5.66

上表は  $(N-n)/(N-1)$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

### 表の見方

例えば、ある設問の回答者数が1,500人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±2.48%ポイント以内（57.52～62.48%）である、と見ることができる。



---

## 2 調査分析結果

## 2 調査分析結果

### 広報活動について

#### 行政情報の取得手段 ～「広報ながの」が8割～

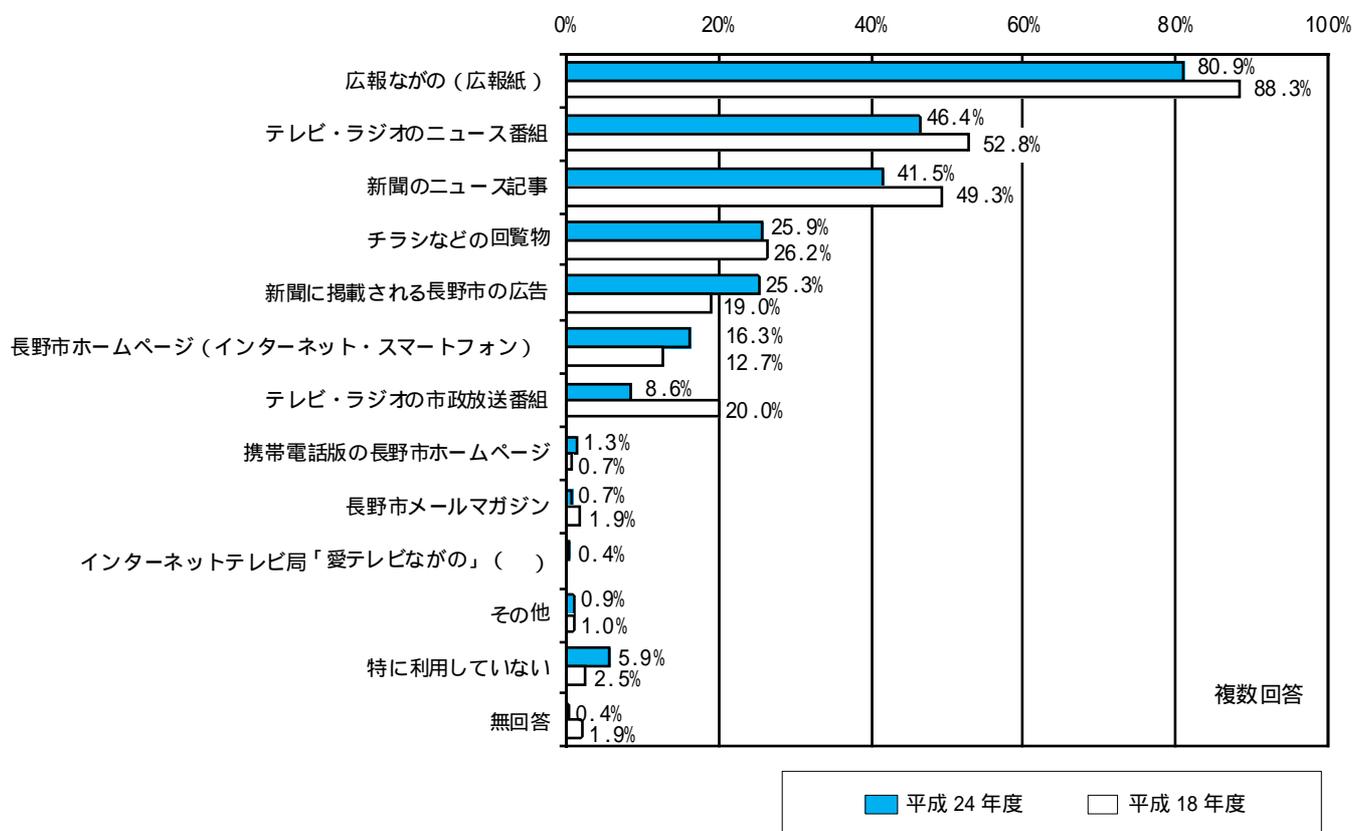
問1 あなたは長野市の行政情報を得るために、主にどの方法を利用していますか。利用頻度の多いものから3つ以内で選び、をしてください。(順番は問いません)

			広報 ながの	ホーム ページ	携帯 電話版 ホーム ページ	メール マガジン	愛テレビ ながの	市政 放送 番組	ニュース 番組	新聞 掲載の 市広告	新聞の ニュース 記事	回覧物	その他	特に 利用 して いない	無回答	対象
全体		度数	2,570	517	42	23	13	273	1,474	804	1,318	823	29	187	12	3,178
		割合	80.9%	16.3%	1.3%	0.7%	0.4%	8.6%	46.4%	25.3%	41.5%	25.9%	0.9%	5.9%	0.4%	
性別	男性	度数	1,028	266	22	13	8	125	585	310	609	300	16	112	4	1,358
		割合	75.7%	19.6%	1.6%	1.0%	0.6%	9.2%	43.1%	22.8%	44.8%	22.1%	1.2%	8.2%	0.3%	
	女性	度数	1,537	249	20	10	5	146	887	494	705	521	13	75	2	1,808
		割合	85.0%	13.8%	1.1%	0.6%	0.3%	8.1%	49.1%	27.3%	39.0%	28.8%	0.7%	4.1%	0.1%	
年代	20歳代	度数	129	68	14	1	0	20	107	49	78	28	2	54	0	270
		割合	47.8%	25.2%	5.2%	0.4%	0.0%	7.4%	39.6%	18.1%	28.9%	10.4%	0.7%	20.0%	0.0%	
	30歳代	度数	369	142	15	3	7	12	173	98	152	109	6	44	1	478
		割合	77.2%	29.7%	3.1%	0.6%	1.5%	2.5%	36.2%	20.5%	31.8%	22.8%	1.3%	9.2%	0.2%	
	40歳代	度数	459	130	5	4	2	27	247	132	230	136	6	39	1	571
		割合	80.4%	22.8%	0.9%	0.7%	0.4%	4.7%	43.3%	23.1%	40.3%	23.8%	1.1%	6.8%	0.2%	
	50歳代	度数	461	96	2	8	1	41	265	155	237	139	3	19	2	550
		割合	83.8%	17.5%	0.4%	1.5%	0.2%	7.5%	48.2%	28.2%	43.1%	25.3%	0.5%	3.5%	0.4%	
	60歳代	度数	644	55	4	2	3	75	385	214	351	238	8	17	1	733
		割合	87.9%	7.5%	0.5%	0.3%	0.4%	10.2%	52.5%	29.2%	47.9%	32.5%	1.1%	2.3%	0.1%	
	70歳以上	度数	502	24	1	5	0	98	296	154	268	172	4	14	0	563
		割合	89.2%	4.3%	0.2%	0.9%	0.0%	17.4%	52.6%	27.4%	47.6%	30.6%	0.7%	2.5%	0.0%	
地域区分	市街地地域	度数	887	209	14	6	5	83	506	285	453	276	2	65	0	1,098
		割合	80.8%	19.0%	1.3%	0.5%	0.5%	7.6%	46.1%	26.0%	41.3%	25.1%	0.2%	5.9%	0.0%	
	市街地周辺 地域	度数	592	115	8	7	0	63	354	189	319	201	9	44	1	742
		割合	79.8%	15.5%	1.1%	0.9%	0.0%	8.5%	47.7%	25.5%	43.0%	27.1%	1.2%	5.9%	0.1%	
	犀南地域	度数	695	136	13	5	5	82	406	204	350	210	10	50	2	848
		割合	82.0%	16.0%	1.5%	0.6%	0.6%	9.7%	47.9%	24.1%	41.3%	24.8%	1.2%	5.9%	0.2%	
	松代・若穂	度数	232	31	3	0	1	21	126	75	116	79	6	11	1	274
		割合	84.7%	11.3%	1.1%	0.0%	0.4%	7.7%	46.0%	27.4%	42.3%	28.8%	2.2%	4.0%	0.4%	
	中山間地域	度数	151	22	4	5	2	24	76	50	74	55	2	15	2	194
		割合	77.8%	11.3%	2.1%	2.6%	1.0%	12.4%	39.2%	25.8%	38.1%	28.4%	1.0%	7.7%	1.0%	

行政情報の主な取得手段としては、「広報ながの(広報紙)」が80.9%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオのニュース番組(46.4%)」、「新聞のニュース記事(41.5%)」が続いた。行政情報の伝達手段として、「広報ながの」が広く市民に浸透していることが分かった。

男女別で見ると、男女ともに「広報ながの(広報紙)」が最も多く、「男性」は「新聞のニュース記事(44.8%)」、「テレビ・ラジオのニュース番組(43.1%)」の順に、「女性」は、「テレビ・ラジオのニュース番組(49.1%)」、「新聞のニュース記事(39.0%)」の順となった。トップである「広報ながの(広報紙)」は、「男性」が75.7%であるのに対し、「女性」は85.0%と、女性の方が「広報ながの」をよく利用していることが分かった。

年代別では、どの年代も「広報ながの(広報紙)」が最も多く、年代が高くなるにしたがって、「広報ながの(広報紙)」と回答する割合も多くなっている。一方、「20歳代」では、「特に利用していない」という回答が20.0%に達し、他の年代に比べて際立っている。



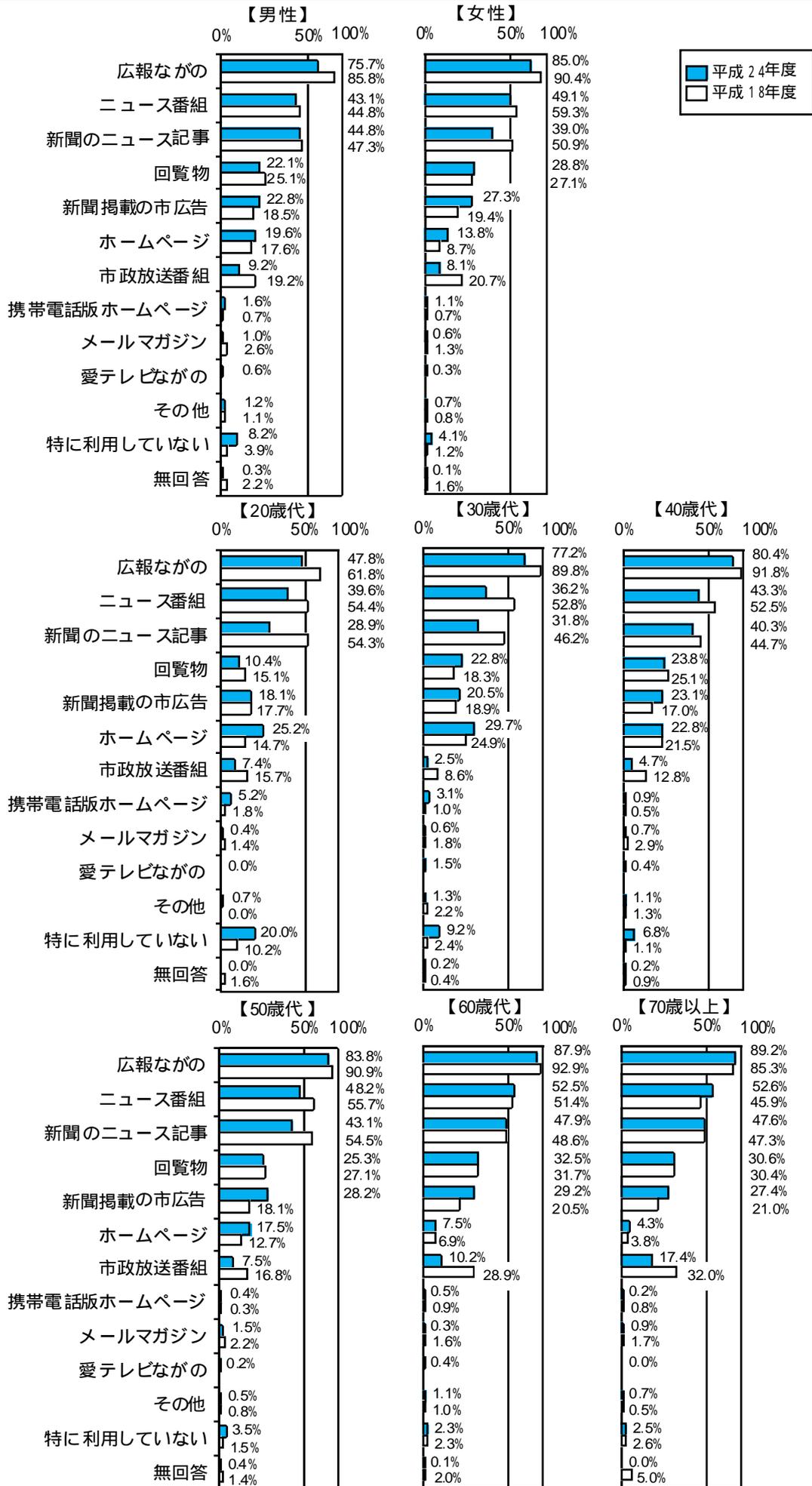
『インターネットテレビ局「愛テレビながの」』は今回調査からの新規選択肢

平成18年度に実施した調査結果と比較すると「広報ながの(広報紙)」、「テレビ・ラジオのニュース番組」、「新聞のニュース記事」、「テレビ・ラジオの市政放送番組」などといった回答が、平成18年度の回答割合を下回った。

そのうち「テレビ・ラジオの市政放送番組」は、平成18年度の値(20.0%)を11.4ポイント下回った。

一方で、「新聞に掲載される長野市の広告」、「長野市ホームページ」、「携帯電話版の長野市ホームページ」は、平成18年度の回答割合を上回った。

また、「特に利用していない」という回答も、平成18年度の回答割合を3.4ポイント上回り、5.9%となった。



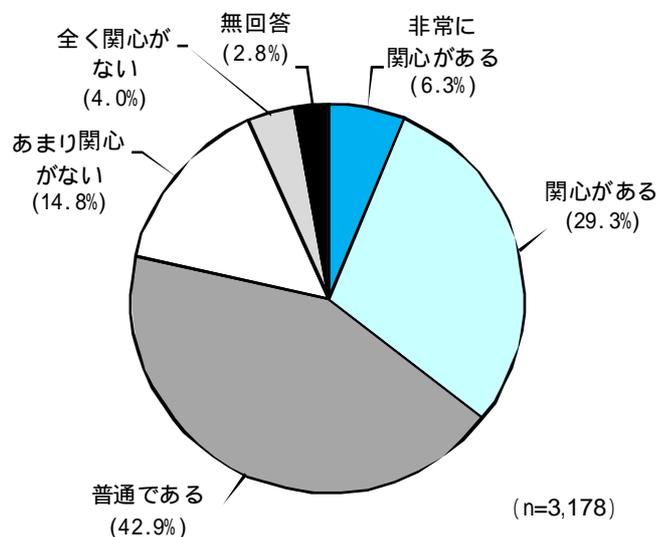
問2 「広報ながの」についてお伺いします。あなたは、「広報ながの」の掲載情報に関して、日頃どのように感じていますか。次の3つの観点から、それぞれ1つだけ をしてください。

掲載内容について

		非常に 関心がある	関心がある	普通である	あまり 関心がない	全く 関心がない	無回答	合計	
全体	度数	200	931	1,364	469	126	88	3,178	
	割合	6.3%	29.3%	42.9%	14.8%	4.0%	2.8%	100.0%	
性別	男性	度数	80	362	545	250	82	39	1,358
		割合	5.9%	26.7%	40.1%	18.4%	6.0%	2.9%	100.0%
	女性	度数	120	566	816	218	43	45	1,808
		割合	6.6%	31.3%	45.1%	12.1%	2.4%	2.5%	100.0%
年代	20歳代	度数	6	40	96	71	45	12	270
		割合	2.2%	14.8%	35.6%	26.3%	16.7%	4.4%	100.0%
	30歳代	度数	37	119	207	86	19	10	478
		割合	7.7%	24.9%	43.3%	18.0%	4.0%	2.1%	100.0%
	40歳代	度数	38	156	246	96	29	6	571
		割合	6.7%	27.3%	43.1%	16.8%	5.1%	1.1%	100.0%
	50歳代	度数	18	154	257	98	13	10	550
		割合	3.3%	28.0%	46.7%	17.8%	2.4%	1.8%	100.0%
	60歳代	度数	44	245	340	71	12	21	733
		割合	6.0%	33.4%	46.4%	9.7%	1.6%	2.9%	100.0%
	70歳以上	度数	57	214	215	46	7	24	563
		割合	10.1%	38.0%	38.2%	8.2%	1.2%	4.3%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	61	325	474	166	47	25	1,098
		割合	5.6%	29.6%	43.2%	15.1%	4.3%	2.3%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	46	221	303	119	28	25	742
		割合	6.2%	29.8%	40.8%	16.0%	3.8%	3.4%	100.0%
	犀南地域	度数	67	240	373	114	32	22	848
		割合	7.9%	28.3%	44.0%	13.4%	3.8%	2.6%	100.0%
	松代・若穂	度数	15	91	120	31	9	8	274
		割合	5.5%	33.2%	43.8%	11.3%	3.3%	2.9%	100.0%
	中山間地域	度数	11	49	87	34	8	5	194
		割合	5.7%	25.3%	44.8%	17.5%	4.1%	2.6%	100.0%

「広報ながの」の掲載内容については、「普通である」が 42.9%で最も多く、「関心がある (29.3%)」が続いた。

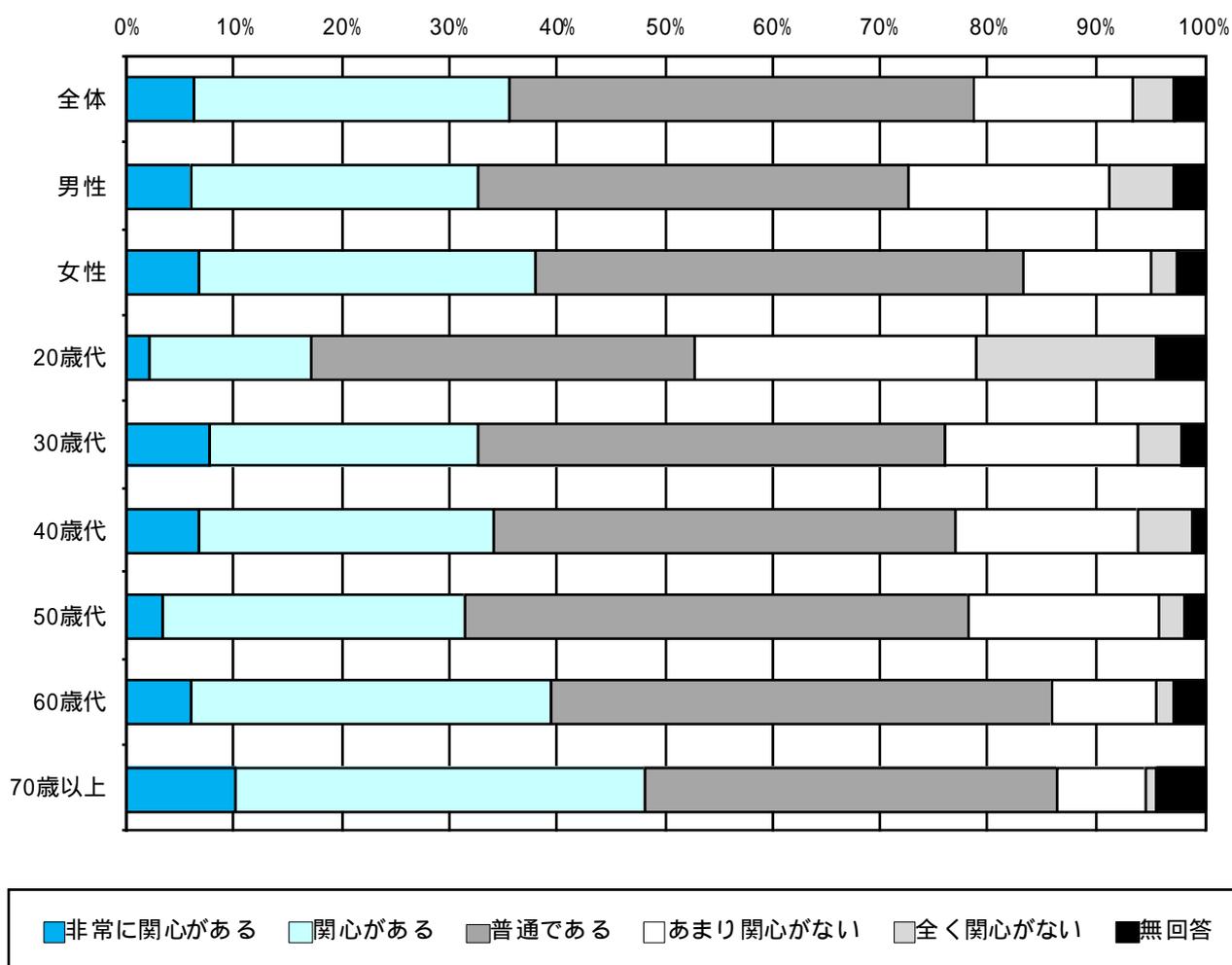
「非常に関心がある (6.3%)」と「関心がある (29.3%)」を合わせた割合は 35.6%となり、3分の1以上の市民が「広報ながの」に関心を持っていることが分かった。



男女別で見ると、「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせた割合は、「男性」が32.6%であるのに対し、「女性」は37.9%と、女性の関心度が高いことが分かった。

年代別で見ると、「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせた割合は、「20歳代」が17.0%、「70歳以上」が48.1%であった。この2つの年代で31.1ポイントもの大きな差が見られた。

「20歳代」では、「全く関心がない」という回答が16.7%であり、他の年代と比べて10ポイント以上の開きが見られる。

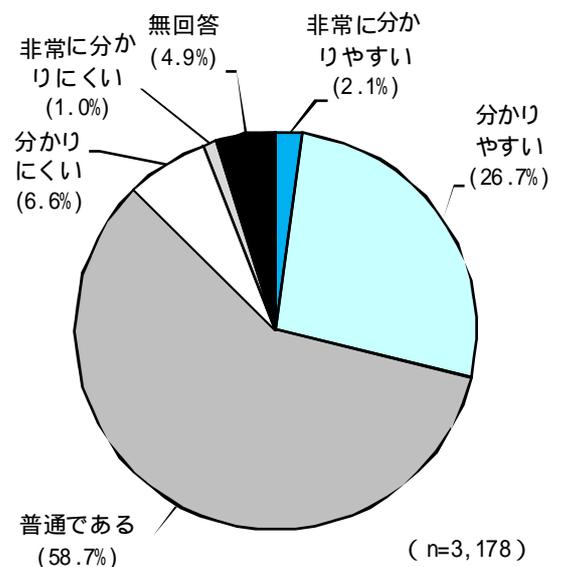


## 掲載の分かりやすさについて

		非常に 分かりやすい	分かりやすい	普通である	分かりにくい	非常に 分かりにくい	無回答	合計		
全体	度数	68	848	1,865	211	31	155	3,178		
	割合	2.1%	26.7%	58.7%	6.6%	1.0%	4.9%	100.0%		
性別	男性	度数	30	329	816	93	24	66	1,358	
		割合	2.2%	24.2%	60.1%	6.8%	1.8%	4.9%	100.0%	
	女性	度数	38	517	1,045	116	7	85	1,808	
		割合	2.1%	28.6%	57.8%	6.4%	0.4%	4.7%	100.0%	
年代	20歳代	度数	5	43	159	24	7	32	270	
		割合	1.9%	15.9%	58.9%	8.9%	2.6%	11.9%	100.0%	
	30歳代	度数	14	119	286	36	5	18	478	
		割合	2.9%	24.9%	59.8%	7.5%	1.0%	3.8%	100.0%	
	40歳代	度数	11	156	348	33	7	16	571	
		割合	1.9%	27.3%	60.9%	5.8%	1.2%	2.8%	100.0%	
	50歳代	度数	5	122	356	44	3	20	550	
		割合	0.9%	22.2%	64.7%	8.0%	0.5%	3.6%	100.0%	
	60歳代	度数	15	230	413	39	6	30	733	
		割合	2.0%	31.4%	56.3%	5.3%	0.8%	4.1%	100.0%	
	70歳以上	度数	18	175	299	34	3	34	563	
		割合	3.2%	31.1%	53.1%	6.0%	0.5%	6.0%	100.0%	
	地域区分	市街地地域	度数	23	299	644	68	12	52	1,098
			割合	2.1%	27.2%	58.7%	6.2%	1.1%	4.7%	100.0%
市街地周辺地域		度数	17	198	435	53	3	36	742	
		割合	2.3%	26.7%	58.6%	7.1%	0.4%	4.9%	100.0%	
犀南地域		度数	19	219	508	57	7	38	848	
		割合	2.2%	25.8%	59.9%	6.7%	0.8%	4.5%	100.0%	
松代・若穂		度数	7	84	151	13	6	13	274	
		割合	2.6%	30.7%	55.1%	4.7%	2.2%	4.7%	100.0%	
中山間地域		度数	2	43	117	18	2	12	194	
		割合	1.0%	22.2%	60.3%	9.3%	1.0%	6.2%	100.0%	

「広報ながの」の分かりやすさについては、「普通である（58.7%）」が最も多く、「分かりやすい（26.7%）」がこれに続いた。

「非常に分かりやすい」と「分かりやすい」を合わせた割合は28.8%となった。

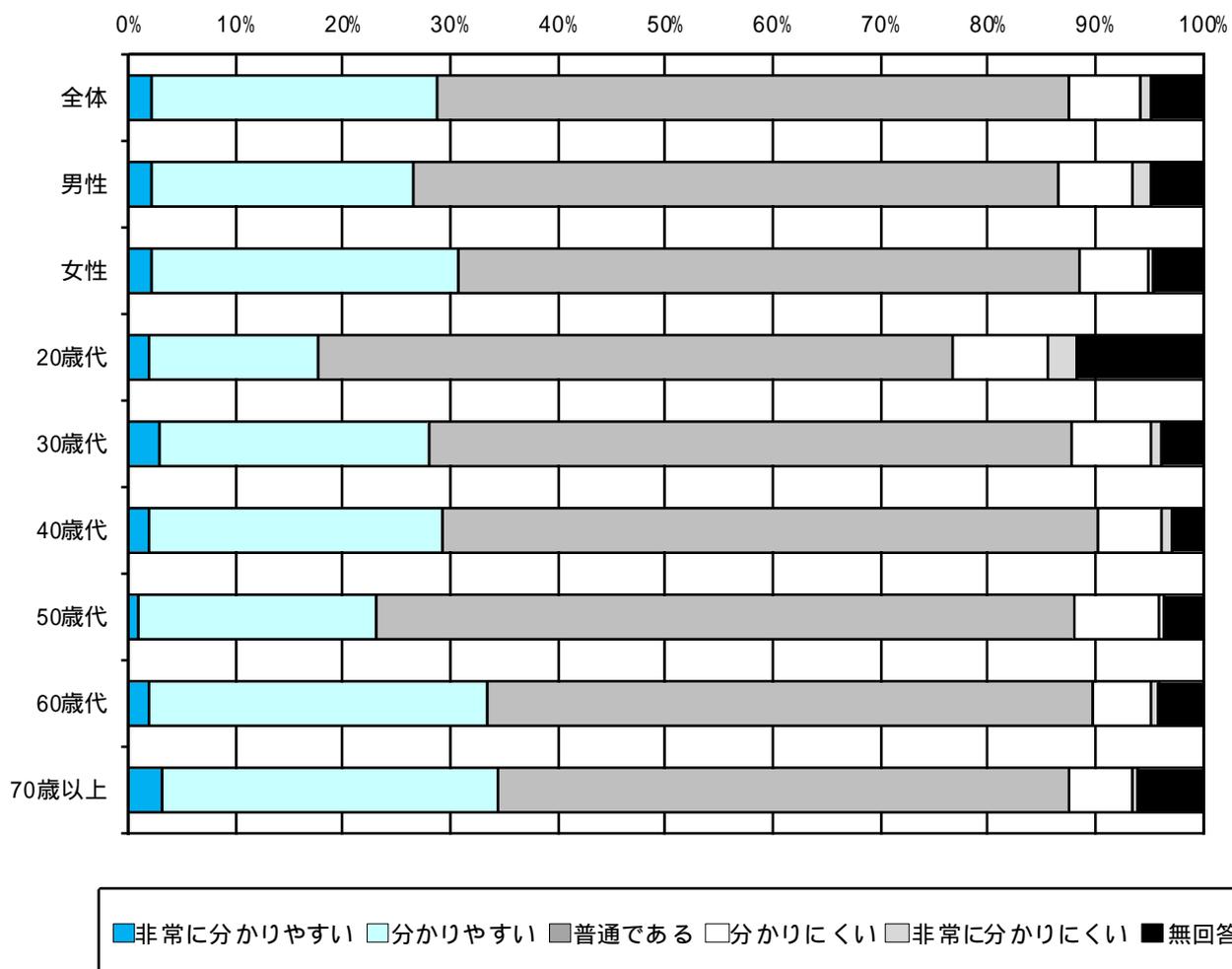


男女別で見ると、「普通である」がともに最も多い回答となった。

「非常に分かりやすい」と「分かりやすい」を合わせた割合は、「男性」が 26.4%、「女性」は 30.7% となり、女性が男性を上回った。

年代別で見ると、どの年代も「普通である」が最も多い回答であった。

「非常に分かりやすい」と「分かりやすい」を合わせた割合は、「70歳以上」が 34.3%で最も多く、「20歳代」が 17.8%で最も少なかった。なお「20歳代」は、「無回答」の割合も 11.9%と高かった。

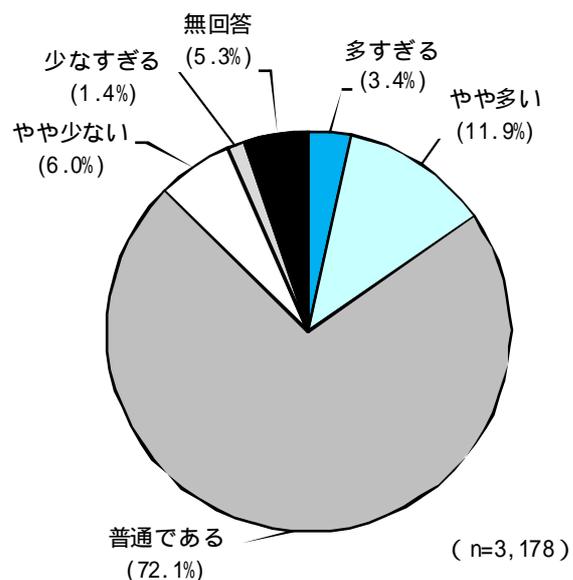


## 情報の量について

		多すぎる	やや多い	普通である	やや少ない	少なすぎる	無回答	合計	
全体	度数	107	377	2,292	192	43	167	3,178	
	割合	3.4%	11.9%	72.1%	6.0%	1.4%	5.3%	100.0%	
性別	男性	度数	59	162	951	87	24	75	1,358
		割合	4.3%	11.9%	70.0%	6.4%	1.8%	5.5%	100.0%
	女性	度数	48	213	1,336	104	19	88	1,808
		割合	2.7%	11.8%	73.9%	5.8%	1.1%	4.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	8	22	181	23	3	33	270
		割合	3.0%	8.1%	67.0%	8.5%	1.1%	12.2%	100.0%
	30歳代	度数	8	48	359	36	8	19	478
		割合	1.7%	10.0%	75.1%	7.5%	1.7%	4.0%	100.0%
	40歳代	度数	12	46	446	44	7	16	571
		割合	2.1%	8.1%	78.1%	7.7%	1.2%	2.8%	100.0%
	50歳代	度数	19	65	411	24	10	21	550
		割合	3.5%	11.8%	74.7%	4.4%	1.8%	3.8%	100.0%
	60歳代	度数	33	105	507	42	9	37	733
		割合	4.5%	14.3%	69.2%	5.7%	1.2%	5.0%	100.0%
	70歳以上	度数	27	89	383	22	6	36	563
		割合	4.8%	15.8%	68.0%	3.9%	1.1%	6.4%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	27	126	815	61	16	53	1,098
		割合	2.5%	11.5%	74.2%	5.6%	1.5%	4.8%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	20	97	532	45	9	39	742
		割合	2.7%	13.1%	71.7%	6.1%	1.2%	5.3%	100.0%
	犀南地域	度数	33	96	604	58	12	45	848
		割合	3.9%	11.3%	71.2%	6.8%	1.4%	5.3%	100.0%
	松代・若穂	度数	7	35	196	18	2	16	274
		割合	2.6%	12.8%	71.5%	6.6%	0.7%	5.8%	100.0%
中山間地域	度数	18	20	132	9	4	11	194	
	割合	9.3%	10.3%	68.0%	4.6%	2.1%	5.7%	100.0%	

「広報ながの」の情報の量については、「普通である」が72.1%であり、その他の回答を大きく上回った。

「多すぎる」と「やや多い」を合計した割合は15.3%となり、「やや少ない」と「少なすぎる」を合計した割合は7.4%となった。



男女別で見ると、男女ともに「普通である」が最も多い回答となった。

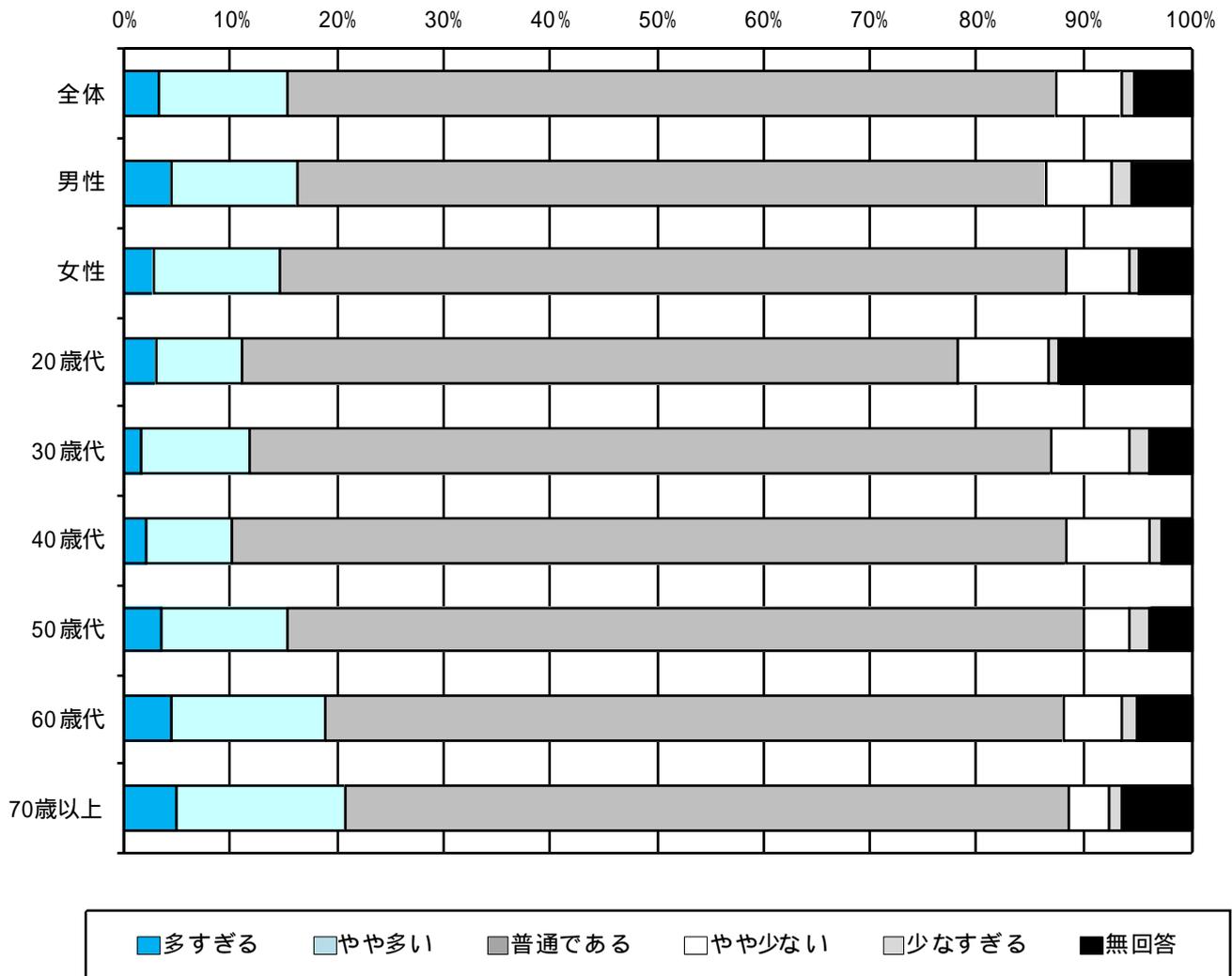
「多すぎる」と「やや多い」を合計した割合は、男性が16.2%に、女性が14.5%となり、男性が女性をわずかに上回った。

「やや少ない」と「少なすぎる」を合計した割合は、男性が8.2%、女性が6.9%となり、こちらも男性が女性をわずかに上回っている。

年代別で見ると、どの年代も「普通である」が最も多く、「40歳代」では78.1%に達した。

「多すぎる」と「やや多い」を合計した割合は、「40歳代」が10.2%と最も少なく、「70歳以上」が20.6%と最も多かった。

「やや少ない」と「少なすぎる」を合計した割合は、「70歳以上」が5.0%で最も少なく、「20歳代」が9.6%と最も多かった。

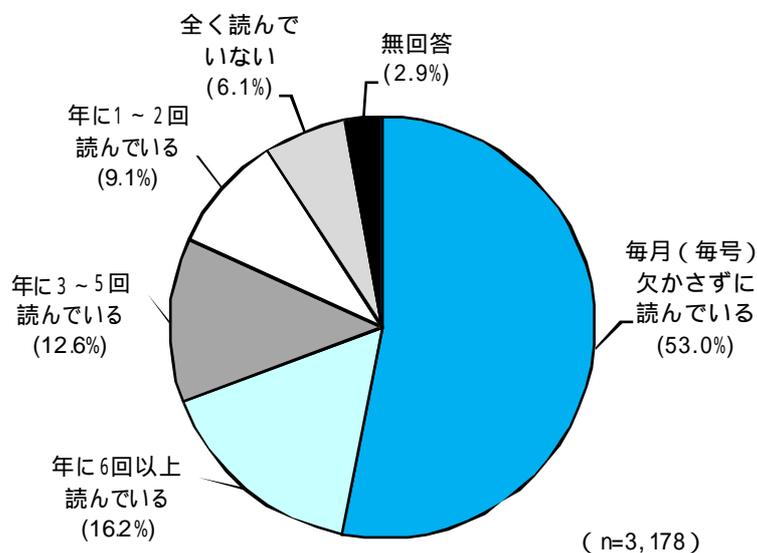


「広報ながの」を読む頻度 ～「毎月欠かさず」が半数を超える～

問3 あなたが「広報ながの」を読む頻度はどのくらいですか。次の中から1つだけをしてください。

		毎月(毎号) 欠かさず 読んでいる	年に6回以上 読んでいる	年に3～5回 読んでいる	年に1～2回 読んでいる	全く読んで いない	無回答	合計		
全体	度数	1,684	516	402	288	195	93	3,178		
	割合	53.0%	16.2%	12.6%	9.1%	6.1%	2.9%	100.0%		
性別	男性	度数	627	218	201	160	112	40	1,358	
		割合	46.2%	16.1%	14.8%	11.8%	8.2%	2.9%	100.0%	
	女性	度数	1,053	296	200	128	82	49	1,808	
		割合	58.2%	16.4%	11.1%	7.1%	4.5%	2.7%	100.0%	
年代	20歳代	度数	57	31	36	59	75	12	270	
		割合	21.1%	11.5%	13.3%	21.9%	27.8%	4.4%	100.0%	
	30歳代	度数	220	98	72	45	37	6	478	
		割合	46.0%	20.5%	15.1%	9.4%	7.7%	1.3%	100.0%	
	40歳代	度数	287	99	81	65	30	9	571	
		割合	50.3%	17.3%	14.2%	11.4%	5.3%	1.6%	100.0%	
	50歳代	度数	274	105	74	59	24	14	550	
		割合	49.8%	19.1%	13.5%	10.7%	4.4%	2.5%	100.0%	
	60歳代	度数	454	105	91	42	19	22	733	
		割合	61.9%	14.3%	12.4%	5.7%	2.6%	3.0%	100.0%	
	70歳以上	度数	388	77	46	18	9	25	563	
		割合	68.9%	13.7%	8.2%	3.2%	1.6%	4.4%	100.0%	
	地域区分	市街地地域	度数	573	180	141	104	73	27	1,098
			割合	52.2%	16.4%	12.8%	9.5%	6.6%	2.5%	100.0%
市街地周辺 地域		度数	405	110	90	63	52	22	742	
		割合	54.6%	14.8%	12.1%	8.5%	7.0%	3.0%	100.0%	
犀南地域		度数	453	138	111	77	43	26	848	
		割合	53.4%	16.3%	13.1%	9.1%	5.1%	3.1%	100.0%	
松代・若穂		度数	148	52	32	23	10	9	274	
		割合	54.0%	19.0%	11.7%	8.4%	3.6%	3.3%	100.0%	
中山間地域		度数	100	34	24	17	15	4	194	
		割合	51.5%	17.5%	12.4%	8.8%	7.7%	2.1%	100.0%	

「広報ながの」を読む頻度は、「毎月（毎号）欠かさず読んでいる」が半数以上（53.0%）を占めた。  
一方、「全く読んでいない」は6.1%にとどまった。



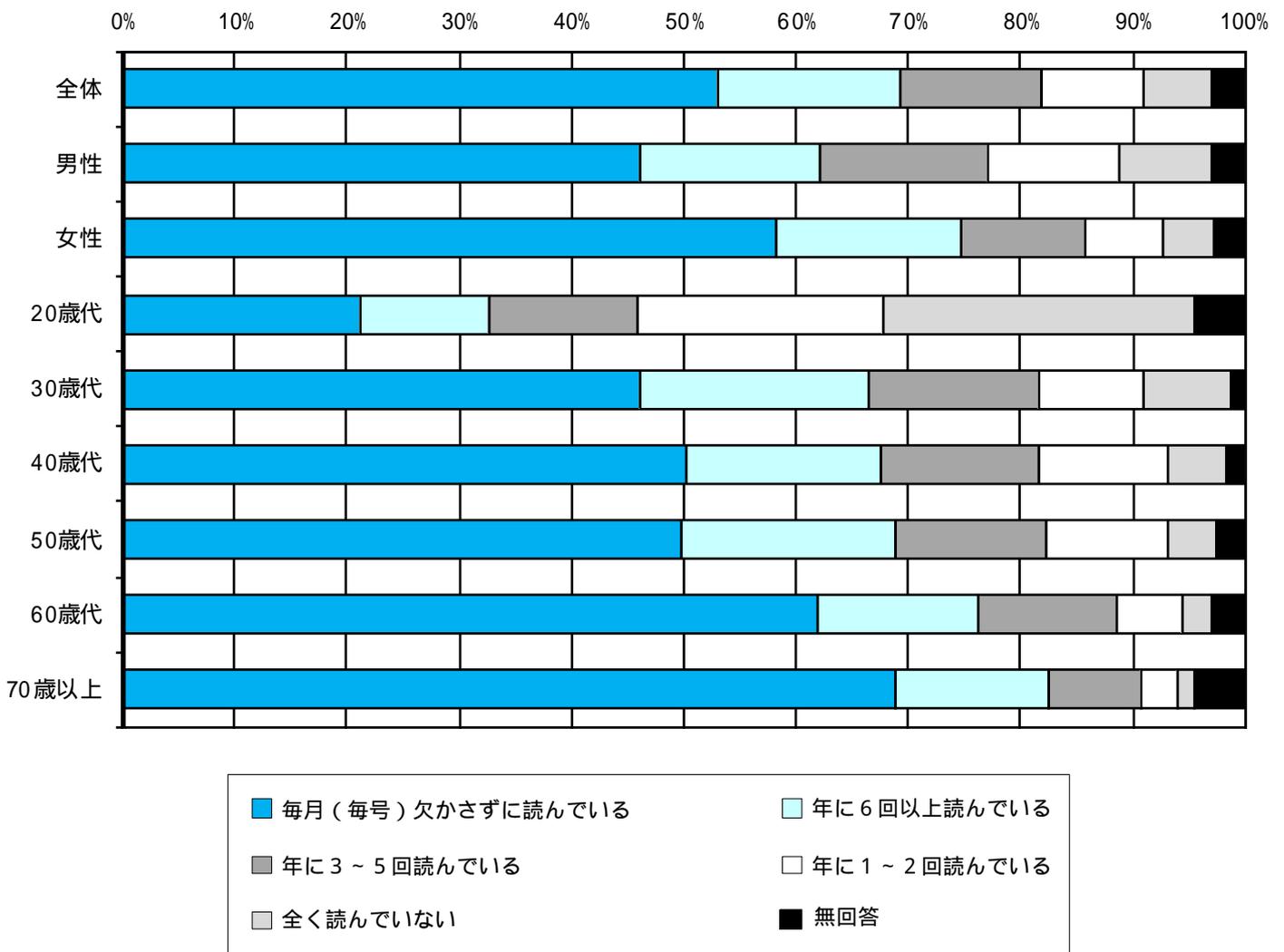
男女別で見ると、男女ともに「毎月（毎号）欠かさずに読んでいる」が最も多く、女性は 58.2% と半数を超え、男性（46.2%）を 12.0 ポイント上回った。

一方、「全く読んでいない」と回答した人は、男性が 8.2%、女性が 4.5% となり、男性が女性を上回った。

年代別で見ると、「20 歳代」以外の年代では、「毎月（毎号）欠かさずに読んでいる」が最も多い回答となった。「20 歳代」では「全く読んでいない（27.8%）」が最も多かった。

「20 歳代」の「毎月（毎号）欠かさずに読んでいる」という回答は 21.1% であり、「70 歳以上（68.9%）」と比べると、47.8 ポイントもの大きな開きが見られた。

一方、「全く読んでいない」という回答は、「20 歳代」以外の年代では少なく、いずれも 1 割を下回っている。

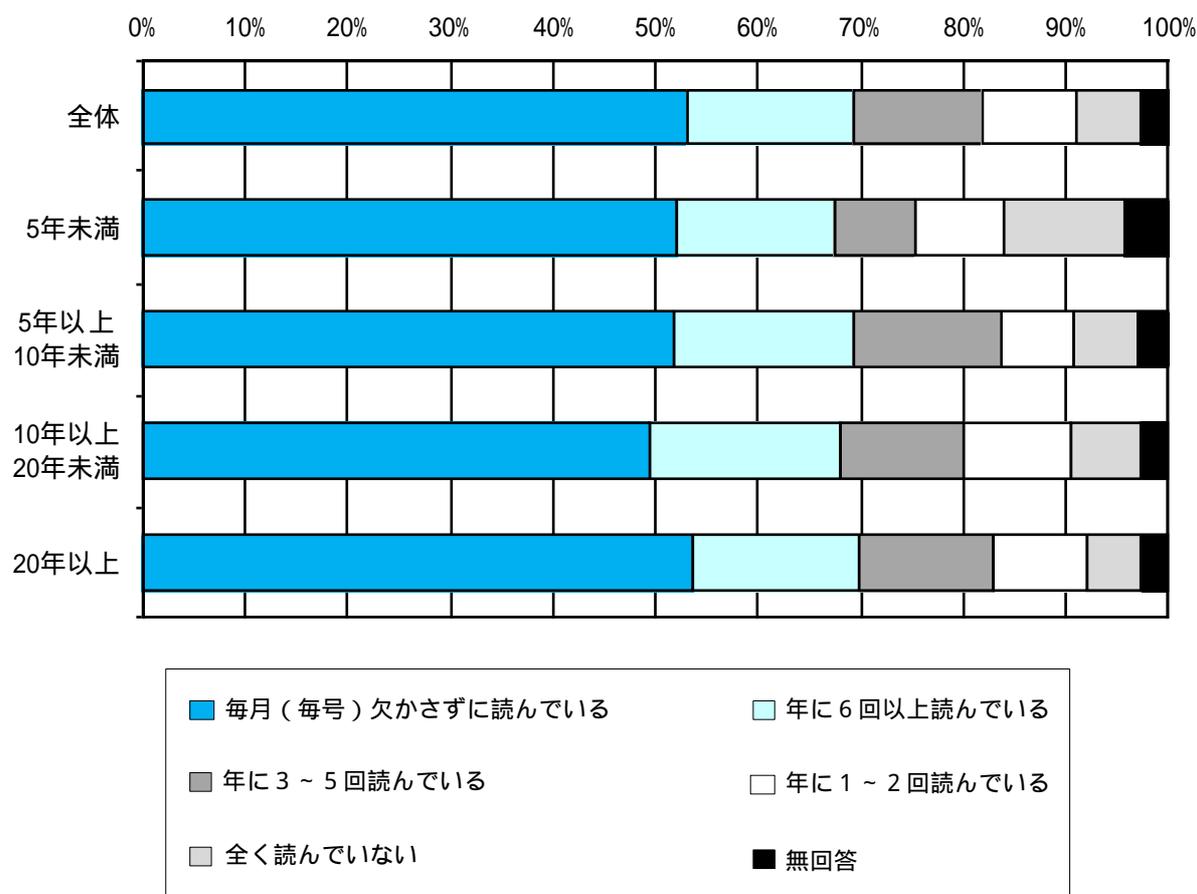


居住年数別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		毎月(毎号) 欠かさずに 読んでいる	年に6回以上 読んでいる	年に3～5回 読んでいる	年に1～2回 読んでいる	全く読んで いない	無回答	合計	
全体	度数	1,684	516	402	288	195	93	3,178	
	割合	53.0%	16.2%	12.6%	9.1%	6.1%	2.9%	100.0%	
居住年数	5年未満	度数	120	35	18	20	27	10	230
		割合	52.2%	15.2%	7.8%	8.7%	11.7%	4.3%	100.0%
	5年以上 10年未満	度数	101	34	28	14	12	6	195
		割合	51.8%	17.4%	14.4%	7.2%	6.2%	3.1%	100.0%
	10年以上 20年未満	度数	172	65	42	36	24	9	348
		割合	49.4%	18.7%	12.1%	10.3%	6.9%	2.6%	100.0%
	20年以上	度数	1,280	382	313	217	128	63	2,383
		割合	53.7%	16.0%	13.1%	9.1%	5.4%	2.6%	100.0%

いずれも「毎月(毎号)欠かさずに読んでいる」がほぼ半数を占めた。

一方、「全く読んでいない」という回答は、居住年数「5年未満」が11.7%と最も多く、唯一1割を超えた。



## 見やすい紙面づくり ～「現在のままでよい」ほぼ半数～

問4 「広報ながの」について、今後見やすい紙面とするために望ましいことは、どんなことだと思いますか。次の中から1つだけ をしてください。(印刷に掛かる経費は増やさないことを前提としています。)

		記事の量を少なくして文字を大きくする	記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む	ページ数を減らし、カラーまたは2色刷りとする	デザインや記事の表記方法を統一する	タブレット版とし、ページ数を減らす	その他	現在のままでよい	無回答	合計	
全体	度数	543	447	238	117	103	124	1,439	167	3,178	
	割合	17.1%	14.1%	7.5%	3.7%	3.2%	3.9%	45.3%	5.3%	100.0%	
性別	男性	度数	227	207	83	39	64	68	592	78	1,358
		割合	16.7%	15.2%	6.1%	2.9%	4.7%	5.0%	43.6%	5.7%	100.0%
	女性	度数	314	240	155	77	38	56	844	84	1,808
		割合	17.4%	13.3%	8.6%	4.3%	2.1%	3.1%	46.7%	4.6%	100.0%
年代	20歳代	度数	22	71	19	17	5	9	101	26	270
		割合	8.1%	26.3%	7.0%	6.3%	1.9%	3.3%	37.4%	9.6%	100.0%
	30歳代	度数	46	84	51	29	15	22	213	18	478
		割合	9.6%	17.6%	10.7%	6.1%	3.1%	4.6%	44.6%	3.8%	100.0%
	40歳代	度数	55	74	61	22	25	29	289	16	571
		割合	9.6%	13.0%	10.7%	3.9%	4.4%	5.1%	50.6%	2.8%	100.0%
	50歳代	度数	107	87	45	22	17	27	220	25	550
		割合	19.5%	15.8%	8.2%	4.0%	3.1%	4.9%	40.0%	4.5%	100.0%
	60歳代	度数	169	81	40	19	28	24	332	40	733
		割合	23.1%	11.1%	5.5%	2.6%	3.8%	3.3%	45.3%	5.5%	100.0%
	70歳以上	度数	142	49	22	7	13	13	281	36	563
		割合	25.2%	8.7%	3.9%	1.2%	2.3%	2.3%	49.9%	6.4%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	170	162	98	41	35	39	498	55	1,098
		割合	15.5%	14.8%	8.9%	3.7%	3.2%	3.6%	45.4%	5.0%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	131	105	43	24	25	34	342	38	742
		割合	17.7%	14.2%	5.8%	3.2%	3.4%	4.6%	46.1%	5.1%	100.0%
	犀南地域	度数	142	112	71	30	27	28	397	41	848
		割合	16.7%	13.2%	8.4%	3.5%	3.2%	3.3%	46.8%	4.8%	100.0%
	松代・若穂	度数	58	32	19	15	8	12	116	14	274
		割合	21.2%	11.7%	6.9%	5.5%	2.9%	4.4%	42.3%	5.1%	100.0%
中山間地域	度数	42	34	6	5	6	10	78	13	194	
	割合	21.6%	17.5%	3.1%	2.6%	3.1%	5.2%	40.2%	6.7%	100.0%	

「広報ながの」を見やすい紙面とするために望ましいこととしては、「現在のままでよい」が45.3%と最も多く、続いて「記事の量を少なくして文字を大きくする(17.1%)」、「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む(14.1%)」の順となった。

男女別で見ると、男女ともに「現在のままでよい」が最も多く、女性(46.7%)が男性(43.6%)をわずかに上回った。男女ともに「記事の量を少なくして文字を大きくする」、「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む」が続いた。

年代別で見ると、各年代ともに「現在のままでよい」が最も多かったが、これは20歳代では37.4%と、唯一4割を下回った。

「20歳代」では、「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む(26.3%)」、「記事の量を少なくして文字を大きくする(8.1%)」が続いた。

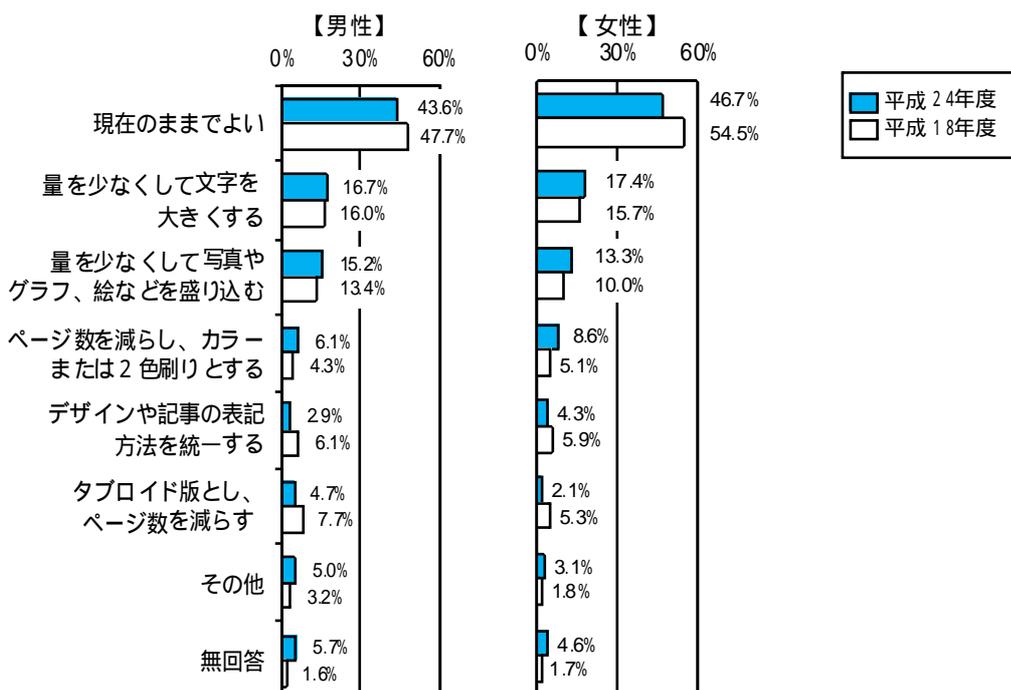
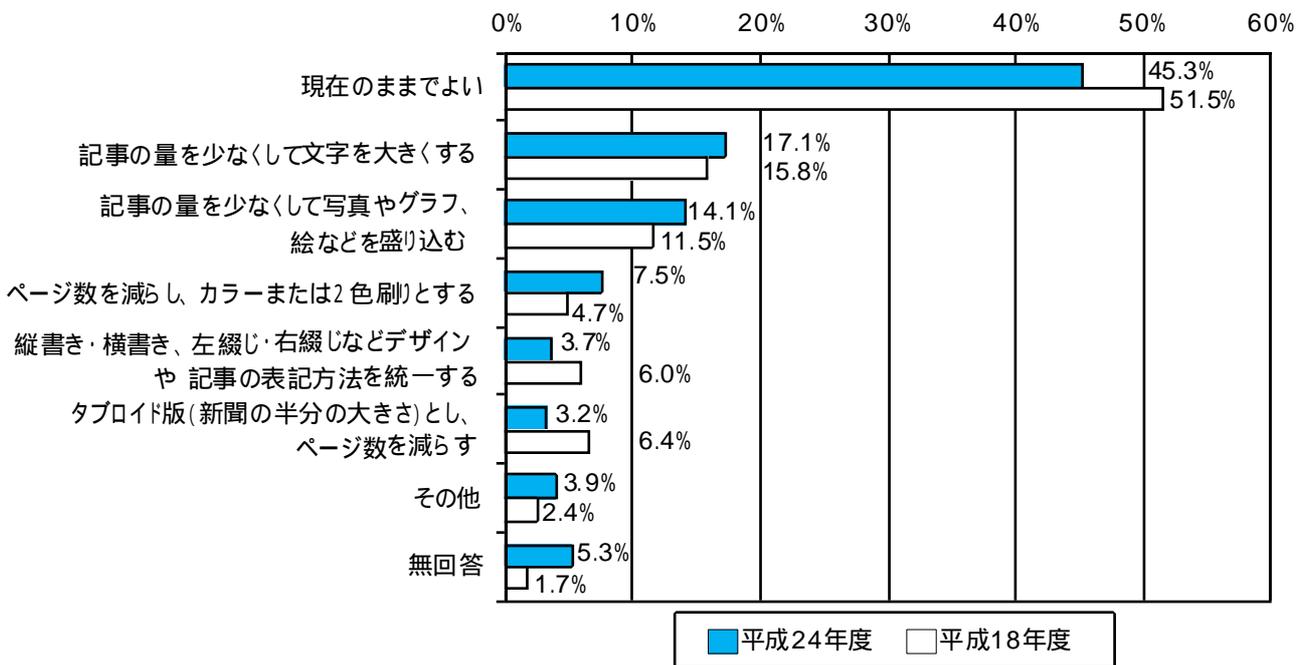
「30歳代」および「40歳代」では、「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む」、「ページ数を減らし、カラーまたは2色刷りとする」が続いた。

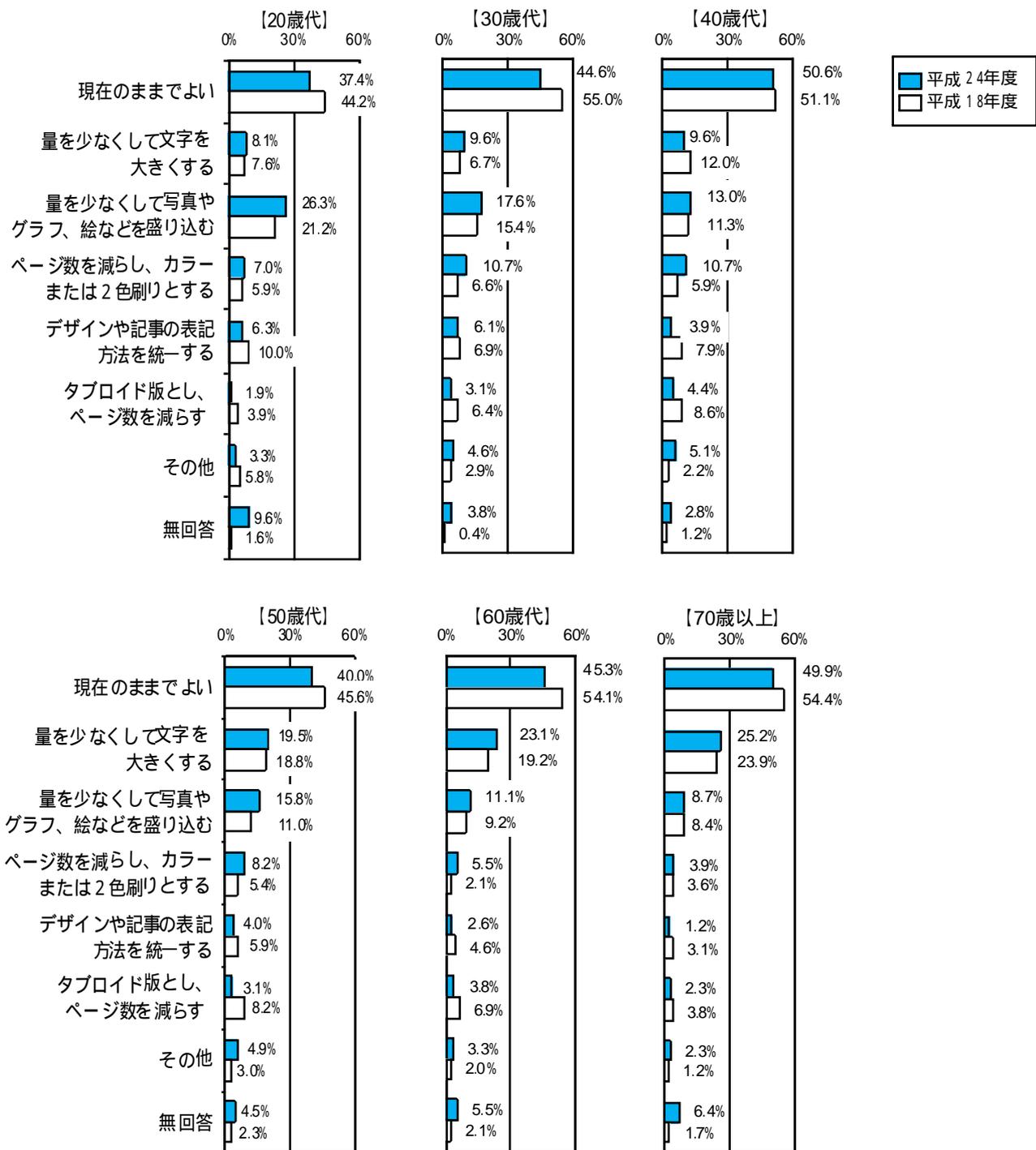
「50歳代」以降の年代では、「記事の量を少なくして文字を大きくする」、「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む」が続いた。

「記事の量を少なくして文字を大きくする」は、年代が高くなるにしたがって多くなっている。一方、「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む」は、年代が高くなるにしたがって、少なくなる傾向が見られた。

平成18年度に実施した調査結果と比較すると「現在のままでよい」という回答は、前回より6.2ポイント下回った。

一方で、「記事の量を少なくして文字を大きくする」や「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む」、「ページ数を減らし、カラーまたは2色刷りとする」といった回答は、わずかではあるが、前回調査よりも割合を伸ばしている。





問3（「広報ながの」を読む頻度）の回答別に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

「現在のままでよい」という回答は、「広報ながの」を「毎月欠かさずに読んでいる」人では51.4%と半数を占めた。

「記事の量を少なくして文字を大きくする」という回答は、「広報ながの」を「年に3～5回読んでいる」人が最多で、20.6%であった。

「記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む」という回答は、「広報ながの」を「年に1～2回読んでいる」人が最多で、19.4%であった。

		記事の量を 少なくして 文字を大きく する	記事の量を 少なくして 写真や グラフ 絵などを 盛り込む	ページ数を減 らし カラーまたは 2色刷りと する	デザインや 記事の表記 方法を統一 する	タブロイド版 とし、ページ 数を減らす	その他	現在の ままでよい	無回答	合計	
全体	度数	543	447	238	117	103	124	1,439	167	3,178	
	割合	17.1%	14.1%	7.5%	3.7%	3.2%	3.9%	45.3%	5.3%	100.0%	
問 3 回 答 結 果	毎月欠かさ ずに読んで いる	度数	309	212	136	44	38	55	866	24	1,684
		割合	18.3%	12.6%	8.1%	2.6%	2.3%	3.3%	51.4%	1.4%	100.0%
	年に6回以上 読んでいる	度数	99	79	52	21	19	15	223	8	516
		割合	19.2%	15.3%	10.1%	4.1%	3.7%	2.9%	43.2%	1.6%	100.0%
	年に3～5回 読んでいる	度数	83	71	24	17	28	10	157	12	402
		割合	20.6%	17.7%	6.0%	4.2%	7.0%	2.5%	39.1%	3.0%	100.0%
	年に1～2回 読んでいる	度数	33	56	18	21	11	21	120	8	288
		割合	11.5%	19.4%	6.3%	7.3%	3.8%	7.3%	41.7%	2.8%	100.0%
	全く読んで いない	度数	12	29	6	14	5	23	69	37	195
		割合	6.2%	14.9%	3.1%	7.2%	2.6%	11.8%	35.4%	19.0%	100.0%
無回答	度数	7	0	2	0	2	0	4	78	93	
	割合	7.5%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	4.3%	83.9%	100.0%	

長野市ホームページの利用 ～「利用している」、「利用したことがない」ともに約4割～

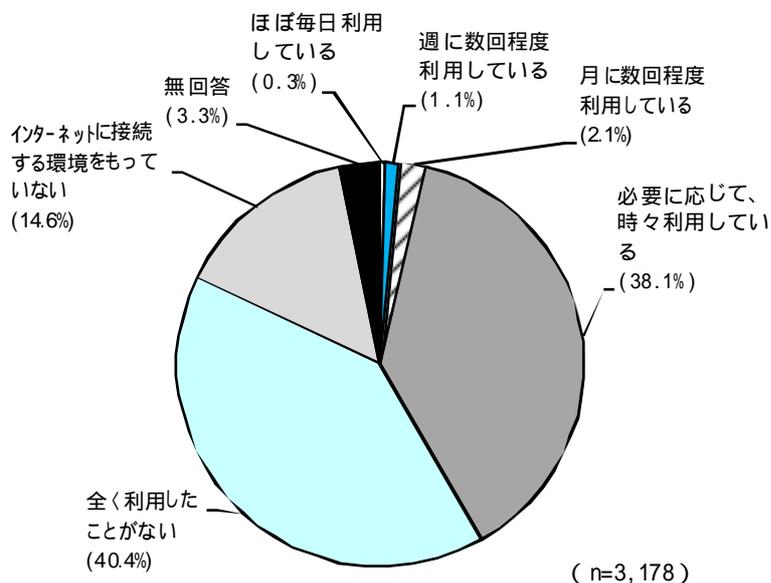
問5 あなたが「長野市ホームページ」を利用する頻度はどのくらいですか。次の中から1つだけをしてください。

		ほぼ毎日 利用している	週に数回 程度利用 している	月に数回 程度利用 している	必要に 応じて、 時々利用 している	全く利用した ことがない	インターネット に接続する 環境をもっ ていない	無回答	合計	
全体	度数	11	36	67	1,212	1,283	463	106	3,178	
	割合	0.3%	1.1%	2.1%	38.1%	40.4%	14.6%	3.3%	100.0%	
性別	男性	7	27	42	583	495	159	45	1,358	
	割合	0.5%	2.0%	3.1%	42.9%	36.5%	11.7%	3.3%	100.0%	
	女性	4	9	25	624	787	303	56	1,808	
	割合	0.2%	0.5%	1.4%	34.5%	43.5%	16.8%	3.1%	100.0%	
年代	20歳代	度数	2	1	9	125	115	8	10	270
		割合	0.7%	0.4%	3.3%	46.3%	42.6%	3.0%	3.7%	100.0%
	30歳代	度数	1	6	16	254	158	37	6	478
		割合	0.2%	1.3%	3.3%	53.1%	33.1%	7.7%	1.3%	100.0%
	40歳代	度数	2	12	13	279	211	47	7	571
		割合	0.4%	2.1%	2.3%	48.9%	37.0%	8.2%	1.2%	100.0%
	50歳代	度数	3	7	12	221	239	54	14	550
		割合	0.5%	1.3%	2.2%	40.2%	43.5%	9.8%	2.5%	100.0%
	60歳代	度数	1	6	9	198	331	163	25	733
		割合	0.1%	0.8%	1.2%	27.0%	45.2%	22.2%	3.4%	100.0%
	70歳以上	度数	2	4	7	133	225	153	39	563
		割合	0.4%	0.7%	1.2%	23.6%	40.0%	27.2%	6.9%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	3	13	23	456	432	143	28	1,098
		割合	0.3%	1.2%	2.1%	41.5%	39.3%	13.0%	2.6%	100.0%
	市街地周辺 地域	度数	5	9	19	271	305	107	26	742
		割合	0.7%	1.2%	2.6%	36.5%	41.1%	14.4%	3.5%	100.0%
	犀南地域	度数	3	7	16	337	331	128	26	848
		割合	0.4%	0.8%	1.9%	39.7%	39.0%	15.1%	3.1%	100.0%
	松代・若穂	度数	0	3	4	83	122	47	15	274
		割合	0.0%	1.1%	1.5%	30.3%	44.5%	17.2%	5.5%	100.0%
	中山間地域	度数	0	4	4	55	89	34	8	194
		割合	0.0%	2.1%	2.1%	28.4%	45.9%	17.5%	4.1%	100.0%

長野市ホームページを「ほぼ毎日利用している」から「必要に応じて時々利用している」までを合わせた、「利用している」割合は41.6%となった。一方、「全く利用したことがない」が40.4%であることから、市ホームページを利用している人、利用していない人は、ともに約4割であることが分かった。

市ホームページを「利用している」人の中では、「必要に応じて、時々利用している(38.1%)」が最も多かった。

なお、「インターネットに接続する環境を持っていない」は14.6%であった。



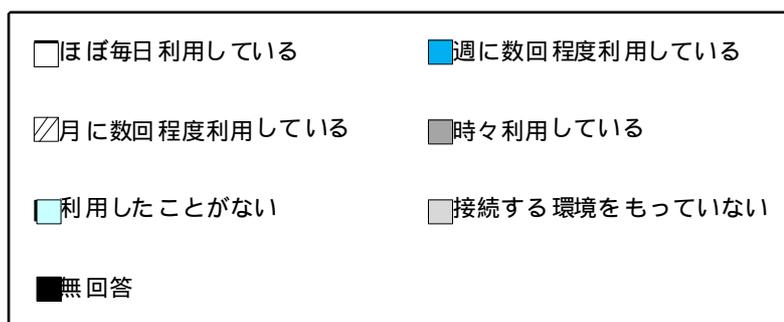
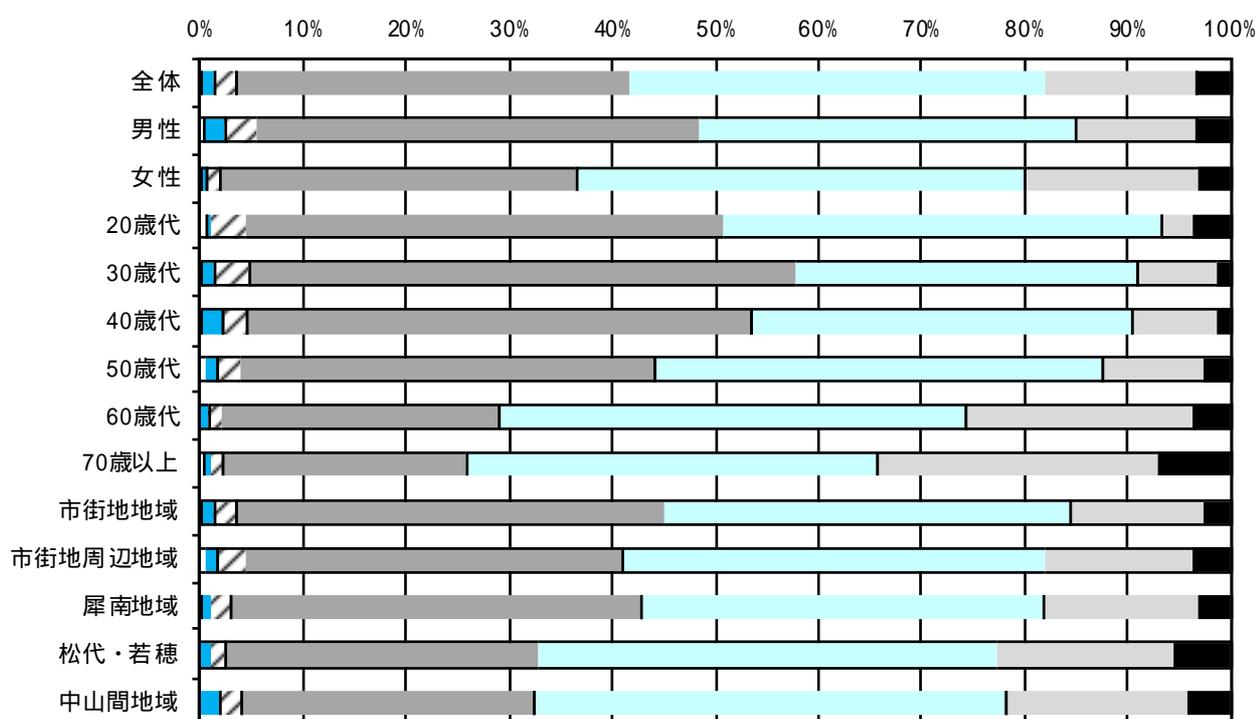
男女別で見ると、長野市ホームページを「利用している」割合(「ほぼ毎日利用している」から「必要に応じて、時々利用している」までを合わせた割合)は、「男性」が 48.5%とほぼ半数であるのに対し、「女性」は 36.6%であった。「男性」の利用割合が「女性」を 11.9 ポイント上回った。

年代別で見ると、長野市ホームページを「利用している」割合は「30 歳代」が 57.9%に達した。以降、年代が高くなるにしたがってこの割合は低下し、「70 歳以上」では 25.9%にとどまっている。「30 歳代」と「70 歳以上」の「利用している」割合は、32.0 ポイントもの開きが見られる。

「全く利用したことがない」という回答は、「60 歳代(45.2%)」が最も多く、「50 歳代(43.5%)」、「20 歳代(42.6%)」が続いている。

「インターネットに接続する環境を持っていない」という回答は、「20 歳代(3.0%)」が最も少なく、最も多かった「70 歳以上(27.2%)」と 24.2 ポイントの開きが見られる。

地域別で見ると、長野市ホームページを「利用している」割合は「市街地地域(45.1%)」が最も多く、「中山間地域(32.6%)」が最も少なかった。「松代・若穂」と「中山間地域」では、「全く利用したことがない」という回答割合が、「利用している」割合を 10 ポイント以上上回った。



職業別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		ほぼ毎日 利用している	週に数回 程度利用 している	月に数回 程度利用 している	必要に 応じて 時々利用 している	全く利用し たことが ない	インターネット に接続する 環境をもっ ていない	無回答	合計
全体		度数 11 割合 0.3%	36 1.1%	67 2.1%	1,212 38.1%	1,283 40.4%	463 14.6%	106 3.3%	3,178 100.0%
職業	農業・林業・漁業	度数 1	1	1	34	74	43	9	163
		割合 0.6%	0.6%	0.6%	20.9%	45.4%	26.4%	5.5%	100.0%
	工業	度数 0	1	2	17	8	1	0	29
		割合 0.0%	3.4%	6.9%	58.6%	27.6%	3.4%	0.0%	100.0%
	商業・自由業	度数 0	2	5	79	87	36	8	217
		割合 0.0%	0.9%	2.3%	36.4%	40.1%	16.6%	3.7%	100.0%
	会社員(事務系)	度数 1	13	11	198	140	15	7	385
		割合 0.3%	3.4%	2.9%	51.4%	36.4%	3.9%	1.8%	100.0%
	会社員(技術系)	度数 3	5	16	229	164	31	9	457
		割合 0.7%	1.1%	3.5%	50.1%	35.9%	6.8%	2.0%	100.0%
	公務員・教員	度数 5	7	8	94	41	3	3	161
		割合 3.1%	4.3%	5.0%	58.4%	25.5%	1.9%	1.9%	100.0%
	主婦	度数 0	3	9	204	300	140	22	678
		割合 0.0%	0.4%	1.3%	30.1%	44.2%	20.6%	3.2%	100.0%
パート・アルバイト	度数 0	1	3	163	215	74	11	467	
	割合 0.0%	0.2%	0.6%	34.9%	46.0%	15.8%	2.4%	100.0%	
無職(学生含む)	度数 1	2	6	121	158	84	18	390	
	割合 0.3%	0.5%	1.5%	31.0%	40.5%	21.5%	4.6%	100.0%	
その他	度数 0	1	6	68	83	32	12	202	
	割合 0.0%	0.5%	3.0%	33.7%	41.1%	15.8%	5.9%	100.0%	
不明	度数 0	0	0	5	13	4	7	29	
	割合 0.0%	0.0%	0.0%	17.2%	44.8%	13.8%	24.1%	100.0%	

長野市ホームページを「利用している」割合は「公務員・教員」が70.8%、「工業」が68.9%と、他の職業に比べて高い値を示した。

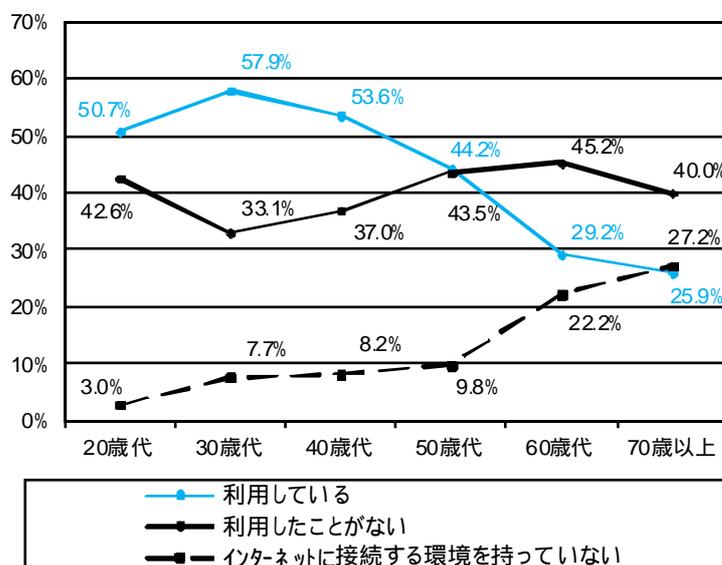
一方、「全く利用したことがない」は「パート・アルバイト(46.0%)」、「農業・林業・漁業(45.4%)」、「主婦(44.2%)」の順となった。

「インターネットに接続する環境をもっていない」は、「農業・林業・漁業(26.4%)」が最も多く、「無職(学生を含む、21.5%)」が続いた。

右側のグラフは、長野市のホームページを「利用している」、「全く利用したことがない」、「インターネットに接続する環境をもっていない」に区分し、年代別で表示したものである。

「利用している」割合は、「30歳代」をピークとし、以降年代が高くなるにしたがって低下していき、「50歳代」を境に「利用したことがない」割合と逆転する。

「インターネットに接続する環境をもっていない」割合は、年代が高くなるにしたがって多くなっている。



## 市立図書館の利用について

### 図書館の利用 ～「利用したことがない」3分の1超～

問6 あなたはここ1年間に、どの図書館を利用しましたか。よく利用する順に3つ以内で選び、回答欄に番号を記入してください。

		市立長野図書館	市立南部図書館	移動図書館	分室 (公民館) 市民文庫	県立長野図書館	小布施町立図書館 ( )	その他	ここ1年間は利用していない	利用したことがない	無回答	対象	
全体	度数	507	298	109	113	312	31	36	1,009	1,168	86	3,178	
	割合	16.0%	9.4%	3.4%	3.6%	9.8%	1.0%	1.1%	31.7%	36.8%	2.7%		
性別	男性	度数	211	115	36	27	145	15	14	437	522	36	1,358
		割合	15.5%	8.5%	2.7%	2.0%	10.7%	1.1%	1.0%	32.2%	38.4%	2.7%	
	女性	度数	295	183	73	84	166	16	22	570	643	47	1,808
		割合	16.3%	10.1%	4.0%	4.6%	9.2%	0.9%	1.2%	31.5%	35.6%	2.6%	
年代	20歳代	度数	50	24	4	4	41	2	7	122	56	10	270
		割合	18.5%	8.9%	1.5%	1.5%	15.2%	0.7%	2.6%	45.2%	20.7%	3.7%	
	30歳代	度数	117	69	21	13	44	10	2	154	132	9	478
		割合	24.5%	14.4%	4.4%	2.7%	9.2%	2.1%	0.4%	32.2%	27.6%	1.9%	
	40歳代	度数	112	66	18	19	77	8	9	188	171	5	571
		割合	19.6%	11.6%	3.2%	3.3%	13.5%	1.4%	1.6%	32.9%	29.9%	0.9%	
	50歳代	度数	90	47	14	15	48	5	7	214	190	9	550
		割合	16.4%	8.5%	2.5%	2.7%	8.7%	0.9%	1.3%	38.9%	34.5%	1.6%	
	60歳代	度数	83	65	24	32	60	5	6	208	324	21	733
		割合	11.3%	8.9%	3.3%	4.4%	8.2%	0.7%	0.8%	28.4%	44.2%	2.9%	
	70歳以上	度数	52	27	28	29	40	1	5	122	292	28	563
		割合	9.2%	4.8%	5.0%	5.2%	7.1%	0.2%	0.9%	21.7%	51.9%	5.0%	
地域区分	市街地地域	度数	260	30	37	41	150	9	11	369	353	23	1,098
		割合	23.7%	2.7%	3.4%	3.7%	13.7%	0.8%	1.0%	33.6%	32.1%	2.1%	
	市街地周辺地域	度数	123	9	30	35	64	16	10	252	288	22	742
		割合	16.6%	1.2%	4.0%	4.7%	8.6%	2.2%	1.3%	34.0%	38.8%	3.0%	
	犀南地域	度数	83	209	17	19	62	3	8	261	293	22	848
		割合	9.8%	24.6%	2.0%	2.2%	7.3%	0.4%	0.9%	30.8%	34.6%	2.6%	
	松代・若穂	度数	22	36	15	7	22	3	6	74	124	12	274
		割合	8.0%	13.1%	5.5%	2.6%	8.0%	1.1%	2.2%	27.0%	45.3%	4.4%	
中山間地域	度数	14	10	10	10	8	0	0	50	104	5	194	
	割合	7.2%	5.2%	5.2%	5.2%	4.1%	0.0%	0.0%	25.8%	53.6%	2.6%		

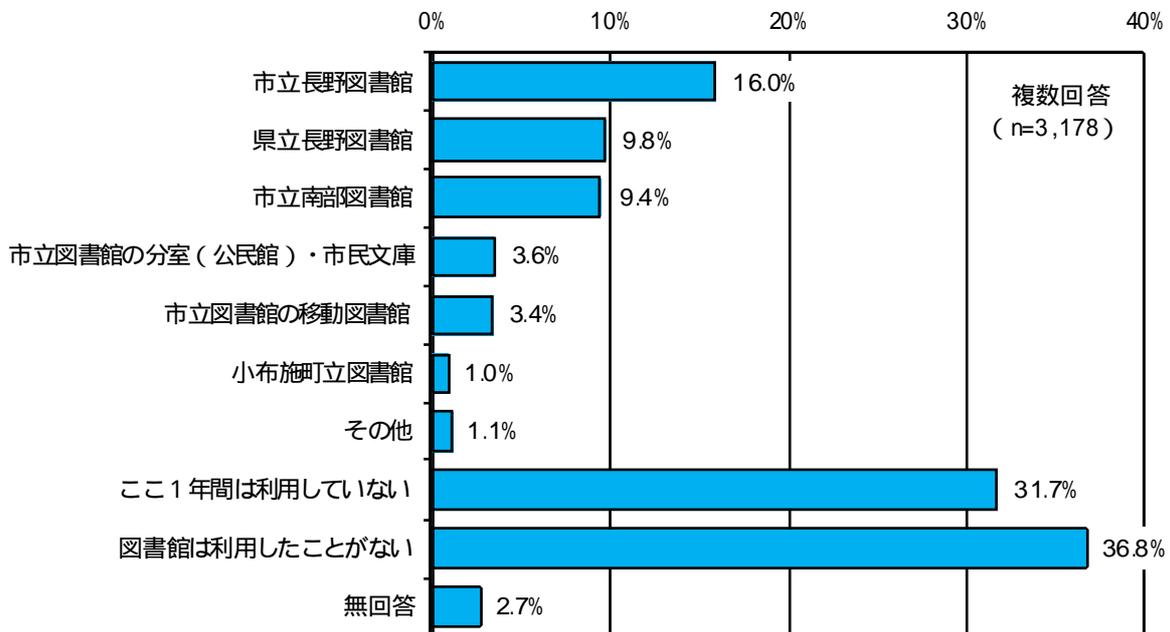
小布施町立図書館では、長野市に住んでいる方も図書を借りることができるため、選択肢に入れたもの

市立図書館の利用状況を尋ねたところ、「図書館は利用したことがない(36.8%)」が最も多く、「ここ1年間は利用していない(31.7%)」が続いた。これまで市立図書館を利用したことがない市民が、3分の1を超えている状況である。

「利用したことがない」と「ここ1年間は利用していない」の回答を合計すると、およそ3分の2の市民(68.5%)が、この1年間に市立図書館を利用していないことが分かった。

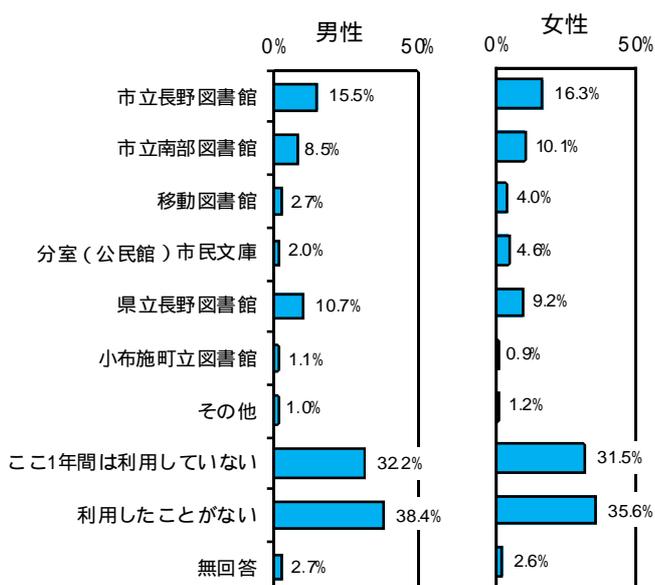
利用したことがある図書館としては、「市立長野図書館（16.0%）」が最も多く、「県立長野図書館（9.8%）」、「市立南部図書館（9.4%）」が続いた。

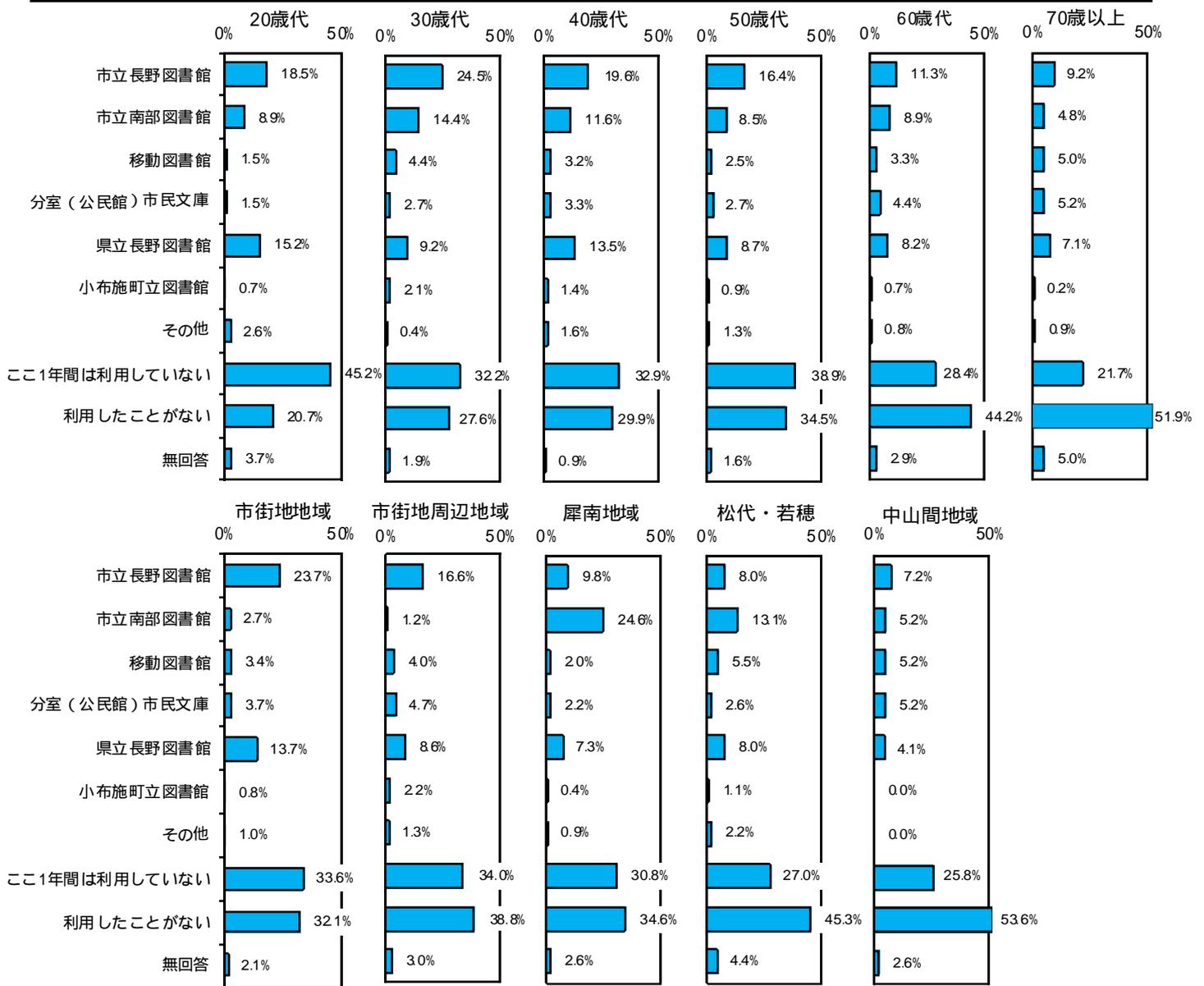
長野市民も利用できる「小布施町立図書館」については、利用はごくわずか（1.0%）となっている。



男女別で見ると、「図書館は利用したことがない」、「ここ1年間は利用していない」という回答はともに「男性」が「女性」を上回り、男性の方が図書館を利用していない傾向がうかがえる。

利用した図書館のうち、「市立長野図書館」や「市立南部図書館」などでは「女性」の利用率が高く、「県立長野図書館」は「男性」の利用が「女性」を上回った。





年代別で見ると、「利用したことがない」という回答は「70歳以上」が51.9%であり、半数を超えている状況である。年代が高くなるにしたがって、「利用したことがない」割合も多くなっている。「ここ1年間は利用していない」は「20歳代」が45.2%で最も多かった。利用した図書館のうち「市立長野図書館」と「市立南部図書館」は「30歳代」の利用が最も多く、「県立長野図書館」は「20歳代」の利用が最も多かった。

地域別で見ると、「利用したことがない」という回答は「中山間地域(53.6%)」が最も多く、半数以上を占めた。「ここ1年間は利用していない」という回答は、「市街地周辺地域」が34.0%と最も多く、「市街地地域(33.6%)」が続いた。

「市立長野図書館」の利用は「市街地地域(23.7%)」が最も多く、「犀南地域」、「松代・若穂」、「中山間地域」では、1割を下回った。

「市立南部図書館」の利用は「犀南地域(24.6%)」が最も多く、「松代・若穂(13.1%)」が続いた。「市街地地域(2.7%)」や「市街地周辺地域(1.2%)」からの利用はわずかとなっている。

市立図書館の利用者が「よく利用する図書館」について、平成17年度の調査結果と比較すると、下表のとおりとなる。

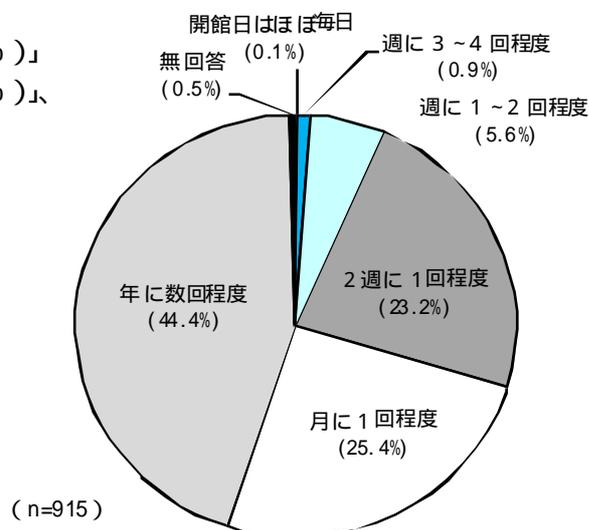
図書館名	平成24年度			平成17年度		
	1番	2番	3番	1番	2番	3番
市立長野図書館	396人 28.9%	94人 6.9%	17人 1.2%	396人 28.7%	133人 9.7%	25人 1.8%
市立南部図書館	231人 16.9%	53人 3.9%	14人 1.0%	181人 13.1%	43人 3.1%	25人 1.8%
県立長野図書館	148人 10.8%	129人 9.4%	35人 2.6%	218人 15.8%	177人 12.8%	39人 2.8%
市立図書館の分室(公民館)・市民文庫	57人 4.2%	36人 2.6%	20人 1.5%	20人 1.5%	13人 0.9%	20人 1.5%
市立図書館の移動図書館	51人 3.7%	40人 2.9%	18人 1.3%	37人 2.7%	40人 2.9%	11人 0.8%
小布施町立図書館	14人 1.0%	10人 0.7%	7人 0.5%			
合計	1,370人			1,378人		

## 図書館の利用頻度 ～「年に数回程度」がほぼ半数～

問7 問6で「1」から「7」を選んだ方（図書館を利用したことがある方）にお伺いします。あなたがその図書館を利用した頻度はどのくらいですか。次の中から1つだけをしてください。

			開館日は ほぼ毎日	週に3～4 回程度	週に1～2 回程度	2週に1回 程度	月に1回 程度	年に数回 程度	無回答	対象
全体	度数	1	8	51	212	232	406	5	915	
	割合	0.1%	0.9%	5.6%	23.2%	25.4%	44.4%	0.5%		
性別	男性	度数	0	4	26	74	89	171	1	365
		割合	0.0%	1.1%	7.1%	20.3%	24.4%	46.8%	0.3%	
	女性	度数	1	4	24	138	142	235	4	548
		割合	0.2%	0.7%	4.4%	25.2%	25.9%	42.9%	0.7%	
年代	20歳代	度数	1	1	5	12	27	37	0	83
		割合	1.2%	1.2%	6.0%	14.5%	32.5%	44.6%	0.0%	
	30歳代	度数	0	0	11	49	43	80	1	184
		割合	0.0%	0.0%	6.0%	26.6%	23.4%	43.5%	0.5%	
	40歳代	度数	0	4	6	40	52	104	1	207
		割合	0.0%	1.9%	2.9%	19.3%	25.1%	50.2%	0.5%	
	50歳代	度数	0	1	8	27	41	59	1	137
		割合	0.0%	0.7%	5.8%	19.7%	29.9%	43.1%	0.7%	
	60歳代	度数	0	2	10	42	49	77	0	180
		割合	0.0%	1.1%	5.6%	23.3%	27.2%	42.8%	0.0%	
	70歳以上	度数	0	0	10	42	19	48	2	121
		割合	0.0%	0.0%	8.3%	34.7%	15.7%	39.7%	1.7%	
地域区分	市街地地域	度数	1	4	18	88	83	160	0	354
		割合	0.3%	1.1%	5.1%	24.9%	23.4%	45.2%	0.0%	
	市街地周辺 地域	度数	0	1	8	43	49	78	1	180
		割合	0.0%	0.6%	4.4%	23.9%	27.2%	43.3%	0.6%	
	犀南地域	度数	0	1	18	54	75	122	2	272
		割合	0.0%	0.4%	6.6%	19.9%	27.6%	44.9%	0.7%	
	松代・若穂	度数	0	0	5	16	11	31	1	64
		割合	0.0%	0.0%	7.8%	25.0%	17.2%	48.4%	1.6%	
	中山間地域	度数	0	2	0	9	10	13	1	35
		割合	0.0%	5.7%	0.0%	25.7%	28.6%	37.1%	2.9%	

図書館の利用頻度については、「年に数回程度（44.4%）」が最も多く、ほぼ半数を占めた。「月に1回程度（25.4%）」、「2週に1回程度（23.2%）」が続いた。



男女別で見ると、「年に数回程度」の利用は「男性（46.8%）」が「女性（42.9%）」を3.9ポイント上回った。

一方「2週に1回程度」の利用は「女性（25.2%）」が「男性（20.3%）」を上回っている。

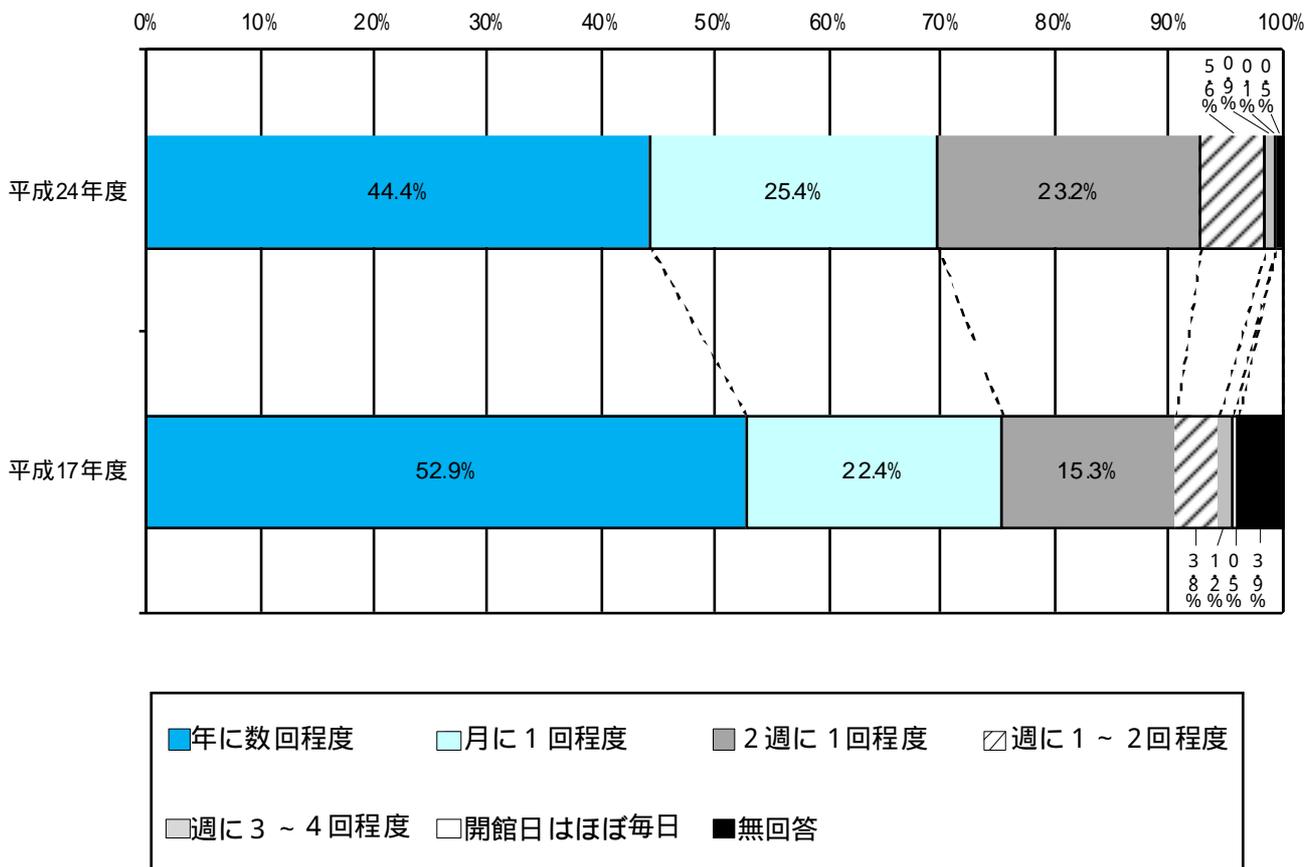
年代別で見ると、「年に数回程度」の利用は「40歳代（50.2%）」が最も多く、回答者の半数を占めた。

「月に1回程度」の利用は「20歳代（32.5%）」が最も多く、「70歳以上（15.7%）」の割合と比較すると16.8ポイントの開きが見られた。

「2週に1回程度」の利用は「70歳以上（34.7%）」が最も多い。

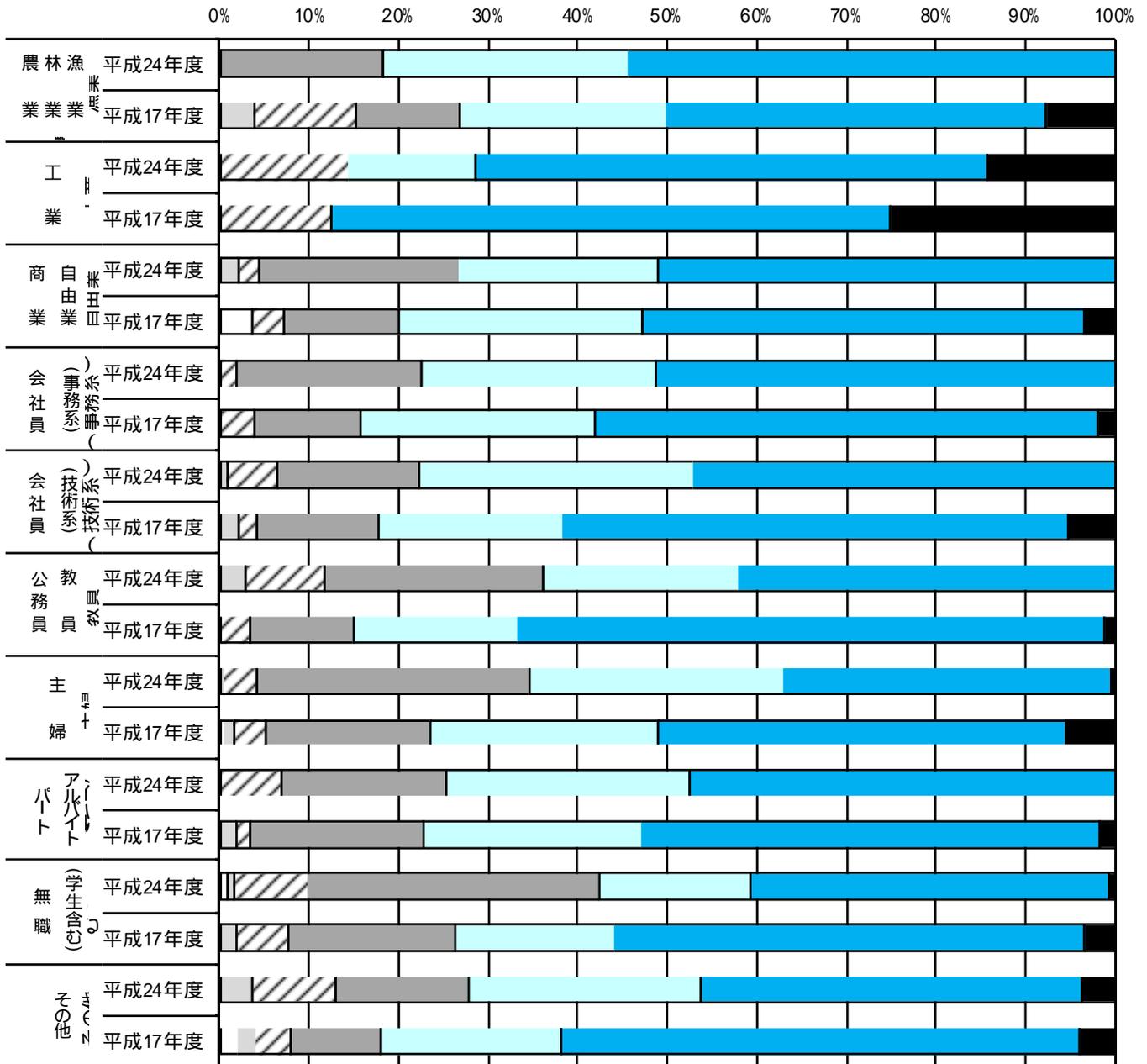
地域別で見ると、「年に数回程度」の利用は「松代・若穂（48.4%）」が最も多かった。「中山間地域（37.1%）」と比べると11.3ポイントの差が見られる。

平成17年度に実施した調査結果と比較すると、「年に数回程度」の利用は52.9%から44.4%に縮小し、「月に1回程度」および「2週に1回程度」の利用が拡大した。





職業別で平成17年度の調査結果と比較すると、次のグラフのとおりとなる。



## 図書館を利用しない理由 ～「本は購入」が最多～

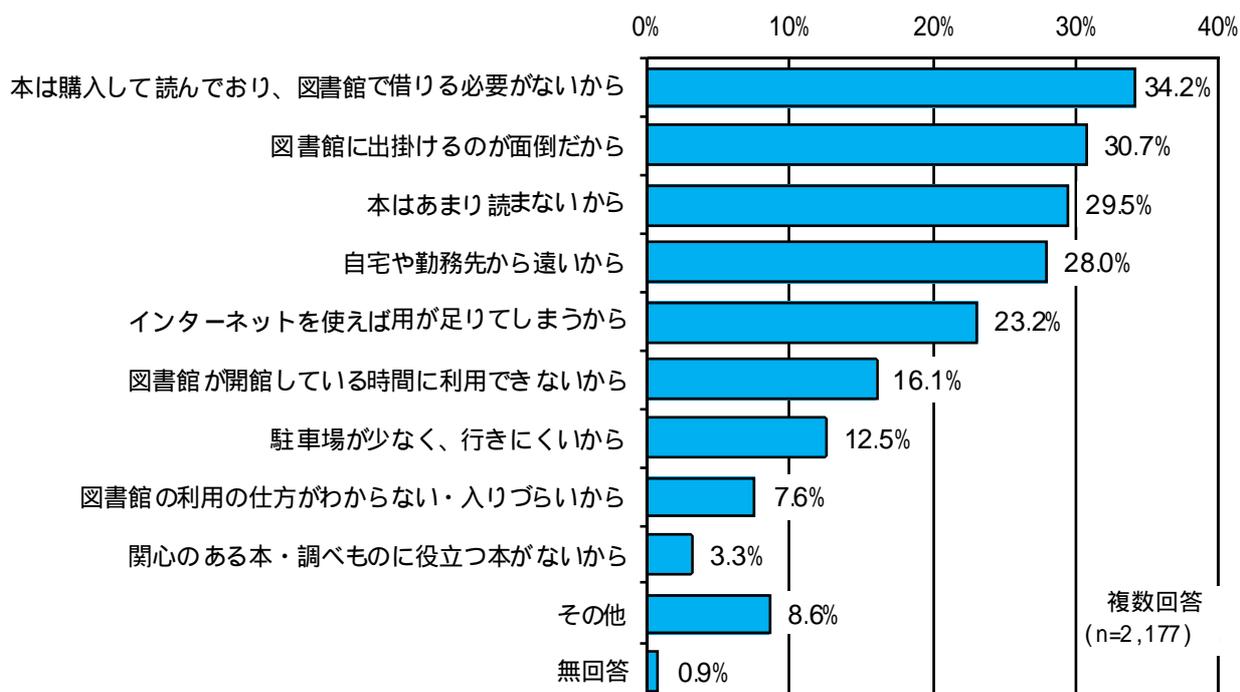
問8 問6で「8」または「9」を選んだ方（最近図書館を利用したことがない方）にお伺いします。 あなたがその図書館を利用しなかったのは、主にどのような理由からですか。次の中から3つ以内で選び、 をしてください。

			自宅や勤務先から遠い	駐車場が少なく、行きにくい	開館している時間に利用できない	関心のある本・調べものに役立つ本がない	インターネットを使えば用が足りてしまう	利用の仕方がわからない・入りづらい	購入して読んでおり、借りる必要がない	本はあまり読まない	出掛けるのが面倒	その他	無回答	対象
全体	度数	610	273	350	71	505	166	744	643	669	188	20	2,177	
	割合	28.0%	12.5%	16.1%	3.3%	23.2%	7.6%	34.2%	29.5%	30.7%	8.6%	0.9%		
性別	男性	度数	223	114	169	43	292	63	299	305	281	60	10	959
	割合	23.3%	11.9%	17.6%	4.5%	30.4%	6.6%	31.2%	31.8%	29.3%	6.3%	1.0%		
	女性	度数	386	158	180	26	213	102	443	337	388	127	9	1,213
	割合	31.8%	13.0%	14.8%	2.1%	17.6%	8.4%	36.5%	27.8%	32.0%	10.5%	0.7%		
年代	20歳代	度数	42	19	29	9	83	11	41	48	43	19	1	178
		割合	23.6%	10.7%	16.3%	5.1%	46.6%	6.2%	23.0%	27.0%	24.2%	10.7%	0.6%	
	30歳代	度数	75	44	62	8	106	25	75	84	76	29	0	286
		割合	26.2%	15.4%	21.7%	2.8%	37.1%	8.7%	26.2%	29.4%	26.6%	10.1%	0.0%	
	40歳代	度数	116	65	84	18	87	38	109	95	85	32	1	359
		割合	32.3%	18.1%	23.4%	5.0%	24.2%	10.6%	30.4%	26.5%	23.7%	8.9%	0.3%	
	50歳代	度数	127	59	95	13	110	38	155	93	124	25	0	404
		割合	31.4%	14.6%	23.5%	3.2%	27.2%	9.4%	38.4%	23.0%	30.7%	6.2%	0.0%	
	60歳代	度数	143	59	57	14	88	31	206	175	205	43	6	532
		割合	26.9%	11.1%	10.7%	2.6%	16.5%	5.8%	38.7%	32.9%	38.5%	8.1%	1.1%	
70歳以上	度数	107	26	22	7	30	22	157	148	136	38	11	414	
	割合	25.8%	6.3%	5.3%	1.7%	7.2%	5.3%	37.9%	35.7%	32.9%	9.2%	2.7%		
地域区分	市街地地域	度数	149	121	126	24	197	56	251	191	216	66	8	722
		割合	20.6%	16.8%	17.5%	3.3%	27.3%	7.8%	34.8%	26.5%	29.9%	9.1%	1.1%	
	市街地周辺地域	度数	192	78	77	18	109	36	174	168	173	43	4	540
		割合	35.6%	14.4%	14.3%	3.3%	20.2%	6.7%	32.2%	31.1%	32.0%	8.0%	0.7%	
	犀南地域	度数	133	49	96	14	149	40	222	169	171	49	3	554
		割合	24.0%	8.8%	17.3%	2.5%	26.9%	7.2%	40.1%	30.5%	30.9%	8.8%	0.5%	
松代・若穂	度数	78	14	23	8	30	20	54	63	73	17	1	198	
	割合	39.4%	7.1%	11.6%	4.0%	15.2%	10.1%	27.3%	31.8%	36.9%	8.6%	0.5%		
中山間地域	度数	56	10	26	4	18	12	41	51	35	13	3	154	
	割合	36.4%	6.5%	16.9%	2.6%	11.7%	7.8%	26.6%	33.1%	22.7%	8.4%	1.9%		

図書館を利用しない主な理由としては、「本は購入して読んでおり、図書館で借りる必要がないから（34.2%）」が最も多く、全体の3分の1を占めた。

「図書館に出掛けるのが面倒だから（30.7%）」、「本はあまり読まないから（29.5%）」、「自宅や勤務先から遠いから（28.0%）」がこれに続いた。

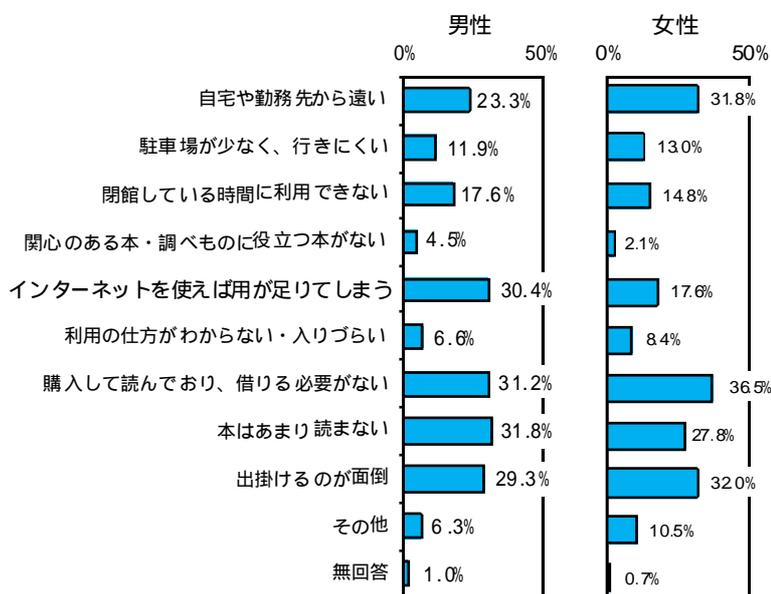
また、「インターネットを使えば用が足りてしまうから」という理由も23.2%と、全体のおよそ4分の1を占めた。

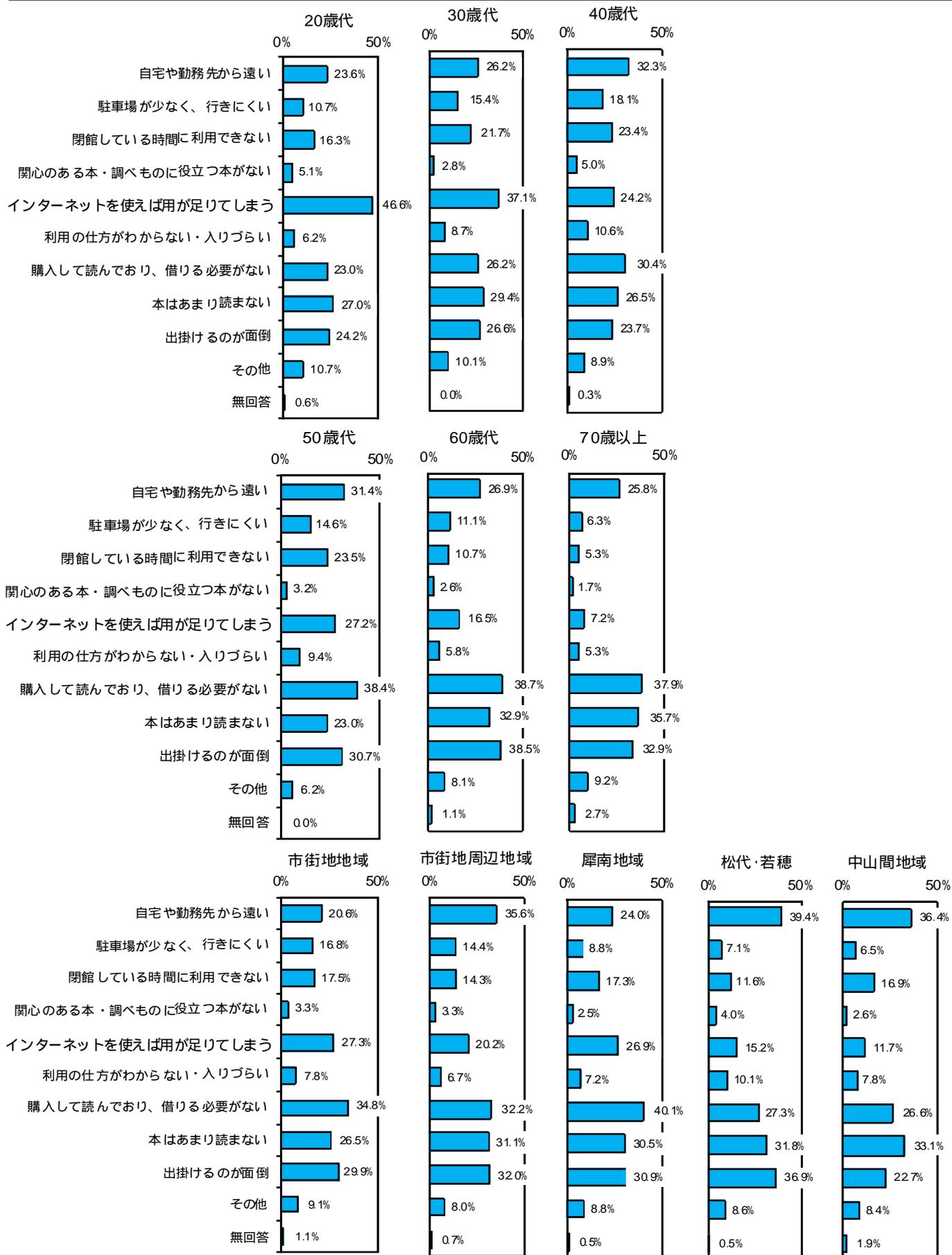


男女別で見ると、「男性」は「本はあまり読まないから（31.8%）」が最も多く、「本は購入して読んでおり、図書館で借りる必要がないから（31.2%）」、「インターネットを使えば用が足りてしまうから（30.4%）」が続いている。これに対し「女性」は、「本は購入して読んでおり、図書館で借りる必要がないから（36.5%）」が最も多く、「図書館に出掛けるのが面倒だから（32.0%）」、「自宅や勤務先から遠いから（31.8%）」が続いた。男女間の意識の違いがうかがえる。

年代別で見ると、「20歳代」および「30歳代」では「インターネットを使えば用が足りてしまうから」がトップになった。「40歳代」では「自宅や勤務先から遠いから」が、「50歳代」以降では、「本は購入して読んでおり、図書館で借りる必要がないから」がトップになった。こちらも、世代間の意識の違いがはっきりとしている。

地域区分別では、市立長野図書館や県立長野図書館がある「市街地地域」および南部図書館がある「犀南地域」では「本は購入して読んでおり、図書館で借りる必要がないから」がトップに、それ以外の地域では「自宅や勤務先から遠いから」がトップになった。





## 図書館以外の場所での受け取り・返却を希望

問9 全員の方にお伺いします。市立図書館では、過去に実施したアンケート調査の結果を受け、開館時間の延長や祝日開館をはじめ、インターネット予約の実施、移動図書館の巡回コース拡大など、サービスの充実を図ってきましたが、さらに利用しやすくするために実施したらよいと思うものを次の中から3つ以内を選び、をしてください。

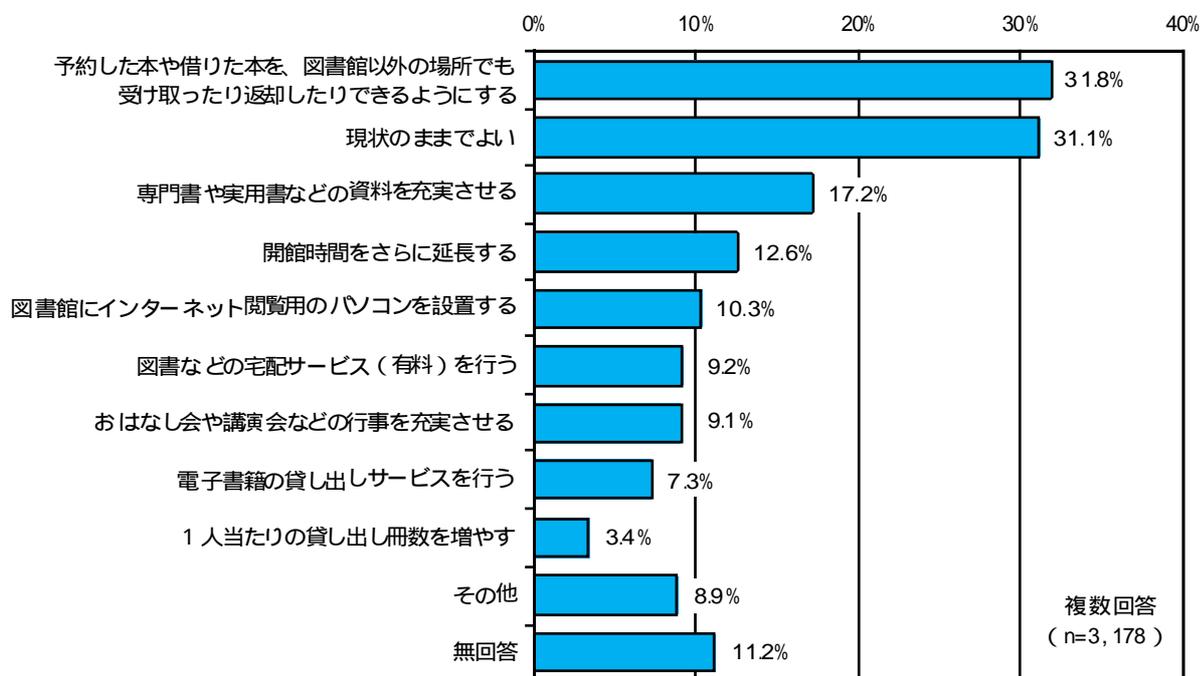
		図書館以外の場所でも受け取り・返却	開館時間をさらに延長する	貸し出し冊数を増やす	専門書や実用書などの資料の充実	おはなし会や講演会などの行事を充実	インターネット閲覧用のパソコンの設置	電子書籍の貸し出しサービス	宅配サービス(有料)	その他	現状のままでよい	無回答	対象	
全体	度数	1,012	400	109	547	288	327	233	292	282	989	356	3,178	
	割合	31.8%	12.6%	3.4%	17.2%	9.1%	10.3%	7.3%	9.2%	8.9%	31.1%	11.2%		
性別	男性	度数	362	169	47	302	112	168	126	129	129	425	148	1,358
		割合	26.7%	12.4%	3.5%	22.2%	8.2%	12.4%	9.3%	9.5%	9.5%	31.3%	10.9%	
	女性	度数	646	229	61	245	175	159	105	159	151	562	356	1,808
		割合	35.7%	12.7%	3.4%	13.6%	9.7%	8.8%	5.8%	8.8%	8.4%	31.1%	19.7%	
年代	20歳代	度数	87	48	12	72	14	57	43	20	22	61	15	270
		割合	32.2%	17.8%	4.4%	26.7%	5.2%	21.1%	15.9%	7.4%	8.1%	22.6%	5.6%	
	30歳代	度数	209	64	21	103	53	72	54	43	51	99	31	478
		割合	43.7%	13.4%	4.4%	21.5%	11.1%	15.1%	11.3%	9.0%	10.7%	20.7%	6.5%	
	40歳代	度数	213	105	18	108	33	85	57	57	68	149	28	571
		割合	37.3%	18.4%	3.2%	18.9%	5.8%	14.9%	10.0%	10.0%	11.9%	26.1%	4.9%	
	50歳代	度数	204	90	22	93	53	60	42	54	49	272	37	550
		割合	37.1%	16.4%	4.0%	16.9%	9.6%	10.9%	7.6%	9.8%	8.9%	49.5%	6.7%	
	60歳代	度数	191	63	17	111	85	41	25	70	55	291	98	733
		割合	26.1%	8.6%	2.3%	15.1%	11.6%	5.6%	3.4%	9.5%	7.5%	39.7%	13.4%	
	70歳以上	度数	105	28	18	59	50	12	11	46	34	229	143	563
		割合	18.7%	5.0%	3.2%	10.5%	8.9%	2.1%	2.0%	8.2%	6.0%	40.7%	25.4%	
地域区分	市街地地域	度数	376	143	36	186	119	113	97	112	106	322	107	1,098
		割合	34.2%	13.0%	3.3%	16.9%	10.8%	10.3%	8.8%	10.2%	9.7%	29.3%	9.7%	
	市街地周辺地域	度数	252	75	24	123	58	73	52	73	67	220	91	742
		割合	34.0%	10.1%	3.2%	16.6%	7.8%	9.8%	7.0%	9.8%	9.0%	29.6%	12.3%	
	犀南地域	度数	256	134	32	163	72	74	63	65	65	278	77	848
		割合	30.2%	15.8%	3.8%	19.2%	8.5%	8.7%	7.4%	7.7%	7.7%	32.8%	9.1%	
	松代・若穂	度数	79	31	9	41	27	24	14	24	27	94	33	274
		割合	28.8%	11.3%	3.3%	15.0%	9.9%	8.8%	5.1%	8.8%	9.9%	34.3%	12.0%	
中山間地域	度数	44	14	7	30	11	12	6	15	15	70	44	194	
	割合	22.7%	7.2%	3.6%	15.5%	5.7%	6.2%	3.1%	7.7%	7.7%	36.1%	22.7%		

市立図書館をさらに利用しやすくするために実施したらよいと思うサービスは、「予約した本や借りた本を、図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする(31.8%)」が最も多かった。一方で、「現状のままでよい」という回答も31.1%に達している。

男女別で見ると、「男性」は「現状のままでよい(31.3%)」がトップに、「女性」は「予約した本や借りた本を、図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする(35.7%)」がトップになった。

年代別で見ると、「20歳代」から「40歳代」までは「予約した本や借りた本を、図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする」がトップに、「50歳代」以降では「現状のままでよい」がトップになった。

地域別で見ると、「市街地地域」および「市街地周辺地域」では「予約した本や借りた本を、図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする」がトップに、それ以外の地域では「現状のままでよい」がトップになった。



順位	全体 (n=3,178)	男性 (n=1,358)	女性 (n=1,808)	20歳代 (n=270)	30歳代 (n=478)	40歳代 (n=571)	50歳代 (n=550)	60歳代 (n=733)	70歳以上 (n=563)
1	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (31.8%)	現状のままでよい (31.3%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (35.7%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (32.2%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (43.7%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (37.3%)	現状のままでよい (49.5%)	現状のままでよい (39.7%)	現状のままでよい (40.7%)
2	現状のままでよい (31.1%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (26.7%)	現状のままでよい (31.1%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (26.7%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (21.5%)	現状のままでよい (26.1%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (37.1%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (26.1%)	図書館以外でも受け取ったり返却したりできるようにする (18.7%)
3	専門書や実用書などの資料を充実させる (17.2%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (22.2%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (13.6%)	現状のままでよい (22.6%)	現状のままでよい (20.7%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (18.9%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (16.9%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (15.1%)	専門書や実用書などの資料を充実させる (10.5%)
4	開館時間をさらに延長する (12.6%)	開館時間をさらに延長する (12.4%)	開館時間をさらに延長する (12.7%)	インターネット閲覧用のパソコンを設置する (21.1%)	インターネット閲覧用のパソコンを設置する (15.1%)	開館時間をさらに延長する (18.4%)	開館時間をさらに延長する (16.4%)	おはなし会や講演会などの行事を充実させる (11.6%)	おはなし会や講演会などの行事を充実させる (8.9%)
5	インターネット閲覧用のパソコンを設置する (10.3%)	宅配サービス（有料）を行う (9.5%)	おはなし会や講演会などの行事を充実させる (9.7%)	開館時間をさらに延長する (17.8%)	開館時間をさらに延長する (13.4%)	インターネット閲覧用のパソコンを設置する (14.9%)	インターネット閲覧用のパソコンを設置する (10.9%)	宅配サービス（有料）を行う (9.5%)	宅配サービス（有料）を行う (8.2%)

## 選挙における投票行動について

問 10 平成23年(2011年)9月18日に執行された長野市議会議員一般選挙で、あなたは投票しましたか。次の中から1つだけをして下さい。

		投票した	投票しなかった	選挙権がなかった	無回答	合計		
全体	度数	2,328	720	97	33	3,178		
	割合	73.3%	22.7%	3.1%	1.0%	100.0%		
性別	男性	度数	1,006	300	37	15	1,358	
		割合	74.1%	22.1%	2.7%	1.1%	100.0%	
	女性	度数	1,315	418	60	15	1,808	
		割合	72.7%	23.1%	3.3%	0.8%	100.0%	
年代	20歳代	度数	115	113	41	1	270	
		割合	42.6%	41.9%	15.2%	0.4%	100.0%	
	30歳代	度数	272	170	32	4	478	
		割合	56.9%	35.6%	6.7%	0.8%	100.0%	
	40歳代	度数	403	152	12	4	571	
		割合	70.6%	26.6%	2.1%	0.7%	100.0%	
	50歳代	度数	428	117	3	2	550	
		割合	77.8%	21.3%	0.5%	0.4%	100.0%	
	60歳代	度数	618	105	5	5	733	
		割合	84.3%	14.3%	0.7%	0.7%	100.0%	
	70歳以上	度数	487	60	4	12	563	
		割合	86.5%	10.7%	0.7%	2.1%	100.0%	
	地域区分	市街地地域	度数	768	277	45	8	1,098
			割合	69.9%	25.2%	4.1%	0.7%	100.0%
市街地周辺地域		度数	545	167	22	8	742	
		割合	73.5%	22.5%	3.0%	1.1%	100.0%	
犀南地域		度数	614	202	24	8	848	
		割合	72.4%	23.8%	2.8%	0.9%	100.0%	
松代・若穂		度数	227	42	3	2	274	
		割合	82.8%	15.3%	1.1%	0.7%	100.0%	
中山間地域		度数	163	25	3	3	194	
		割合	84.0%	12.9%	1.5%	1.5%	100.0%	

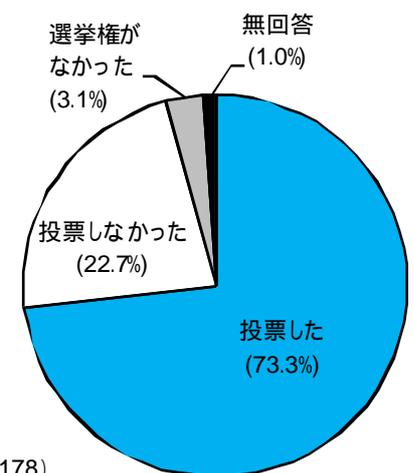
長野市議会議員一般選挙で投票したかどうかについては、「投票した」が73.3%、「投票しなかった」が22.7%であった。

国籍、年齢、住所要件などで「選挙権がなかった」人は3.1%であった。

参考：長野市議会議員一般選挙の投票率

全体 46.32%

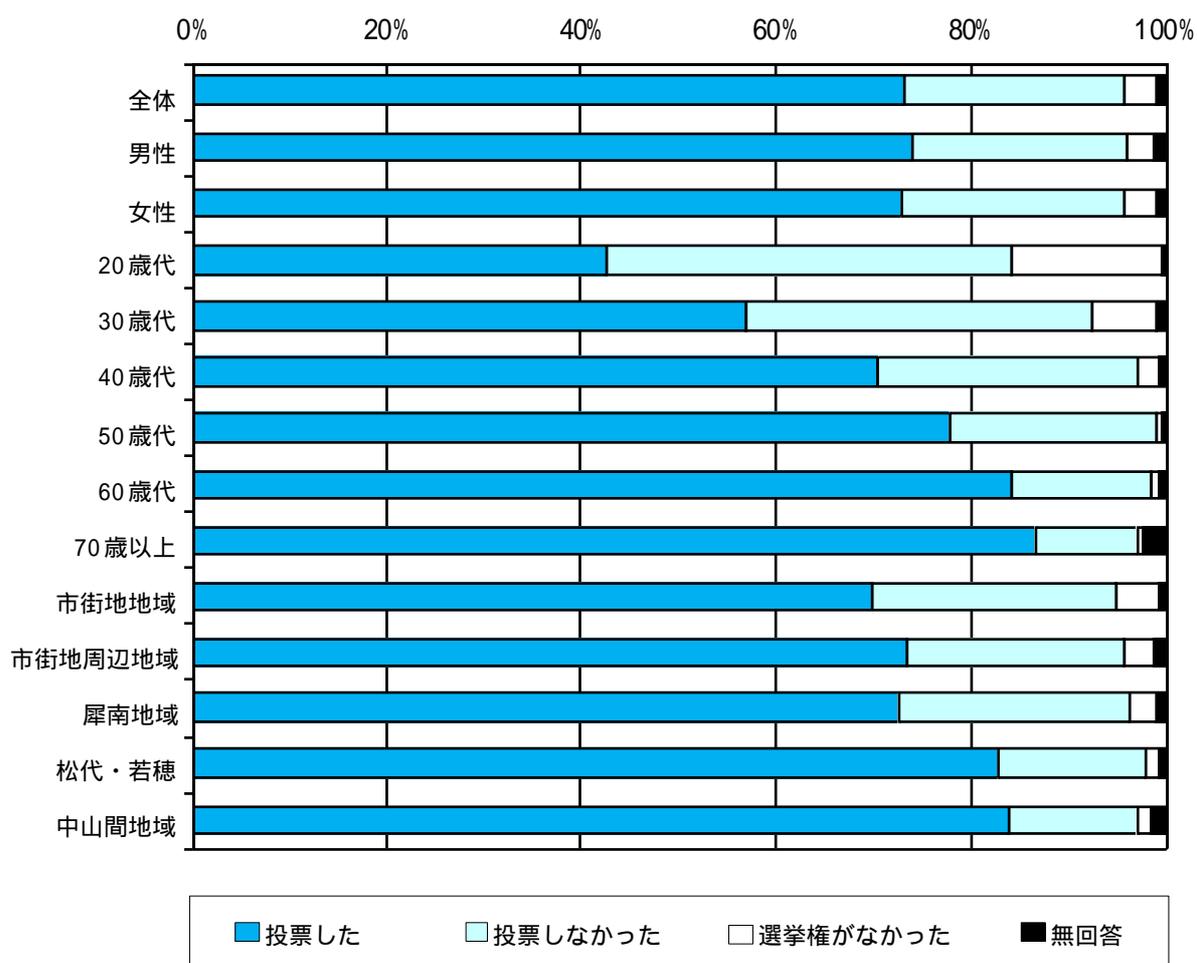
男性 46.36%、女性 46.28%



男女別で見ると、「投票した」人は「男性」が74.1%、「女性」が72.7%であり、「男性」がわずかに「女性」を上回った。

年代別では、「投票した」割合が最も多かったのは「70歳以上」で86.5%であった。一方「20歳代」では42.6%であり、両年代の間に43.9ポイントの開きが見られた。この「投票した」割合は、年代が高くなるにしたがって多くなっている。

地域別では、「投票した」割合が最も多かったのは「中山間地域」で84.0%であった。逆に最も低かった地域は「市街地地域(69.9%)」であり、「中山間地域」と14.1ポイントの開きが見られた。

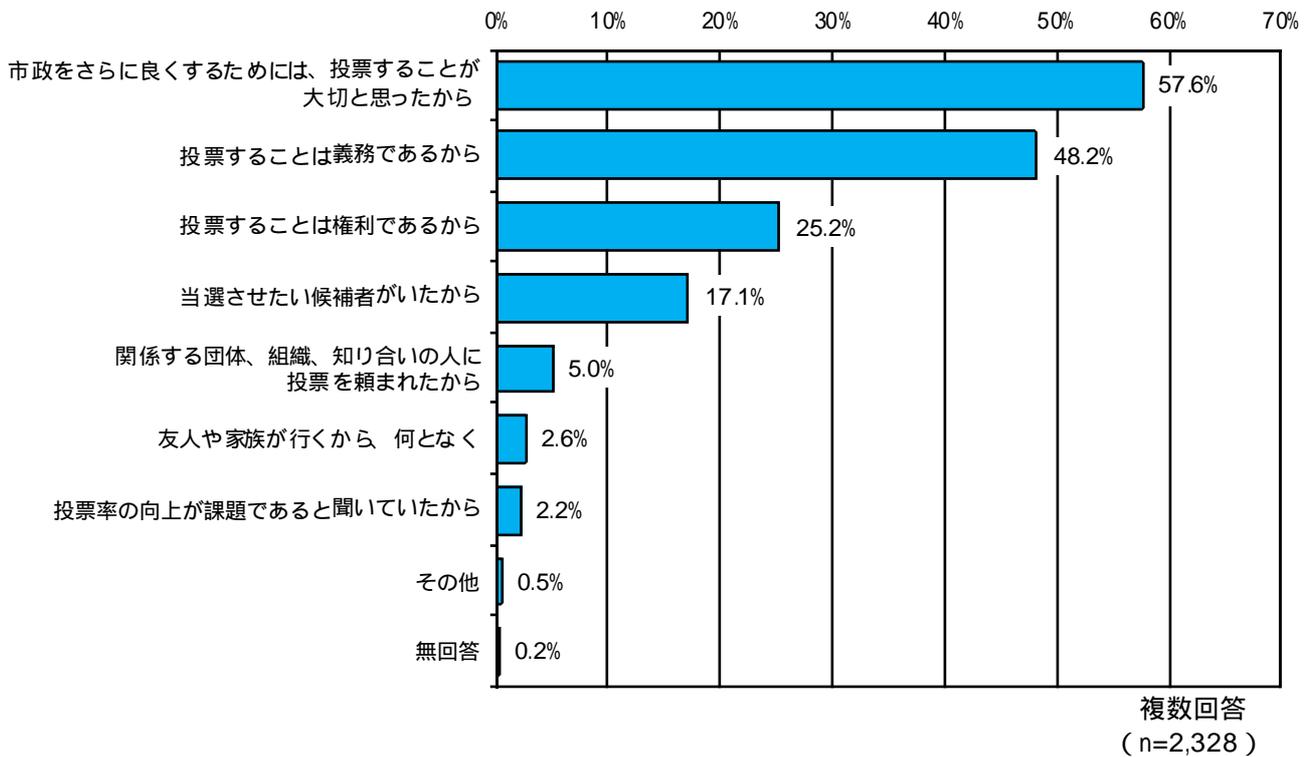


## 投票した理由 ～「市政をさらに良くするため」～

問11 問10で「1 投票した」に をした方にお伺いします。あなたが投票した理由について、次の中から2つ以内で選び、 をしてください。

		市政をさらに良くするためには、投票することが大切と思った	投票することは義務である	投票することは権利である	当選させたい候補者がいた	投票率の向上が課題であると聞いていた	関係する団体、組織、知り合いの人に投票を頼まれた	友人や家族が行くから何となく	その他	無回答	対象	
全体	度数	1,340	1,121	587	399	51	117	61	11	4	2,328	
	割合	57.6%	48.2%	25.2%	17.1%	2.2%	5.0%	2.6%	0.5%	0.2%		
性別	男性	度数	592	466	271	194	20	54	19	5	2	1,006
		割合	58.8%	46.3%	26.9%	19.3%	2.0%	5.4%	1.9%	0.5%	0.2%	
	女性	度数	743	652	314	204	31	63	42	6	2	1,315
		割合	56.5%	49.6%	23.9%	15.5%	2.4%	4.8%	3.2%	0.5%	0.2%	
年代	20歳代	度数	38	70	27	3	7	11	13	0	0	115
		割合	33.0%	60.9%	23.5%	2.6%	6.1%	9.6%	11.3%	0.0%	0.0%	
	30歳代	度数	115	153	85	11	5	12	19	1	0	272
		割合	42.3%	56.3%	31.3%	4.0%	1.8%	4.4%	7.0%	0.4%	0.0%	
	40歳代	度数	221	187	129	41	7	16	7	3	0	403
		割合	54.8%	46.4%	32.0%	10.2%	1.7%	4.0%	1.7%	0.7%	0.0%	
	50歳代	度数	254	199	119	61	10	21	9	3	1	428
		割合	59.3%	46.5%	27.8%	14.3%	2.3%	4.9%	2.1%	0.7%	0.2%	
60歳代	度数	411	276	137	155	16	35	7	2	1	618	
	割合	66.5%	44.7%	22.2%	25.1%	2.6%	5.7%	1.1%	0.3%	0.2%		
70歳以上	度数	297	235	89	126	6	22	6	2	2	487	
	割合	61.0%	48.3%	18.3%	25.9%	1.2%	4.5%	1.2%	0.4%	0.4%		
地域区分	市街地地域	度数	427	370	205	128	19	38	14	2	0	768
		割合	55.6%	48.2%	26.7%	16.7%	2.5%	4.9%	1.8%	0.3%	0.0%	
	市街地周辺地域	度数	319	269	134	91	16	25	16	3	2	545
		割合	58.5%	49.4%	24.6%	16.7%	2.9%	4.6%	2.9%	0.6%	0.4%	
	犀南地域	度数	366	298	159	93	10	31	19	4	0	614
		割合	59.6%	48.5%	25.9%	15.1%	1.6%	5.0%	3.1%	0.7%	0.0%	
	松代・若穂	度数	133	102	55	44	5	15	5	1	2	227
		割合	58.6%	44.9%	24.2%	19.4%	2.2%	6.6%	2.2%	0.4%	0.9%	
中山間地域	度数	87	77	32	43	1	8	7	1	0	163	
	割合	53.4%	47.2%	19.6%	26.4%	0.6%	4.9%	4.3%	0.6%	0.0%		

投票した理由については、「市政をさらに良くするためには、投票することが大切と思ったから」が57.6%と半数を超えた。続いて、「投票することは義務であるから（48.2%）」、「投票することは権利であるから（25.2%）」の順となった。

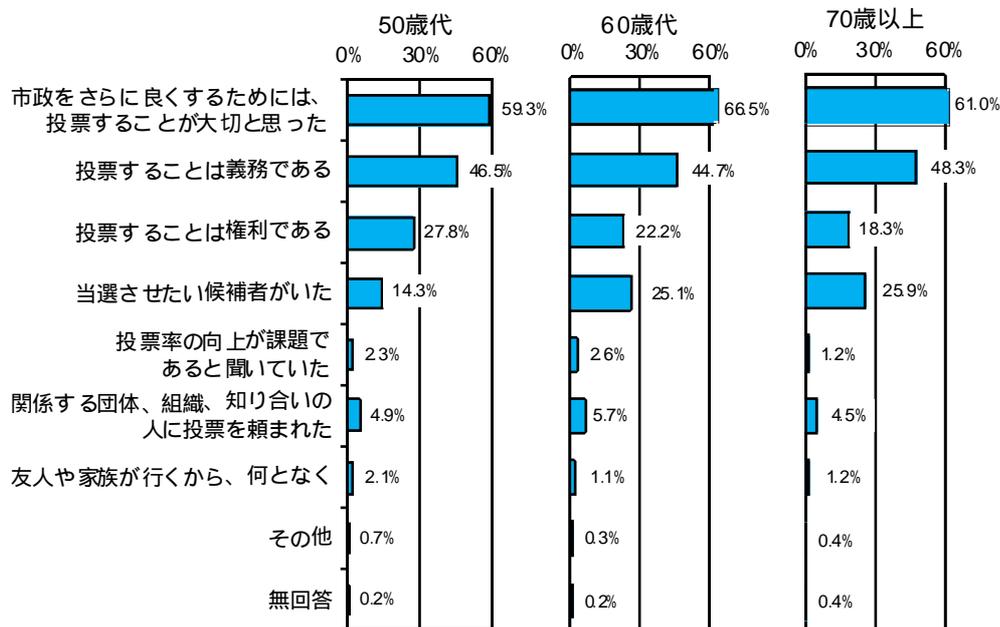
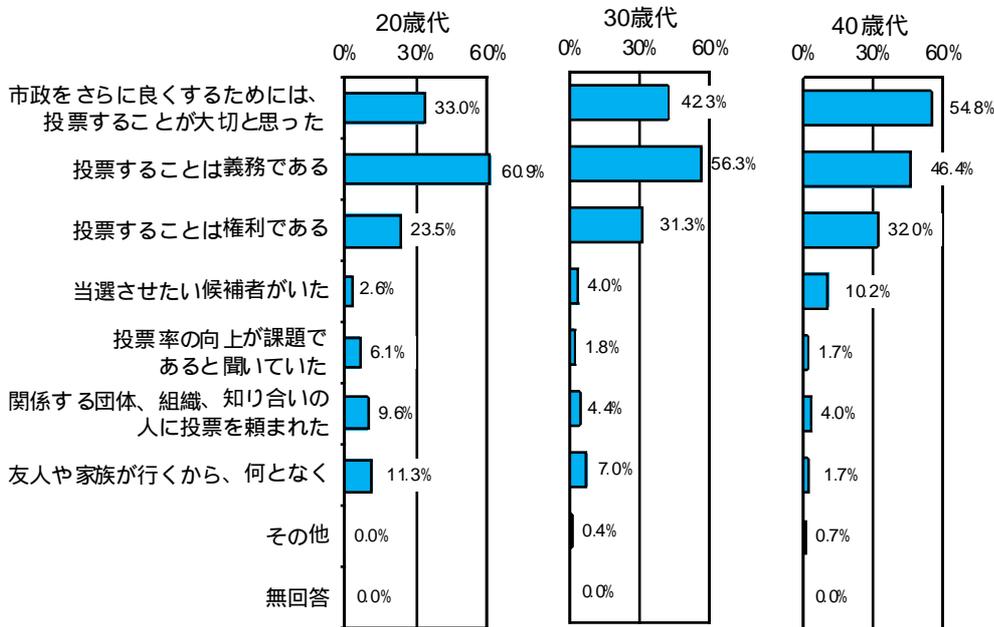
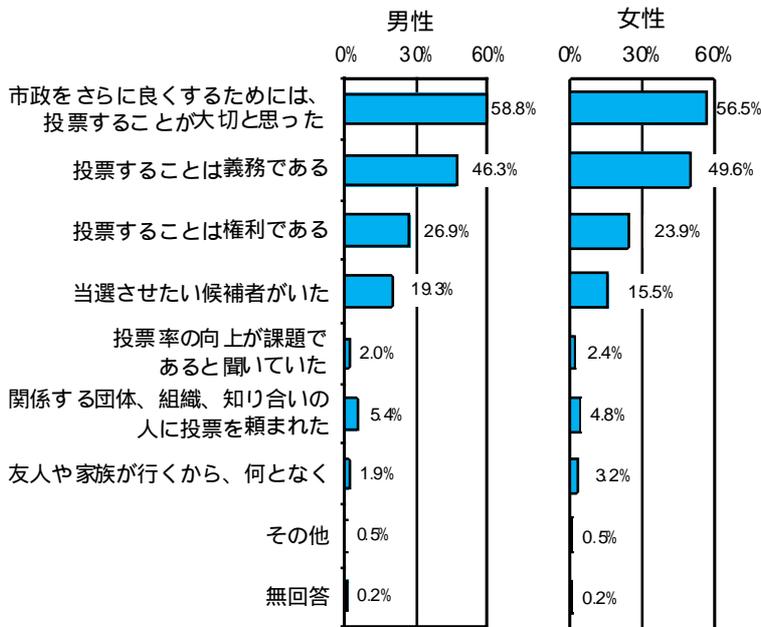


性別で見ると、「市政をさらに良くするためには、投票することが大切と思ったから」は、「男性（58.8%）」の回答が「女性（56.5%）」を上回った。同様に、「投票することは権利であるから」および「当選させたい候補者がいたから」の回答は、「男性」が「女性」を上回っている。

一方で、「投票することは義務であるから」については、「女性（49.6%）」が「男性（46.3%）」を上回った。

年代別では、「20歳代」および「30歳代」では、「投票することは義務であるから」がトップに、「40歳代」以降では「市政をさらに良くするためには、投票することが大切と思ったから」がトップになった。

「市政をさらに良くするためには、投票することが大切と思ったから」は、「20歳代」では33.0%と低く、「60歳代（66.5%）」と比べると33.5ポイントもの差が見られた。

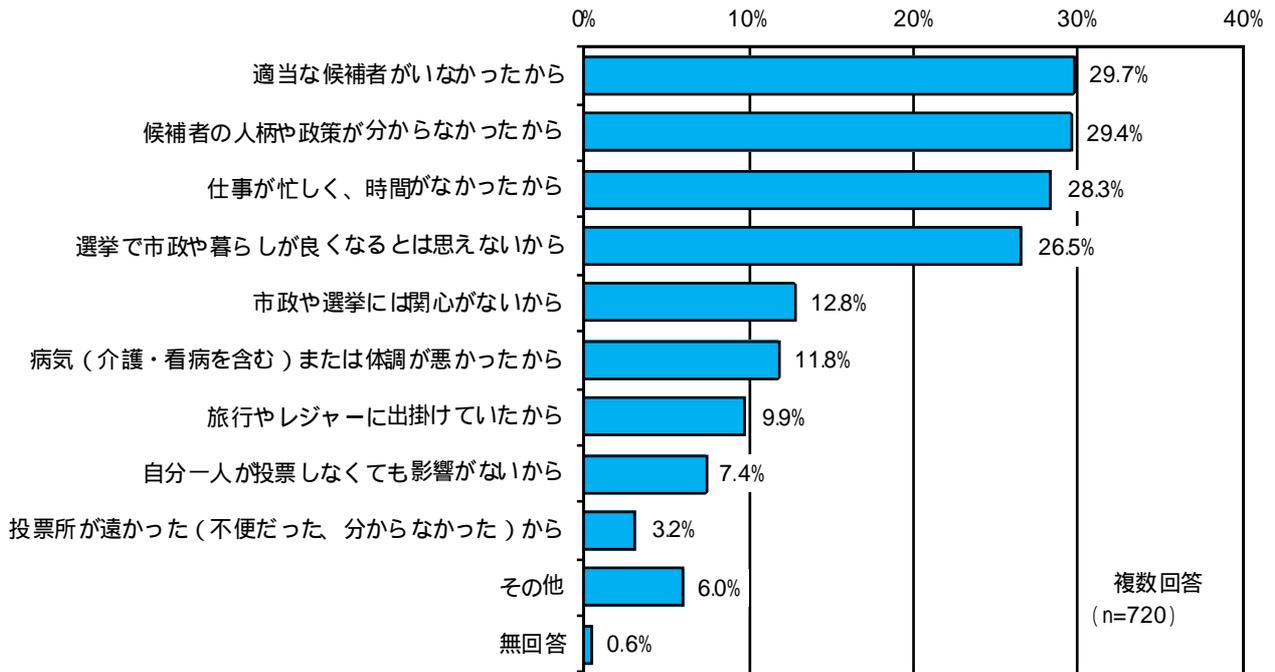


投票しなかった理由 ~ 「適当な候補者不在」、「人柄や政策が不明」 ~

問 12 問 10 で「2 投票しなかった」に をした方にお伺いします。あなたが投票しなかった理由について、次の中から3 つ以内で選び、 をしてください。

		仕事 が忙しく、 時間が なかった	旅行や レジャー に出掛け ていた	病気(介 護・看病 を含む) または体 調が悪 かった	適当な候 補者がい なかった	候補者の 人柄や 政策が 分からな かった	市政や 選挙には 関心が ない	選挙で 市政や 暮らしが 良くなる とは思え ない	自分 一人が 投票し なくても 影響が ない	投票所が 遠かった (不便 だった、 分からな かった)	その他	無回答	対象	
全体	度数	204	71	85	214	212	92	191	53	23	43	4	720	
	割合	28.3%	9.9%	11.8%	29.7%	29.4%	12.8%	26.5%	7.4%	3.2%	6.0%	0.6%		
性別	男性	度数	92	23	24	94	91	42	76	25	8	16	3	300
	割合	30.7%	7.7%	8.0%	31.3%	30.3%	14.0%	25.3%	8.3%	2.7%	5.3%	1.0%		
	女性	度数	112	48	61	118	120	50	114	28	15	26	1	418
	割合	26.8%	11.5%	14.6%	28.2%	28.7%	12.0%	27.3%	6.7%	3.6%	6.2%	0.2%		
年代	20歳代	度数	49	16	3	17	21	19	21	9	4	11	2	113
		割合	43.4%	14.2%	2.7%	15.0%	18.6%	16.8%	18.6%	8.0%	3.5%	9.7%	1.8%	
	30歳代	度数	59	19	14	46	50	29	49	18	1	8	1	170
		割合	34.7%	11.2%	8.2%	27.1%	29.4%	17.1%	28.8%	10.6%	0.6%	4.7%	0.6%	
	40歳代	度数	50	17	9	42	48	18	44	6	4	13	1	152
		割合	32.9%	11.2%	5.9%	27.6%	31.6%	11.8%	28.9%	3.9%	2.6%	8.6%	0.7%	
	50歳代	度数	30	8	15	42	37	13	34	9	4	4	0	117
		割合	25.6%	6.8%	12.8%	35.9%	31.6%	11.1%	29.1%	7.7%	3.4%	3.4%	0.0%	
	60歳代	度数	13	2	20	43	34	8	27	8	4	3	0	105
		割合	12.4%	1.9%	19.0%	41.0%	32.4%	7.6%	25.7%	7.6%	3.8%	2.9%	0.0%	
	70歳以上	度数	3	2	24	21	20	5	14	3	6	3	0	60
		割合	5.0%	3.3%	40.0%	35.0%	33.3%	8.3%	23.3%	5.0%	10.0%	5.0%	0.0%	
地域区分	市街地地域	度数	72	23	39	79	87	32	68	24	8	16	3	277
		割合	26.0%	8.3%	14.1%	28.5%	31.4%	11.6%	24.5%	8.7%	2.9%	5.8%	1.1%	
	市街地周辺地域	度数	48	19	14	47	44	27	44	10	8	12	1	167
		割合	28.7%	11.4%	8.4%	28.1%	26.3%	16.2%	26.3%	6.0%	4.8%	7.2%	0.6%	
	犀南地域	度数	67	18	21	61	59	22	58	12	4	7	0	202
		割合	33.2%	8.9%	10.4%	30.2%	29.2%	10.9%	28.7%	5.9%	2.0%	3.5%	0.0%	
	松代・若穂	度数	11	5	6	12	15	5	7	4	0	6	0	42
		割合	26.2%	11.9%	14.3%	28.6%	35.7%	11.9%	16.7%	9.5%	0.0%	14.3%	0.0%	
	中山間地域	度数	6	5	3	11	5	6	7	0	3	1	0	25
		割合	24.0%	20.0%	12.0%	44.0%	20.0%	24.0%	28.0%	0.0%	12.0%	4.0%	0.0%	

投票しなかった理由については、「適当な候補者がいなかったから(29.7%)」が最も多く、「候補者の人柄や政策が分からなかったから(29.4%)」、「仕事が忙しく、時間がなかったから(28.3%)」、「選挙で市政や暮らしが良くなるとは思えないから(26.5%)」がわずかの差で続いている。



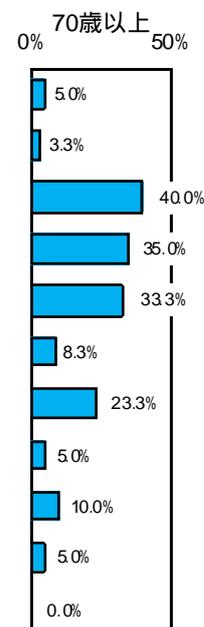
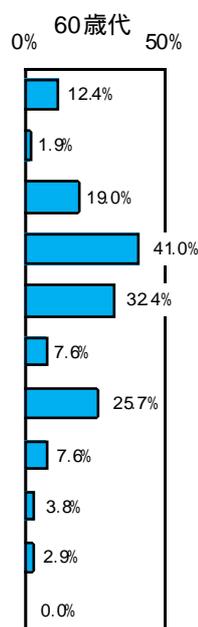
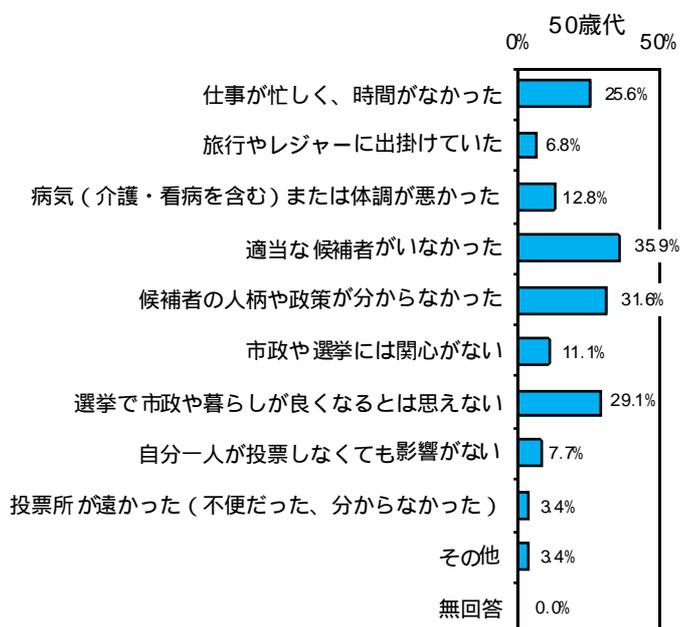
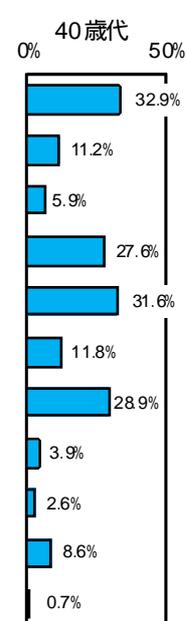
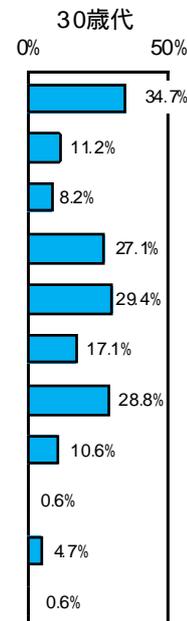
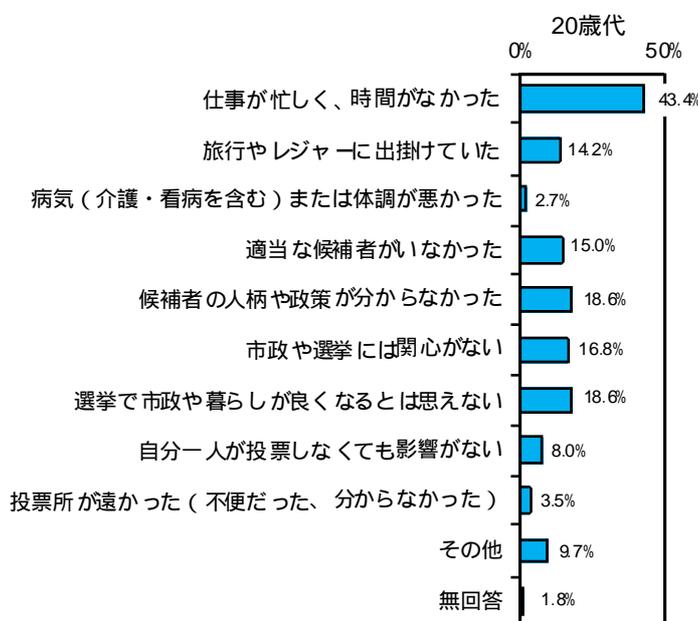
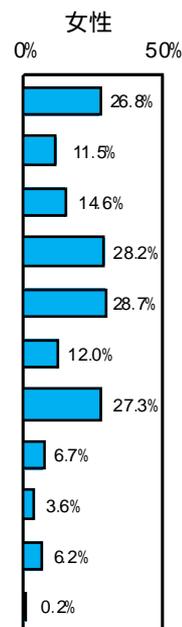
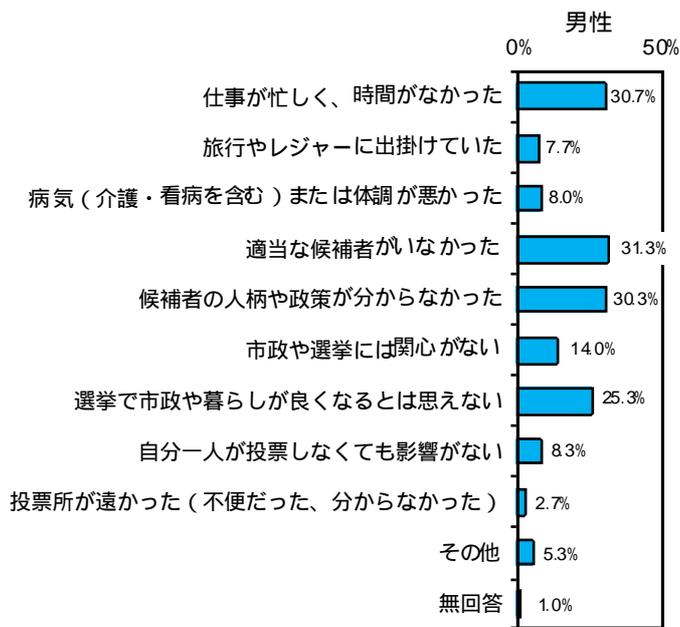
男女別では、「男性」は「適当な候補者がいなかったから（31.3%）」が最も多く、以下、「仕事が忙しく、時間がなかったから（30.7%）」、「候補者の人柄や政策が分からなかったから（30.3%）」の順となった。

「女性」は、「候補者の人柄や政策が分からなかったから（28.7%）」が最も多く、「適当な候補者がいなかったから（28.2%）」、「選挙で市政や暮らしが良くなるとは思えないから（27.3%）」が続いた。

このほか、「市政や選挙には関心がないから」は「男性」の回答割合が「女性」を上回り、「病気または体調が悪かったから」や「旅行やレジャーに出掛けていたから」は「女性」の回答割合が「男性」を上回った。

年代別では、「20歳代」から「40歳代」にかけては「仕事が忙しく、時間がなかったから」がトップであった。「50歳代」と「60歳代」では「適当な候補者がいなかったから」が、「70歳以上」では「病気または体調が悪かったから」がトップであった。

「仕事が忙しく、時間がなかったから」は、年代が低くなるにしたがって回答割合は多くなっていく一方、「候補者の人柄や政策が分からなかったから」は、年代が高くなるにしたがって、回答割合も多くなっている。



## 住民自治協議会について

### 4分の1の市民が住民自治協議会の活動に参加

問 13 住民自治協議会は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識のもと、地区の住民自治組織として、平成 22 年度に本格的に活動をスタートしてから 3 年目となります。あなたは、お住まいの地区の住民自治協議会の活動に参加したことはありますか。次の中から 1 つだけ をしてください。

		役員やスタッフとして関わった (現在関わっている)	関わったことはないが イベントなどの活動に 参加したことがある	住民自治協議会は 知っているが 活動に参加した ことはない	よく分からない	無回答	合計	
全体	度数	366	453	996	1,274	89	3,178	
	割合	11.5%	14.3%	31.3%	40.1%	2.8%	100.0%	
性別	男性	度数	190	200	441	493	34	1,358
		割合	14.0%	14.7%	32.5%	36.3%	2.5%	100.0%
	女性	度数	176	251	554	775	52	1,808
		割合	9.7%	13.9%	30.6%	42.9%	2.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	2	10	45	209	4	270
		割合	0.7%	3.7%	16.7%	77.4%	1.5%	100.0%
	30歳代	度数	28	44	92	303	11	478
		割合	5.9%	9.2%	19.2%	63.4%	2.3%	100.0%
	40歳代	度数	70	84	156	253	8	571
		割合	12.3%	14.7%	27.3%	44.3%	1.4%	100.0%
	50歳代	度数	76	78	176	214	6	550
		割合	13.8%	14.2%	32.0%	38.9%	1.1%	100.0%
	60歳代	度数	117	118	281	193	24	733
		割合	16.0%	16.1%	38.3%	26.3%	3.3%	100.0%
	70歳以上	度数	73	119	245	94	32	563
		割合	13.0%	21.1%	43.5%	16.7%	5.7%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	105	122	346	497	28	1,098
		割合	9.6%	11.1%	31.5%	45.3%	2.6%	100.0%
	市街地周辺 地域	度数	119	107	233	266	17	742
		割合	16.0%	14.4%	31.4%	35.8%	2.3%	100.0%
	犀南地域	度数	84	117	249	374	24	848
		割合	9.9%	13.8%	29.4%	44.1%	2.8%	100.0%
	松代・若穂	度数	30	55	93	85	11	274
		割合	10.9%	20.1%	33.9%	31.0%	4.0%	100.0%
	中山間地域	度数	27	50	71	40	6	194
		割合	13.9%	25.8%	36.6%	20.6%	3.1%	100.0%

お住まいの地区の住民自治協議会への参加状況は、「役員やスタッフとして関わった（11.5%）」と「イベントなどの活動に参加したことがある（14.3%）」を合わせると 25.8% となり、市民のおよそ 4 分の 1 が活動に参加していることが分かった。

「住民自治協議会は知っているが、活動に参加したことはない」は 31.3% であり、活動に参加している市民の割合（25.8%）と合計すると、およそ 6 割（57.1%）の市民が、住民自治協議会に対する認識を持っていることがうかがえる。

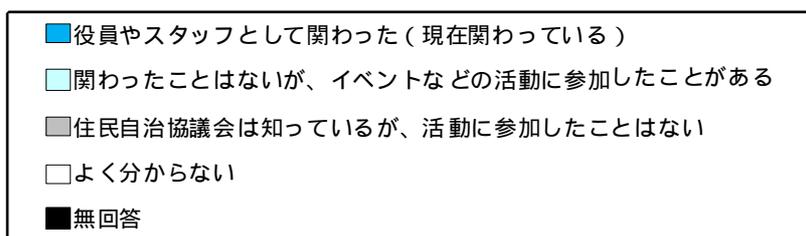
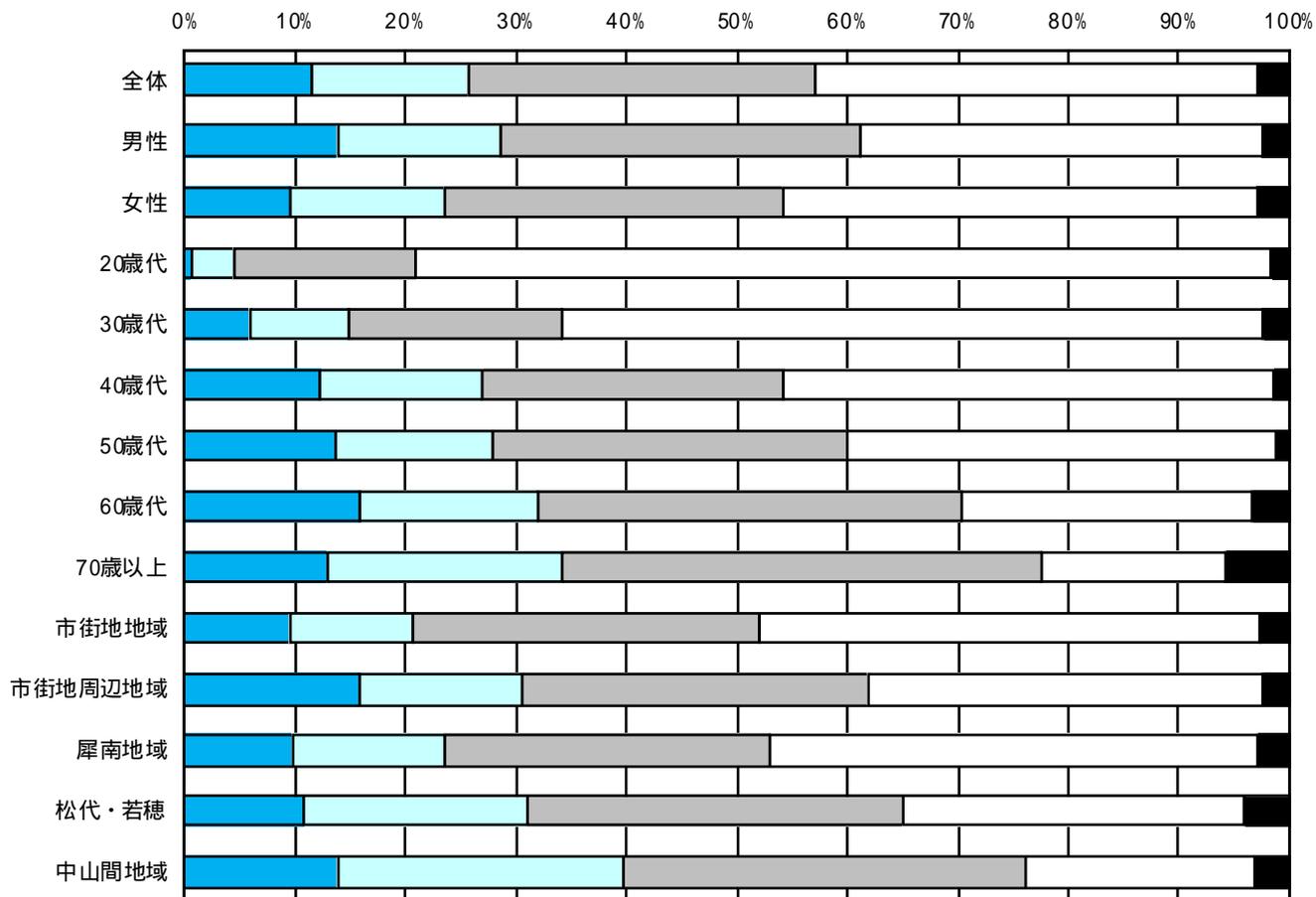
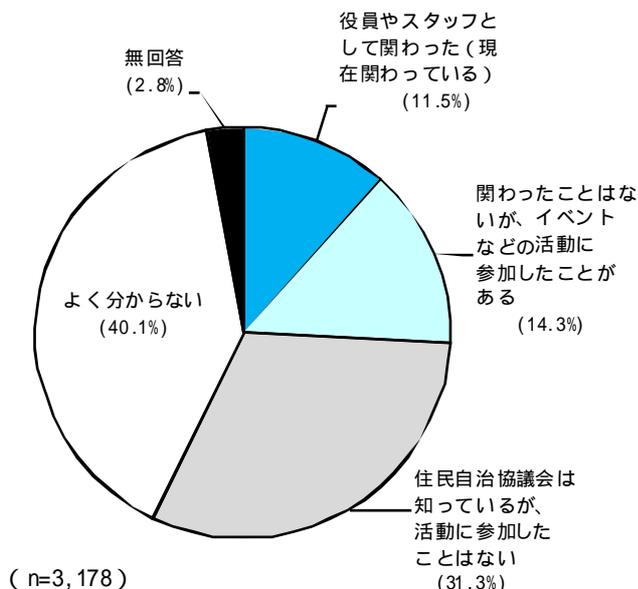
一方、「よく分からない」と回答した市民が 40.1% であることから、住民自治協議会について、今後さらに周知していく必要があることが分かった。

男女別で見ると、「よく分からない」は「女性（42.9%）」が「男性（36.3%）」を上回り、それ以外の回答は、「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「役員やスタッフとして関わった」は「60歳代（16.0%）」が最も多く、「20歳代」から「60歳代」にかけて、年代が高くなるにしたがって回答割合も多くなっている。

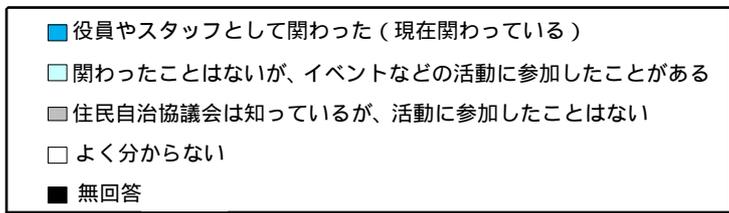
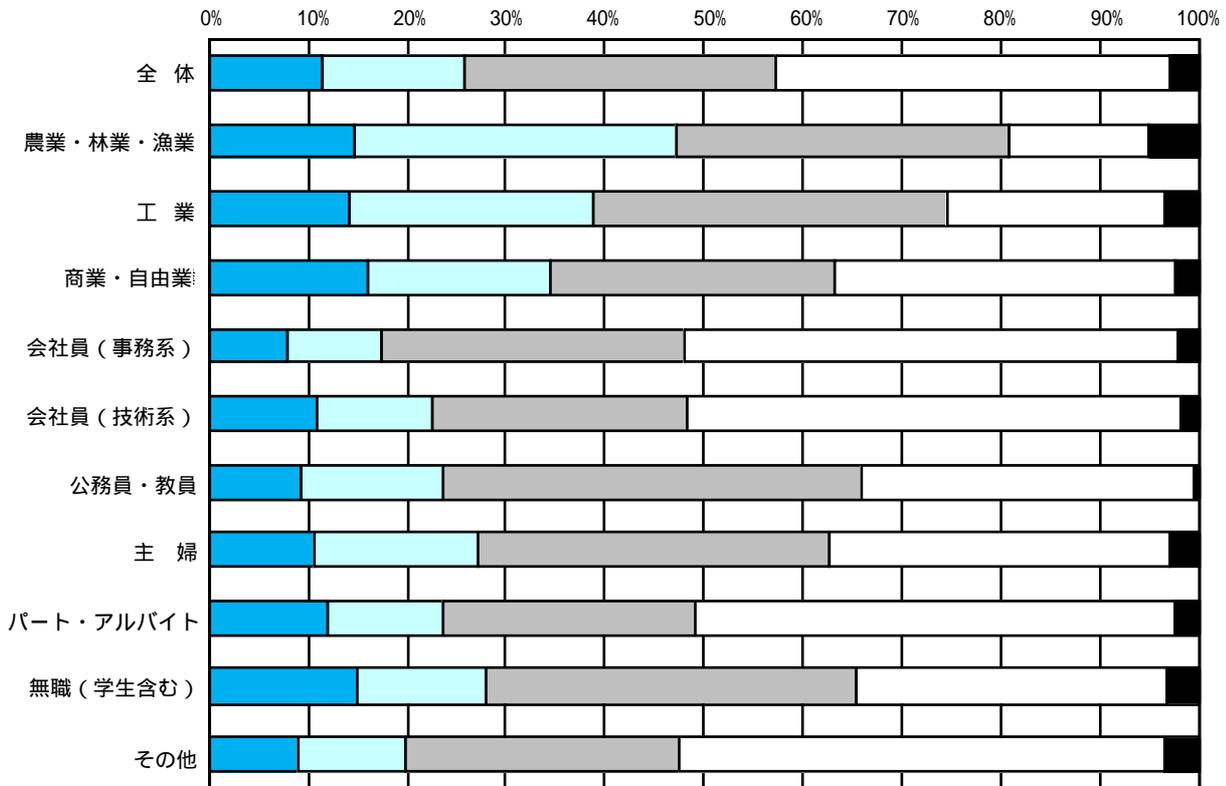
「住民自治協議会は知っているが、活動に参加したことはない」も、年代が高くなるにしたがって、回答の割合が多くなっている。

一方、「よく分からない」については「20歳代（77.4%）」が最も多く、以降年代が高くなるにしたがって、「よく分からない」とする回答の割合は低下している。



職業別に回答結果を集計すると、下表のとおりとなる。

		役員やスタッフとして関わった (現在関わっている)	関わったことはないが、 イベントなどの活動に 参加したことがある	住民自治協議会は 知っているが、 活動に参加した ことはない	よく分からない	無回答	合計	
全体	度数	366	453	996	1,274	89	3,178	
	割合	11.5%	14.3%	31.3%	40.1%	2.8%	100.0%	
職業	農業・林業 漁業	度数	24	53	55	23	8	163
		割合	14.7%	32.5%	33.7%	14.1%	4.9%	100.0%
	工業	度数	4	7	10	7	1	29
		割合	13.8%	24.1%	34.5%	24.1%	3.4%	100.0%
	商業 自由業	度数	35	40	62	75	5	217
		割合	16.1%	18.4%	28.6%	34.6%	2.3%	100.0%
	会社員 (事務系)	度数	31	36	117	193	8	385
		割合	8.1%	9.4%	30.4%	50.1%	2.1%	100.0%
	会社員 (技術系)	度数	50	53	118	228	8	457
		割合	10.9%	11.6%	25.8%	49.9%	1.8%	100.0%
	公務員 教員	度数	15	23	68	54	1	161
		割合	9.3%	14.3%	42.2%	33.5%	0.6%	100.0%
	主婦	度数	72	112	241	233	20	678
		割合	10.6%	16.5%	35.5%	34.4%	2.9%	100.0%
	パート アルバイト	度数	56	54	119	227	11	467
		割合	12.0%	11.6%	25.5%	48.6%	2.4%	100.0%
無職 (学生含む)	度数	58	51	146	122	13	390	
	割合	14.9%	13.1%	37.4%	31.3%	3.3%	100.0%	
その他	度数	18	22	56	99	7	202	
	割合	8.9%	10.9%	27.7%	49.0%	3.5%	100.0%	



		非常に役員や スタッフとして 関わった(現在 関わっている)	役員やスタッフとし て関わったことは ないが イベント などの活動に参加 したことがある	住民自治協議会は 知っているが 活動に参加した ことはない	よく分からない	無回答	合計
第一	度数	5	5	19	25	2	56
	割合	8.9%	8.9%	33.9%	44.6%	3.6%	100.0%
第二	度数	4	12	32	42	1	91
	割合	4.4%	13.2%	35.2%	46.2%	1.1%	100.0%
第三	度数	6	11	16	26	0	59
	割合	10.2%	18.6%	27.1%	44.1%	0.0%	100.0%
第四	度数	2	4	10	14	3	33
	割合	6.1%	12.1%	30.3%	42.4%	9.1%	100.0%
第五	度数	6	3	9	17	1	36
	割合	16.7%	8.3%	25.0%	47.2%	2.8%	100.0%
芹田	度数	19	17	56	91	7	190
	割合	10.0%	8.9%	29.5%	47.9%	3.7%	100.0%
古牧	度数	17	19	49	96	3	184
	割合	9.2%	10.3%	26.6%	52.2%	1.6%	100.0%
三輪	度数	10	15	53	51	2	131
	割合	7.6%	11.5%	40.5%	38.9%	1.5%	100.0%
吉田	度数	14	17	50	58	6	145
	割合	9.7%	11.7%	34.5%	40.0%	4.1%	100.0%
古里	度数	20	14	40	36	4	114
	割合	17.5%	12.3%	35.1%	31.6%	3.5%	100.0%
柳原	度数	9	11	23	20	1	64
	割合	14.1%	17.2%	35.9%	31.3%	1.6%	100.0%
浅川	度数	12	11	17	17	1	58
	割合	20.7%	19.0%	29.3%	29.3%	1.7%	100.0%
大豆島	度数	19	12	29	47	2	109
	割合	17.4%	11.0%	26.6%	43.1%	1.8%	100.0%
朝陽	度数	19	16	37	47	5	124
	割合	15.3%	12.9%	29.8%	37.9%	4.0%	100.0%
若槻	度数	26	21	55	61	1	164
	割合	15.9%	12.8%	33.5%	37.2%	0.6%	100.0%
長沼	度数	3	5	10	5	0	23
	割合	13.0%	21.7%	43.5%	21.7%	0.0%	100.0%
安茂里	度数	22	19	52	77	3	173
	割合	12.7%	11.0%	30.1%	44.5%	1.7%	100.0%
小田切	度数	3	3	1	2	0	9
	割合	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	100.0%
芋井	度数	4	7	5	5	0	21
	割合	19.0%	33.3%	23.8%	23.8%	0.0%	100.0%
篠井	度数	35	47	97	166	11	356
	割合	9.8%	13.2%	27.2%	46.6%	3.1%	100.0%
松代	度数	18	31	55	55	6	165
	割合	10.9%	18.8%	33.3%	33.3%	3.6%	100.0%
若穂	度数	12	24	38	30	5	109
	割合	11.0%	22.0%	34.9%	27.5%	4.6%	100.0%
川中島	度数	23	33	74	107	8	245
	割合	9.4%	13.5%	30.2%	43.7%	3.3%	100.0%
更北	度数	26	37	78	101	5	247
	割合	10.5%	15.0%	31.6%	40.9%	2.0%	100.0%
七二会	度数	3	2	6	4	1	16
	割合	18.8%	12.5%	37.5%	25.0%	6.3%	100.0%
信更	度数	3	3	10	5	1	22
	割合	13.6%	13.6%	45.5%	22.7%	4.5%	100.0%
豊野	度数	11	17	22	33	3	86
	割合	12.8%	19.8%	25.6%	38.4%	3.5%	100.0%
戸隠	度数	4	6	18	5	1	34
	割合	11.8%	17.6%	52.9%	14.7%	2.9%	100.0%
鬼無里	度数	1	3	7	5	1	17
	割合	5.9%	17.6%	41.2%	29.4%	5.9%	100.0%
大岡	度数	1	7	1	2	0	11
	割合	9.1%	63.6%	9.1%	18.2%	0.0%	100.0%
信州新町	度数	4	11	17	11	0	43
	割合	9.3%	25.6%	39.5%	25.6%	0.0%	100.0%
中条	度数	4	8	6	1	2	21
	割合	19.0%	38.1%	28.6%	4.8%	9.5%	100.0%

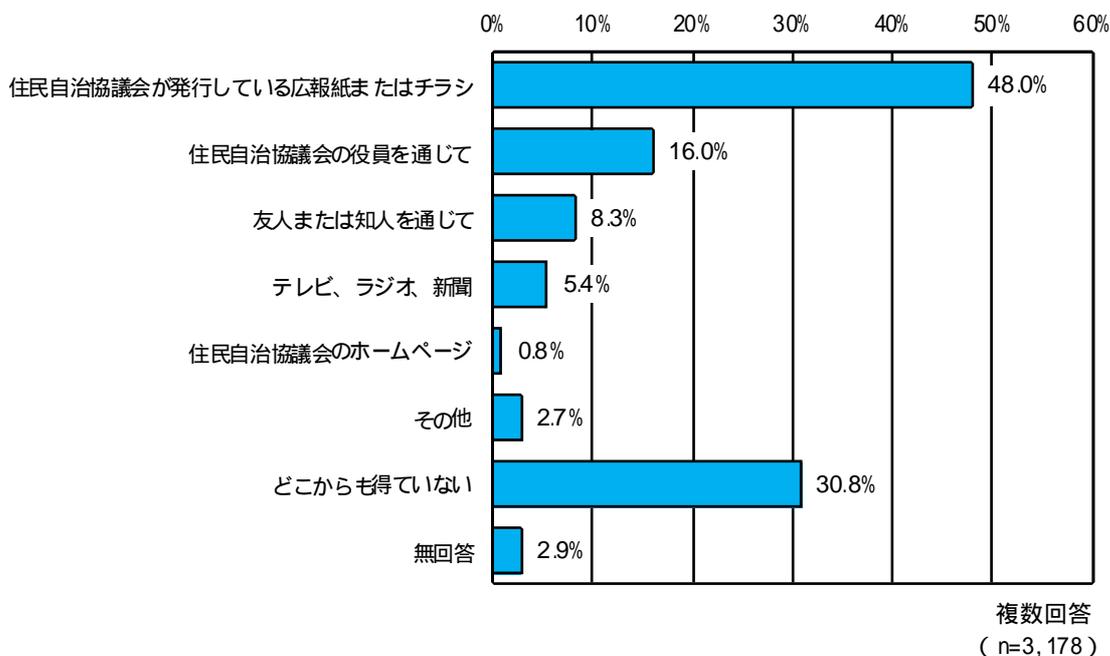
情報の取得手段 ～「住民自治協議会発行の広報紙またはチラシ」がほぼ半数～

問 14 あなたは、お住まいの地区の住民自治協議会の情報をどこから得ていますか。次の中から当てはまるものすべてに をしてください。

		住民自治協議会が発行している広報紙またはチラシ	住民自治協議会のホームページ	住民自治協議会の役員を通じて	友人または知人を通じて	テレビラジオ新聞	その他	どこからも得ていない	無回答	対象
全体		度数 1,525 割合 48.0%	27 0.8%	509 16.0%	263 8.3%	172 5.4%	87 2.7%	979 30.8%	93 2.9%	3,178
性別	男性	度数 603	18	256	114	74	45	440	37	1,358
		割合 44.4%	1.3%	18.9%	8.4%	5.4%	3.3%	32.4%	2.7%	
	女性	度数 919	9	251	149	98	42	535	58	1,808
		割合 50.8%	0.5%	13.9%	8.2%	5.4%	2.3%	29.6%	3.2%	
年代	20歳代	度数 44	1	11	19	11	10	184	2	270
		割合 16.3%	0.4%	4.1%	7.0%	4.1%	3.7%	68.1%	0.7%	
	30歳代	度数 169	3	35	36	18	12	228	13	478
		割合 35.4%	0.6%	7.3%	7.5%	3.8%	2.5%	47.7%	2.7%	
	40歳代	度数 247	2	84	40	17	18	212	16	571
		割合 43.3%	0.4%	14.7%	7.0%	3.0%	3.2%	37.1%	2.8%	
	50歳代	度数 265	3	106	38	18	16	162	15	550
		割合 48.2%	0.5%	19.3%	6.9%	3.3%	2.9%	29.5%	2.7%	
60歳代	度数 440	5	153	66	52	22	131	16	733	
	割合 60.0%	0.7%	20.9%	9.0%	7.1%	3.0%	17.9%	2.2%		
70歳以上	度数 358	12	120	64	56	9	56	32	563	
	割合 63.6%	2.1%	21.3%	11.4%	9.9%	1.6%	9.9%	5.7%		
地域区分	市街地地域	度数 518	7	136	75	53	22	391	26	1,098
		割合 47.2%	0.6%	12.4%	6.8%	4.8%	2.0%	35.6%	2.4%	
	市街地周辺地域	度数 374	12	129	64	28	23	204	21	742
		割合 50.4%	1.6%	17.4%	8.6%	3.8%	3.1%	27.5%	2.8%	
	犀南地域	度数 366	6	133	64	46	31	273	33	848
		割合 43.2%	0.7%	15.7%	7.5%	5.4%	3.7%	32.2%	3.9%	
	松代・若穂	度数 146	0	54	25	24	4	63	9	274
		割合 53.3%	0.0%	19.7%	9.1%	8.8%	1.5%	23.0%	3.3%	
中山間地域	度数 112	2	56	32	13	5	35	3	194	
	割合 57.7%	1.0%	28.9%	16.5%	6.7%	2.6%	18.0%	1.5%		

お住まいの地区の住民自治協議会に関する情報をどこから得ているかについて、最も多いのは「住民自治協議会が発行している広報紙またはチラシ（48.0%）」で、ほぼ半数となった。続いて、「住民自治協議会の役員を通じて（16.0%）」、「友人または知人を通じて（8.3%）」の順となっている。

一方、「どこからも得ていない」という回答も3割に達している。住民自治協議会に関する情報をいかにして効果的に発信するかが、課題として挙げられる。



男女別で見ると、「住民自治協議会が発行している広報紙またはチラシ」という回答は「男性（44.4%）」よりも「女性（50.8%）」の方が多し。「住民自治協議会の役員を通じて」は、「男性（18.9%）」が「女性（13.9%）」を上回った。

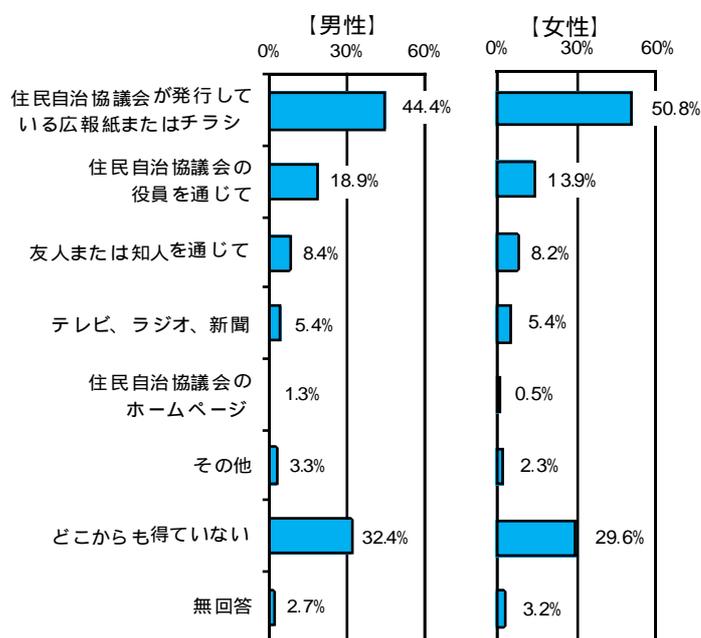
「どこからも得ていない」は、「男性（32.4%）」が「女性（29.6%）」を上回っている。

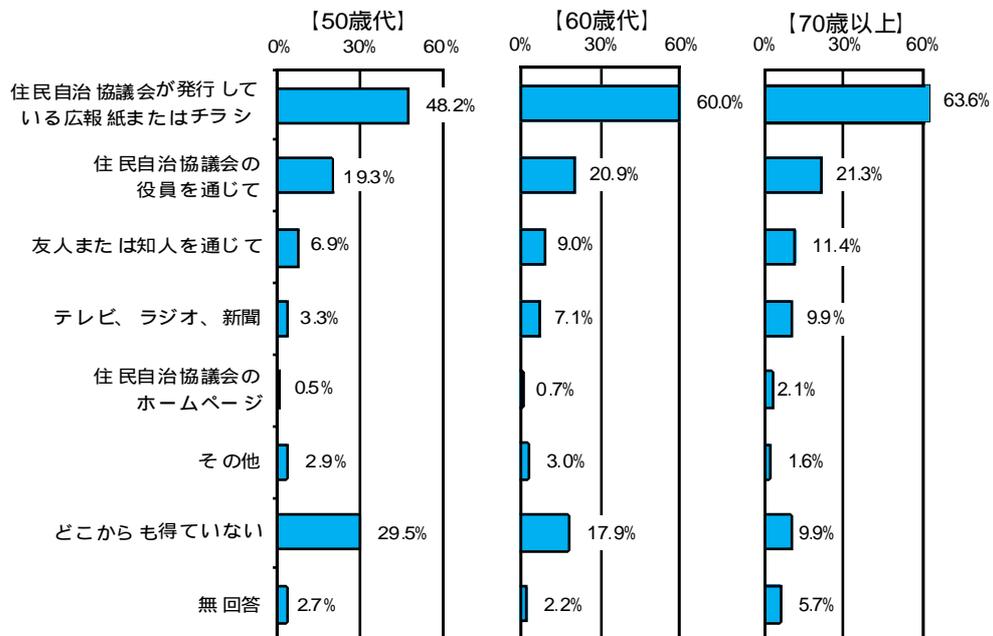
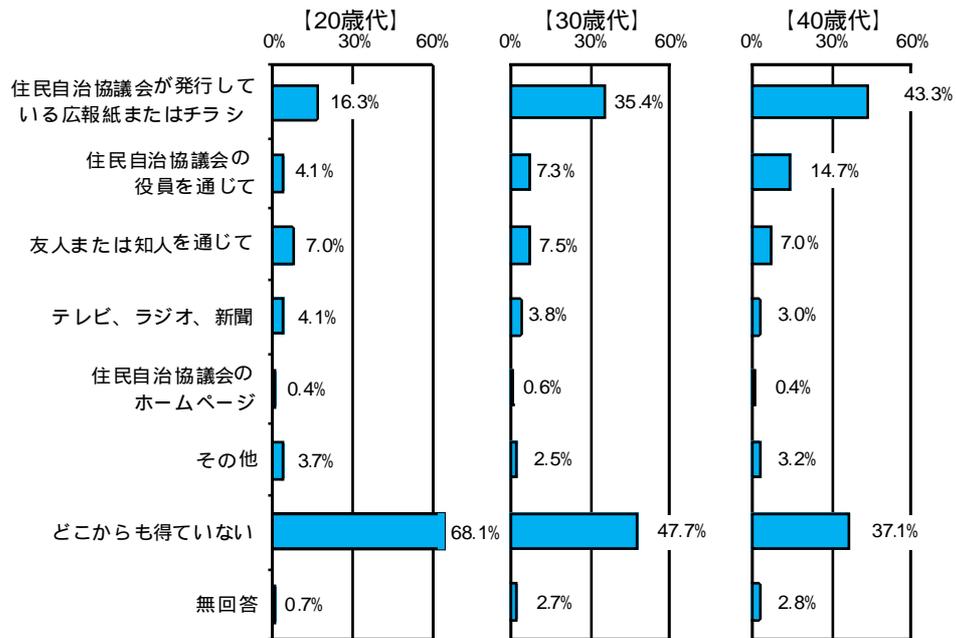
年代別では、「住民自治協議会が発行している広報紙またはチラシ」は「20歳代」が16.3%と低く、「70歳以上（63.6%）」と47.3ポイントもの差が見られた。年代が高くなるにしたがって、割合は多くなっている。「住民自治協議会の役員を通じて」も同様に、年代が高くなるにしたがって、割合は多くなっている。

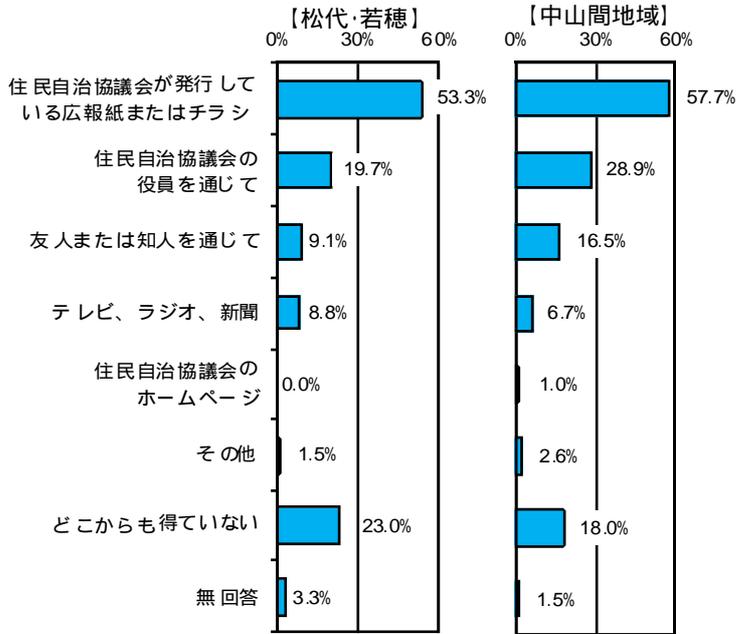
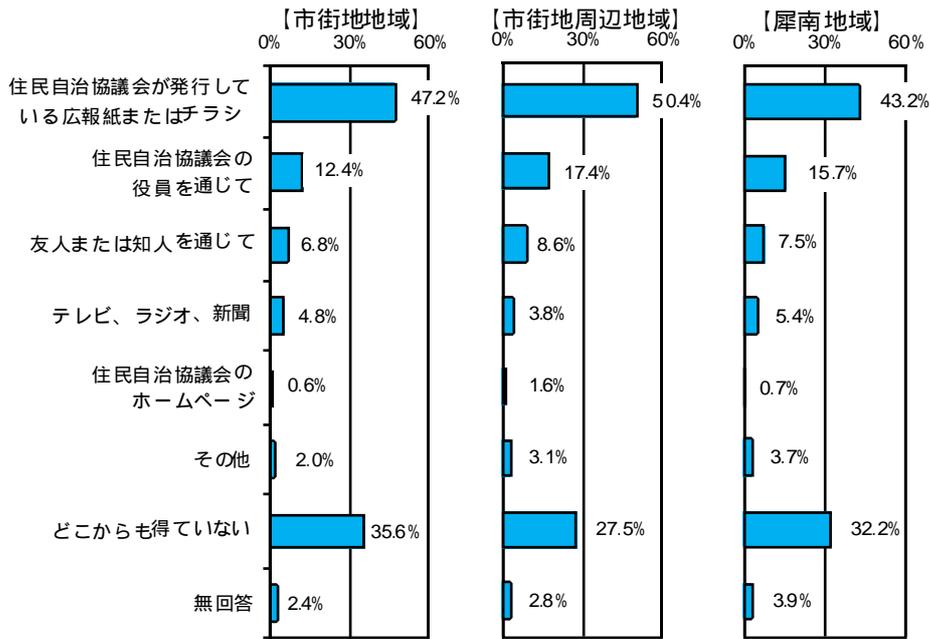
一方、「どこからも得ていない」は「20歳代」では68.1%と高い割合を示しており、以降年代が高くなるにしたがって、割合は少なくなっている。「70歳以上」では1割を下回った。

地域別では、「住民自治協議会が発行している広報紙またはチラシ」や「住民自治協議会の役員を通じて」といった回答が最も多かったのは「中山間地域」であった。

「どこからも得ていない」については「市街地地域（35.6%）」や「犀南地域（32.2%）」が他の地域と比べて多かった。





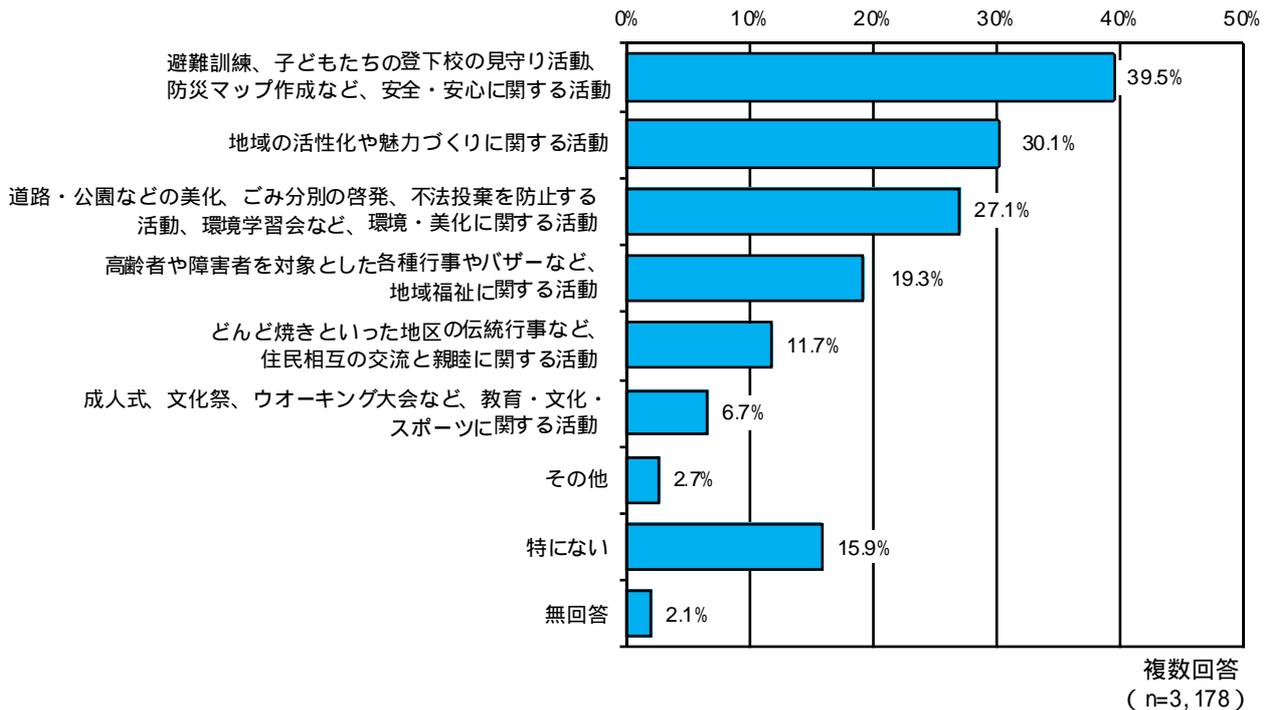


今後、力を入れてほしい活動 ～「安全・安心に関する活動」～

問 15 あなたは、住民自治協議会が今後、どのような活動に力を入れてほしいと考えていますか。次の中から2つ以内で選び、をしてください。

		避難訓練 子どもたちの 登下校の 見守り活動 防災マップ 作成など 安全・安心に 関する活動	高齢者や 障害者を 対象とした 各種行事や バザーなど、 地域福祉に 関する活動	道路・公園など の美化、ごみ 分別の啓発、 不法投棄を 防止する活動 環境学習会 など 環境・美化に 関する活動	成人式、文化 祭、ウォーキン グ大会など 教育・文化・ スポーツに 関する活動	どんど焼き といった地区の 伝統行事など 住民相互の 交流と親睦に 関する活動	地域の活性化 や魅力づくりに 関する活動	その他	特にない	無回答	対象		
全体	度数	1,255	614	861	213	373	958	86	504	67	3,178		
	割合	39.5%	19.3%	27.1%	6.7%	11.7%	30.1%	2.7%	15.9%	2.1%			
性別	男性	度数	486	234	372	107	158	440	43	241	29	1,358	
		割合	35.8%	17.2%	27.4%	7.9%	11.6%	32.4%	3.2%	17.7%	2.1%		
	女性	度数	767	376	487	105	214	515	43	261	35	1,808	
		割合	42.4%	20.8%	26.9%	5.8%	11.8%	28.5%	2.4%	14.4%	1.9%		
年代	20歳代	度数	87	49	65	40	28	71	9	57	2	270	
		割合	32.2%	18.1%	24.1%	14.8%	10.4%	26.3%	3.3%	21.1%	0.7%		
	30歳代	度数	251	55	119	33	85	108	6	71	4	478	
		割合	52.5%	11.5%	24.9%	6.9%	17.8%	22.6%	1.3%	14.9%	0.8%		
	40歳代	度数	257	67	130	36	58	167	26	100	9	571	
		割合	45.0%	11.7%	22.8%	6.3%	10.2%	29.2%	4.6%	17.5%	1.6%		
	50歳代	度数	214	112	166	42	78	162	16	75	10	550	
		割合	38.9%	20.4%	30.2%	7.6%	14.2%	29.5%	2.9%	13.6%	1.8%		
	60歳代	度数	246	157	224	41	72	253	20	129	15	733	
		割合	33.6%	21.4%	30.6%	5.6%	9.8%	34.5%	2.7%	17.6%	2.0%		
	70歳以上	度数	195	172	154	20	58	196	9	70	23	563	
		割合	34.6%	30.6%	27.4%	3.6%	10.3%	34.8%	1.6%	12.4%	4.1%		
	地域区分	市街地地域	度数	443	215	312	68	141	304	28	187	13	1,098
			割合	40.3%	19.6%	28.4%	6.2%	12.8%	27.7%	2.6%	17.0%	1.2%	
市街地周辺 地域		度数	297	139	207	43	76	215	24	127	18	742	
		割合	40.0%	18.7%	27.9%	5.8%	10.2%	29.0%	3.2%	17.1%	2.4%		
犀南地域		度数	362	155	214	59	100	247	21	134	19	848	
		割合	42.7%	18.3%	25.2%	7.0%	11.8%	29.1%	2.5%	15.8%	2.2%		
松代・若穂		度数	93	57	77	23	30	100	8	29	9	274	
		割合	33.9%	20.8%	28.1%	8.4%	10.9%	36.5%	2.9%	10.6%	3.3%		
中山間地域		度数	52	45	47	19	23	86	3	25	5	194	
		割合	26.8%	23.2%	24.2%	9.8%	11.9%	44.3%	1.5%	12.9%	2.6%		

住民自治協議会が今後力を入れるべき活動としては、「避難訓練などの安全・安心に関する活動」が39.5%でトップとなった。続いて、「地域の活性化や魅力づくりに関する活動(30.1%)」、「道路・公園の美化などの環境・美化に関する活動(27.1%)」の順となった。



男女別で見ると、「女性」では「安全・安心に関する活動」が 42.4%と高い割合を示し、次点の「地域の活性化や魅力づくりに関する活動（28.5%）」と 13.9 ポイントの差を付けた。

一方、「男性」は「安全・安心に関する活動」がトップになったものの 35.8%となり、「女性」よりは低く、次点の「地域の活性化や魅力づくりに関する活動（32.4%）」と 3.4 ポイントしか差が付かなかった。

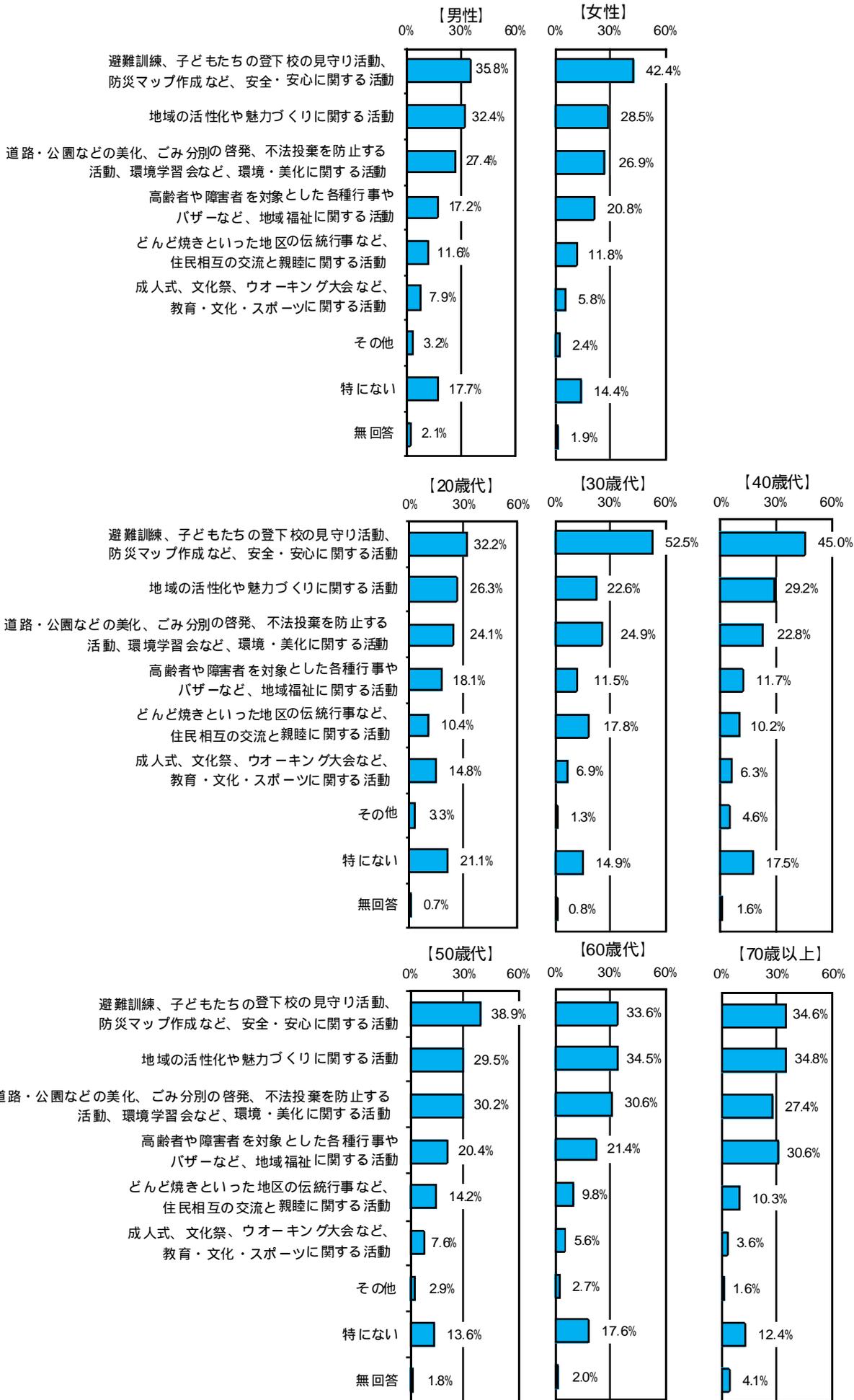
3 番手には男女共に「環境・美化に関する活動」が入ったが、回答割合にほとんど差が見られなかった。

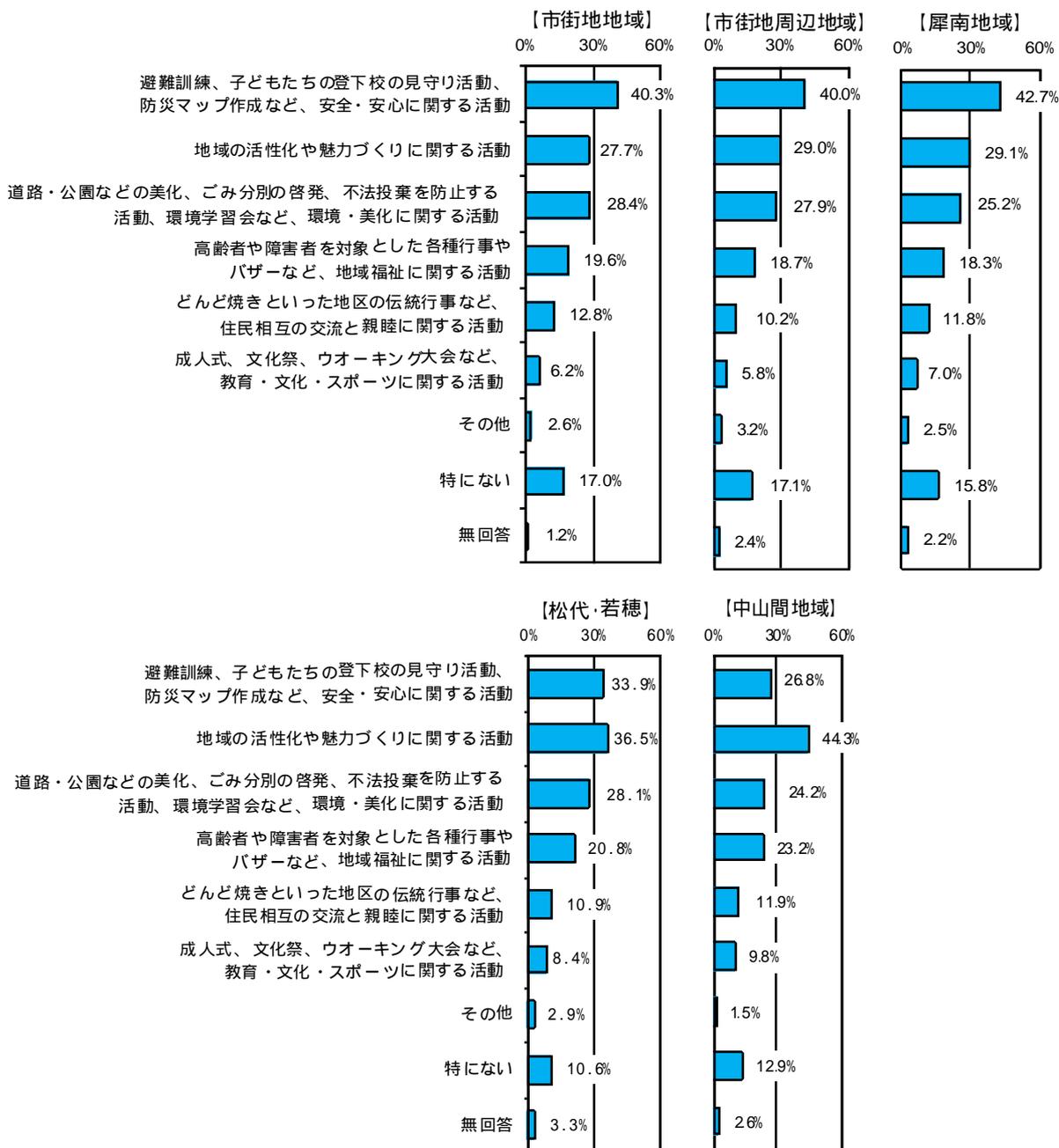
年代別では、「20 歳代」から「50 歳代」にかけては「安全・安心に関する活動」がトップに、「60 歳代」以降では「地域の活性化や魅力づくりに関する活動」がトップになった。

「20 歳代」から「60 歳代」までは、上記二つの活動に加えて「環境・美化に関する活動」が 3 位以内に入っているが、「70 歳以上」では「地域福祉に関する活動」が 3 位に入っている。

「20 歳代」では「特にない」が 2 割を超えている。

地域別では、「市街地地域」、「市街地周辺地域」、「犀南地域」では「安全・安心に関する活動」がトップに、「松代・若穂」と「中山間地域」では「地域の活性化や魅力づくりに関する活動」がトップになった。





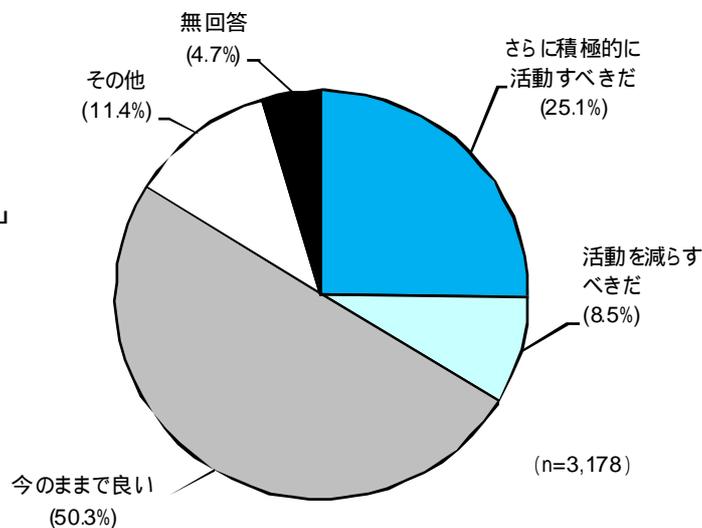
住民自治協議会の今後の在り方 ～「現状維持」半数、「さらに積極的に」4分の1～

問 16 あなたは、住民自治協議会の今後の在り方について、どのように考えますか。次の中から1つ だけ をしてください。

		さらに積極的に活動すべきだ	活動を減らすべきだ	今のままで良い	その他	無回答	合計	
全体	度数	798	270	1,598	362	150	3,178	
	割合	25.1%	8.5%	50.3%	11.4%	4.7%	100.0%	
性別	男性	度数	376	157	617	155	53	1,358
		割合	27.7%	11.6%	45.4%	11.4%	3.9%	100.0%
	女性	度数	420	113	977	206	92	1,808
		割合	23.2%	6.3%	54.0%	11.4%	5.1%	100.0%
年代	20歳代	度数	74	21	137	26	12	270
		割合	27.4%	7.8%	50.7%	9.6%	4.4%	100.0%
	30歳代	度数	102	31	266	65	14	478
		割合	21.3%	6.5%	55.6%	13.6%	2.9%	100.0%
	40歳代	度数	119	56	288	90	18	571
		割合	20.8%	9.8%	50.4%	15.8%	3.2%	100.0%
	50歳代	度数	137	45	285	64	19	550
		割合	24.9%	8.2%	51.8%	11.6%	3.5%	100.0%
	60歳代	度数	206	72	338	78	39	733
		割合	28.1%	9.8%	46.1%	10.6%	5.3%	100.0%
	70歳以上	度数	158	45	280	37	43	563
		割合	28.1%	8.0%	49.7%	6.6%	7.6%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	265	79	576	142	36	1,098
		割合	24.1%	7.2%	52.5%	12.9%	3.3%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	170	70	382	83	37	742
		割合	22.9%	9.4%	51.5%	11.2%	5.0%	100.0%
	犀南地域	度数	212	64	430	90	52	848
		割合	25.0%	7.5%	50.7%	10.6%	6.1%	100.0%
	松代・若穂	度数	77	34	130	21	12	274
		割合	28.1%	12.4%	47.4%	7.7%	4.4%	100.0%
中山間地域	度数	70	20	72	23	9	194	
	割合	36.1%	10.3%	37.1%	11.9%	4.6%	100.0%	

住民自治協議会の今後について、「さらに積極的に活動すべき」と答えた人は25.1%で、全体の4分の1であった。「活動を減らすべき」は8.5%と少なく、「今のままで良い」が50.3%と半数を占めた。

男女別で見ると、「さらに積極的に活動すべき」と「活動を減らすべき」は「男性」の方が多く、「今のままで良い」は「女性」が「男性」を上回った。



年代別では、「さらに積極的に活動すべき」が最も多かったのは「60歳代」と「70歳以上」であり、ともに28.1%であった。

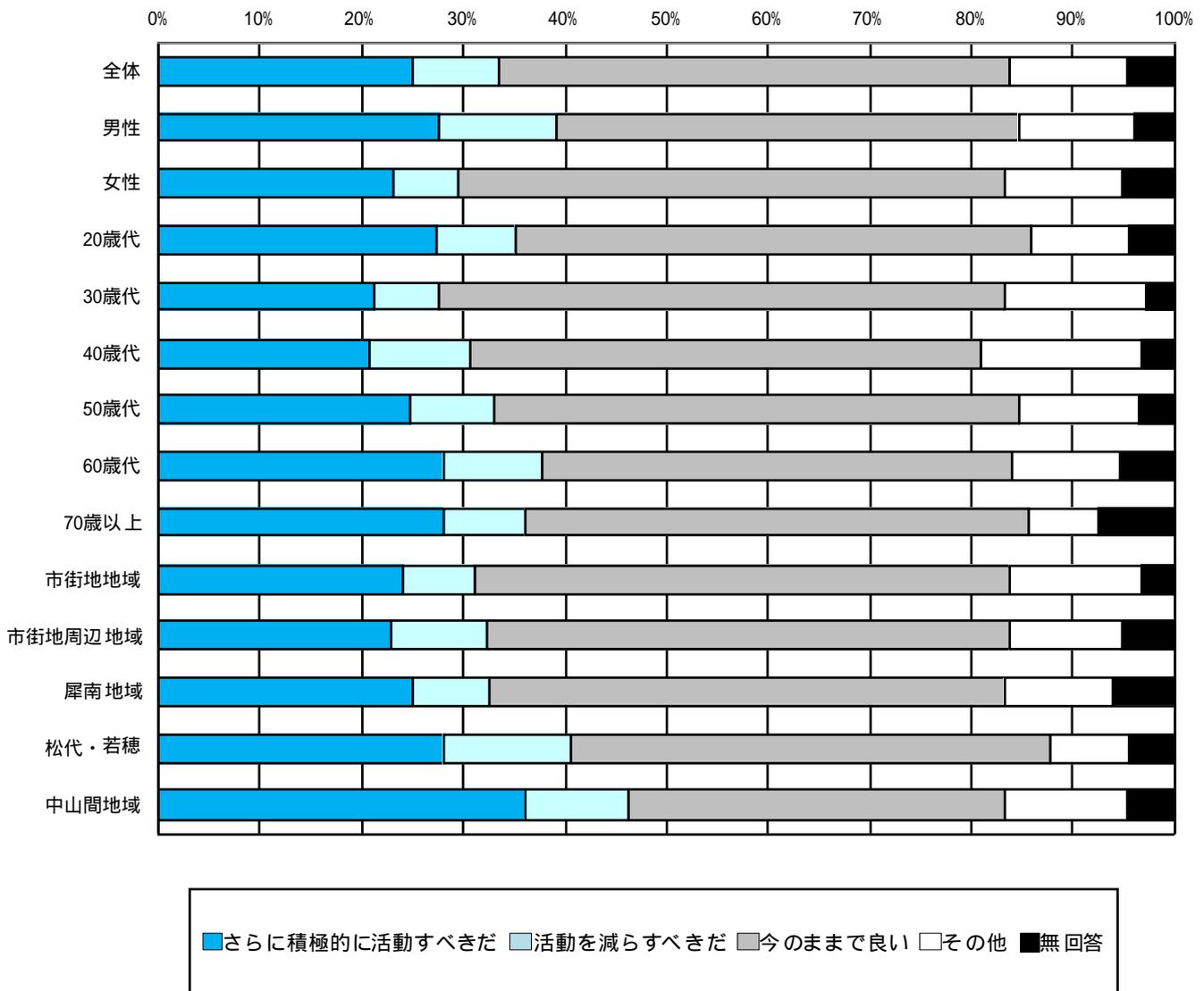
「活動を減らすべき」が最も多かったのは「40歳代」と「60歳代」であるが、いずれも1割を下回っている。

「今のままで良い」は「30歳代(55.6%)」が最も多く、「20歳代」から「50歳代」までが半数以上の回答となった。

地域別では、「さらに積極的に活動すべき」が最も多かったのは「中山間地域(36.1%)」で、唯一3割を超えた。

「活動を減らすべき」が最も多かったのは「松代・若穂(12.4%)」であり、「中山間地域(10.3%)」とともに1割を超えた。

「今のままで良い」は「市街地地域(52.5%)」が最も多く、「市街地周辺地域(51.5%)」、「犀南地域(50.7%)」とともに半数を超えた。



居住年数別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		さらに積極的に活動すべきだ	活動を減らすべきだ	今のままで良い	その他	無回答	合計	
全体	度数	798	270	1,598	362	150	3,178	
	割合	25.1%	8.5%	50.3%	11.4%	4.7%	100.0%	
居住年数	5年未満	度数	54	13	112	41	10	230
		割合	23.5%	5.7%	48.7%	17.8%	4.3%	100.0%
	5年以上 10年未満	度数	37	17	106	23	12	195
		割合	19.0%	8.7%	54.4%	11.8%	6.2%	100.0%
	10年以上 20年未満	度数	75	23	192	46	12	348
		割合	21.6%	6.6%	55.2%	13.2%	3.4%	100.0%
	20年以上	度数	628	216	1,178	251	110	2,383
		割合	26.4%	9.1%	49.4%	10.5%	4.6%	100.0%

「さらに積極的に活動すべき」は「20年以上」の居住者が最も多く、「5年以上10年未満」の居住者のみが2割を下回った。

「活動を減らすべき」が最も多かったのも「20年以上」の居住者であるが、1割に達していない。

「今のままで良い」は「10年以上20年未満」の居住者が最も多く、「5年以上10年未満」の居住者とともに半数を超えた。

問13(住民自治協議会活動への参加状況)の回答別に結果を集計すると、下表のとおりとなる。

		さらに積極的に活動すべきだ	活動を減らすべきだ	今のままで良い	その他	無回答	合計	
全体	度数	798	270	1,598	362	150	3,178	
	割合	25.1%	8.5%	50.3%	11.4%	4.7%	100.0%	
問13 回答結果	役員やスタッフとして関わった(現在関わっている)	度数	108	53	179	24	2	366
		割合	29.5%	14.5%	48.9%	6.6%	0.5%	100.0%
	役員やスタッフとして関わったことはないが、イベントなどの活動に参加したことがある	度数	169	28	229	24	3	453
		割合	37.3%	6.2%	50.6%	5.3%	0.7%	100.0%
	住民自治協議会は知っているが、活動に参加したことはない	度数	246	89	548	79	34	996
		割合	24.7%	8.9%	55.0%	7.9%	3.4%	100.0%
	よく分からない	度数	259	92	615	232	76	1,274
		割合	20.3%	7.2%	48.3%	18.2%	6.0%	100.0%
無回答	度数	16	8	27	3	35	89	
	割合	18.0%	9.0%	30.3%	3.4%	39.3%	100.0%	

		さらに積極的に活動すべきだ	活動を減らすべきだ	今のままで良い	その他	無回答	合計
第一	度数	15	4	30	7	0	56
	割合	26.8%	7.1%	53.6%	12.5%	0.0%	100.0%
第二	度数	19	4	53	15	0	91
	割合	20.9%	4.4%	58.2%	16.5%	0.0%	100.0%
第三	度数	18	2	30	6	3	59
	割合	30.5%	3.4%	50.8%	10.2%	5.1%	100.0%
第四	度数	6	4	16	5	2	33
	割合	18.2%	12.1%	48.5%	15.2%	6.1%	100.0%
第五	度数	5	4	21	4	2	36
	割合	13.9%	11.1%	58.3%	11.1%	5.6%	100.0%
芹田	度数	50	10	98	26	6	190
	割合	26.3%	5.3%	51.6%	13.7%	3.2%	100.0%
古牧	度数	38	16	95	29	6	184
	割合	20.7%	8.7%	51.6%	15.8%	3.3%	100.0%
三輪	度数	37	10	66	14	4	131
	割合	28.2%	7.6%	50.4%	10.7%	3.1%	100.0%
吉田	度数	30	14	83	11	7	145
	割合	20.7%	9.7%	57.2%	7.6%	4.8%	100.0%
古里	度数	29	10	58	8	9	114
	割合	25.4%	8.8%	50.9%	7.0%	7.9%	100.0%
柳原	度数	14	5	37	6	2	64
	割合	21.9%	7.8%	57.8%	9.4%	3.1%	100.0%
浅川	度数	18	9	23	8	0	58
	割合	31.0%	15.5%	39.7%	13.8%	0.0%	100.0%
大豆島	度数	29	7	47	19	7	109
	割合	26.6%	6.4%	43.1%	17.4%	6.4%	100.0%
朝陽	度数	27	11	66	11	9	124
	割合	21.8%	8.9%	53.2%	8.9%	7.3%	100.0%
若槻	度数	33	14	92	19	6	164
	割合	20.1%	8.5%	56.1%	11.6%	3.7%	100.0%
長沼	度数	2	4	14	2	1	23
	割合	8.7%	17.4%	60.9%	8.7%	4.3%	100.0%
安茂里	度数	47	11	84	25	6	173
	割合	27.2%	6.4%	48.6%	14.5%	3.5%	100.0%
小田切	度数	6	0	2	0	1	9
	割合	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	100.0%
芋井	度数	7	3	7	4	0	21
	割合	33.3%	14.3%	33.3%	19.0%	0.0%	100.0%
篠/井	度数	92	33	184	30	17	356
	割合	25.8%	9.3%	51.7%	8.4%	4.8%	100.0%
松代	度数	42	25	74	18	6	165
	割合	25.5%	15.2%	44.8%	10.9%	3.6%	100.0%
若穂	度数	35	9	56	3	6	109
	割合	32.1%	8.3%	51.4%	2.8%	5.5%	100.0%
川中島	度数	65	12	120	28	20	245
	割合	26.5%	4.9%	49.0%	11.4%	8.2%	100.0%
更北	度数	55	19	126	32	15	247
	割合	22.3%	7.7%	51.0%	13.0%	6.1%	100.0%
七二会	度数	3	3	7	1	2	16
	割合	18.8%	18.8%	43.8%	6.3%	12.5%	100.0%
信更	度数	9	4	5	2	2	22
	割合	40.9%	18.2%	22.7%	9.1%	9.1%	100.0%
豊野	度数	18	10	45	10	3	86
	割合	20.9%	11.6%	52.3%	11.6%	3.5%	100.0%
戸隠	度数	9	5	15	4	1	34
	割合	26.5%	14.7%	44.1%	11.8%	2.9%	100.0%
鬼無里	度数	6	4	6	0	1	17
	割合	35.3%	23.5%	35.3%	0.0%	5.9%	100.0%
大岡	度数	4	0	5	2	0	11
	割合	36.4%	0.0%	45.5%	18.2%	0.0%	100.0%
信州新町	度数	21	0	13	8	1	43
	割合	48.8%	0.0%	30.2%	18.6%	2.3%	100.0%
中条	度数	5	1	12	2	1	21
	割合	23.8%	4.8%	57.1%	9.5%	4.8%	100.0%

## 第四次長野市総合計画 施策の指標項目

週1回以上運動を行っている割合「53.8%」

問 17 あなたは、体を動かす運動（1日30分以上）をどのくらい行っていますか。次の中から1つだけ をしてください。

### 基本施策 441 スポーツを軸としたまちづくりの推進

指標項目	現状値（H22）	目標値（H28）
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	52.8%	69.6%

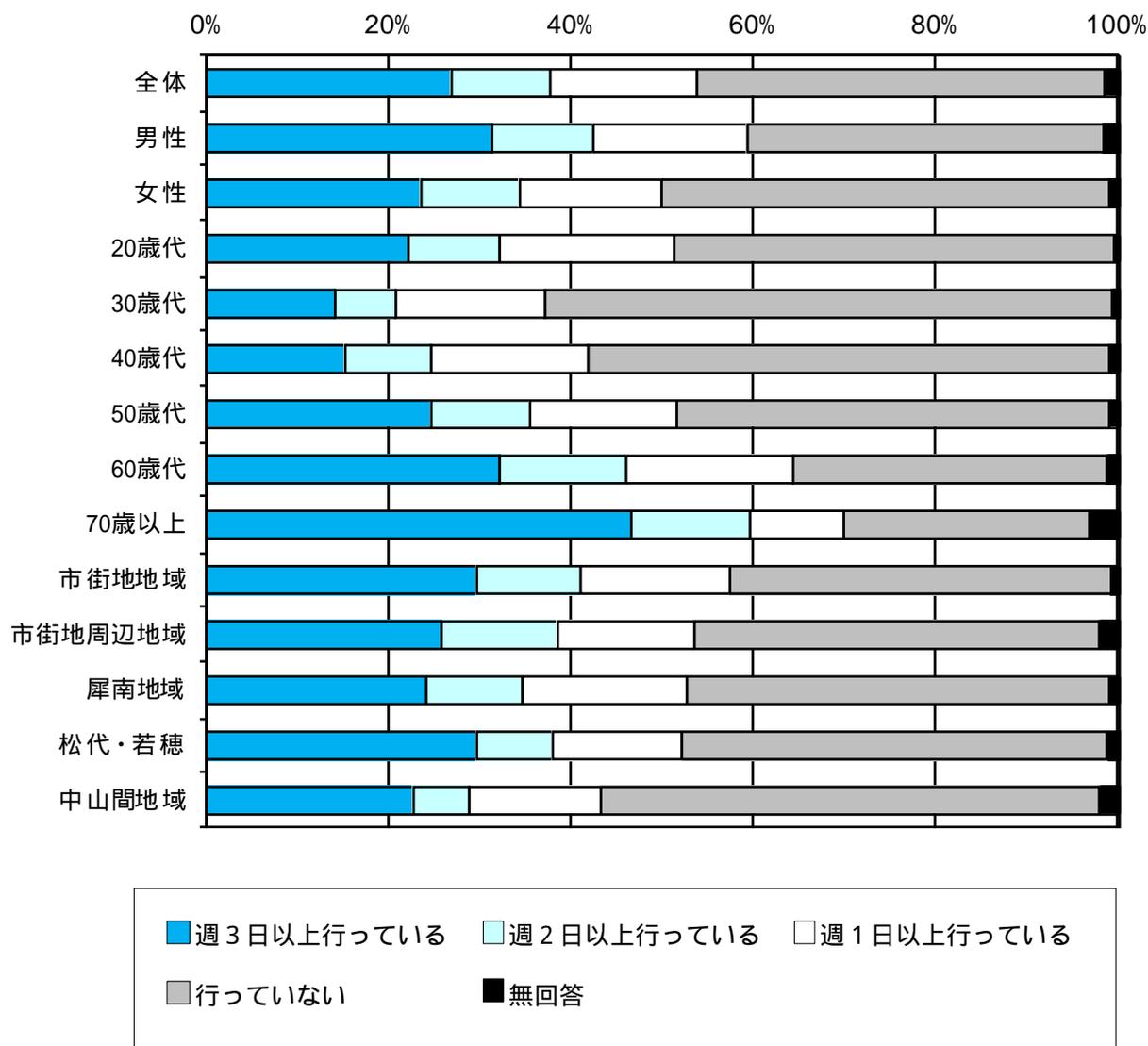
		週3日以上 行っている	週2日 行っている	週1日 行っている	行っていない	無回答	合計		
全体	度数	852	347	513	1,423	43	3,178		
	割合	26.8%	10.9%	16.1%	44.8%	1.4%	100.0%		
性別	男性	度数	426	150	230	531	21	1,358	
		割合	31.4%	11.0%	16.9%	39.1%	1.5%	100.0%	
	女性	度数	424	197	281	887	19	1,808	
		割合	23.5%	10.9%	15.5%	49.1%	1.1%	100.0%	
年代	20歳代	度数	60	27	52	130	1	270	
		割合	22.2%	10.0%	19.3%	48.1%	0.4%	100.0%	
	30歳代	度数	68	32	78	297	3	478	
		割合	14.2%	6.7%	16.3%	62.1%	0.6%	100.0%	
	40歳代	度数	87	54	99	326	5	571	
		割合	15.2%	9.5%	17.3%	57.1%	0.9%	100.0%	
	50歳代	度数	135	60	89	261	5	550	
		割合	24.5%	10.9%	16.2%	47.5%	0.9%	100.0%	
	60歳代	度数	237	100	136	252	8	733	
		割合	32.3%	13.6%	18.6%	34.4%	1.1%	100.0%	
	70歳以上	度数	263	73	58	152	17	563	
		割合	46.7%	13.0%	10.3%	27.0%	3.0%	100.0%	
	地域区分	市街地地域	度数	325	126	180	458	9	1,098
			割合	29.6%	11.5%	16.4%	41.7%	0.8%	100.0%
市街地周辺地域		度数	191	95	111	330	15	742	
		割合	25.7%	12.8%	15.0%	44.5%	2.0%	100.0%	
犀南地域		度数	205	89	153	392	9	848	
		割合	24.2%	10.5%	18.0%	46.2%	1.1%	100.0%	
松代・若穂		度数	81	23	39	128	3	274	
		割合	29.6%	8.4%	14.2%	46.7%	1.1%	100.0%	
中山間地域		度数	44	12	28	106	4	194	
		割合	22.7%	6.2%	14.4%	54.6%	2.1%	100.0%	

「1日30分以上の運動」をしているかについては、「行っていない（44.8%）」という回答が最も多い。続いて、「週3日以上行っている（26.8%）」、「週1日行っている（16.1%）」、「週2日行っている（10.9%）」の順となっている。

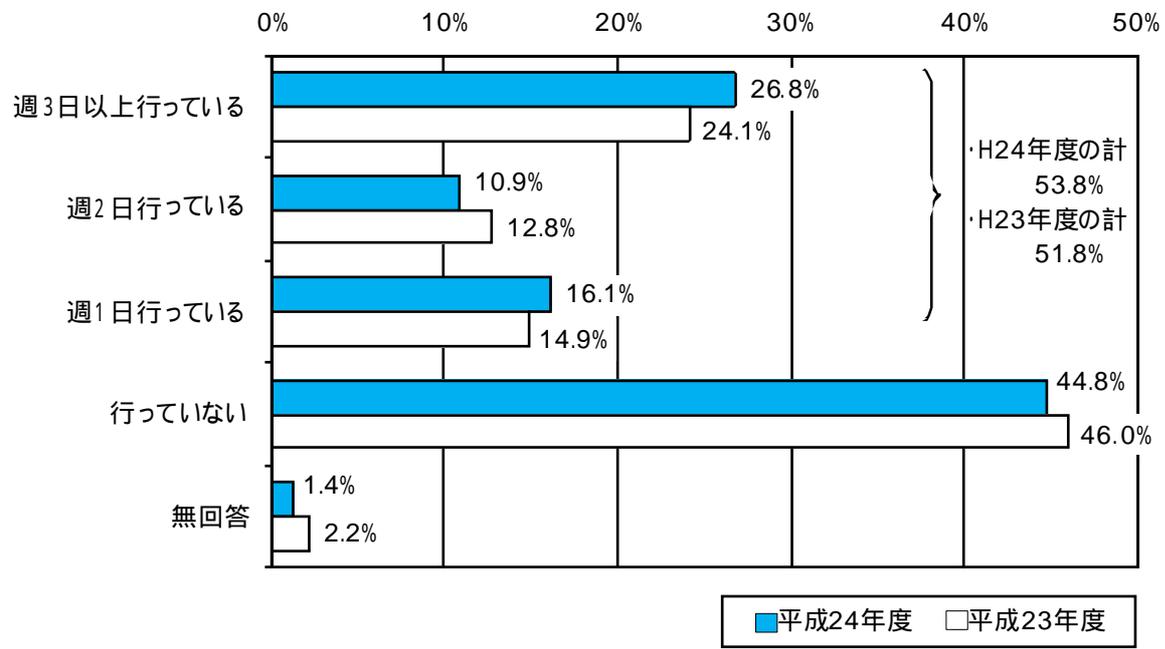
男女別で見ると、運動を「行っている」割合（「週1日行っている」から「週3日以上行っている」までを合計したもの）は「女性（49.9%）」よりも「男性（59.3%）」の方が高く、9.4ポイントもの差が見られる。

年代別では、運動を「行っている」割合は「30歳代」が37.2%と最も低く、以降、年代が高くなるにしたがって、割合も高くなっている。「70歳以上」では70.0%に達している。

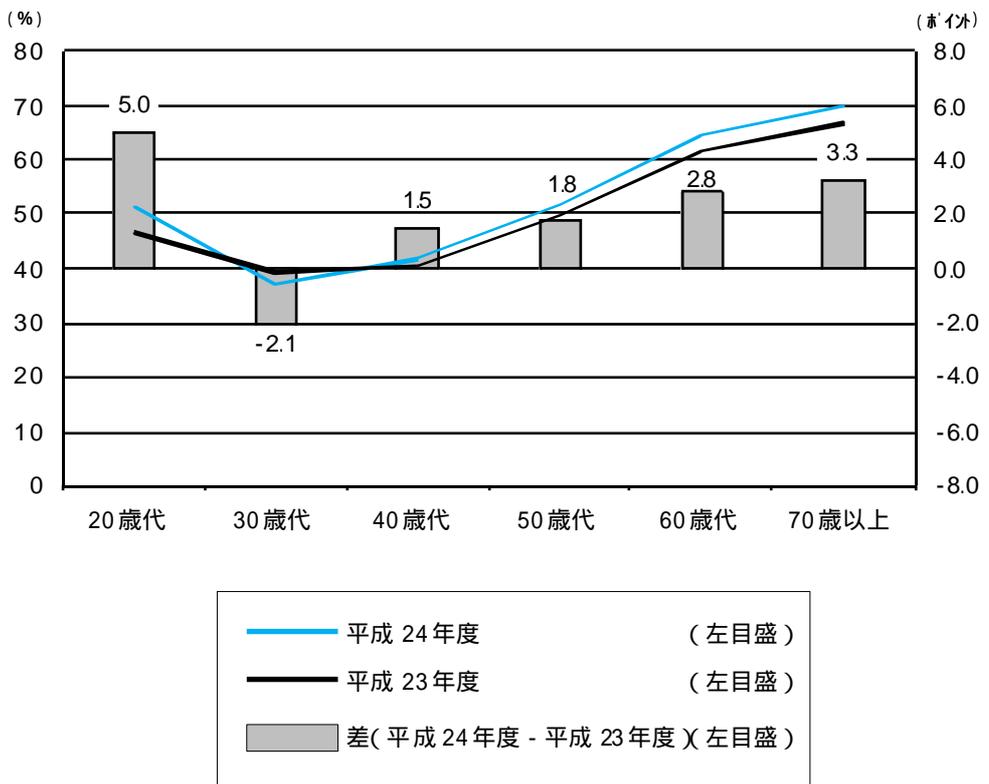
地域別では、運動を「行っている」割合は「中山間地域（43.3%）」以外の地域では50%を超えた。



平成 23 年度の調査結果と比較すると、運動を「行っていない」割合は、平成 23 年度の 46.0% から 1.2 ポイント減少し、44.8% となった。一方、「運動を行っている」割合は、平成 24 年度は 53.8% となり、平成 23 年度より 2.0 ポイント増加した。



運動を「行っている」割合を年代別で折れ線グラフに表し、平成 23 年度との差を縦棒グラフに表すと、次のとおりとなる。



## ホテルを見かけた市民の割合「17.8%」

問 18 お住まいの地区では、ホテルを見かけることがありますか。次の中から 1つだけ をしてください。

基本施策 212 良好な自然環境の確保		
指標項目	現状値 (H22)	目標値 (H28)
ホテルを見かけることがある市民の割合	18.2%	30.0%

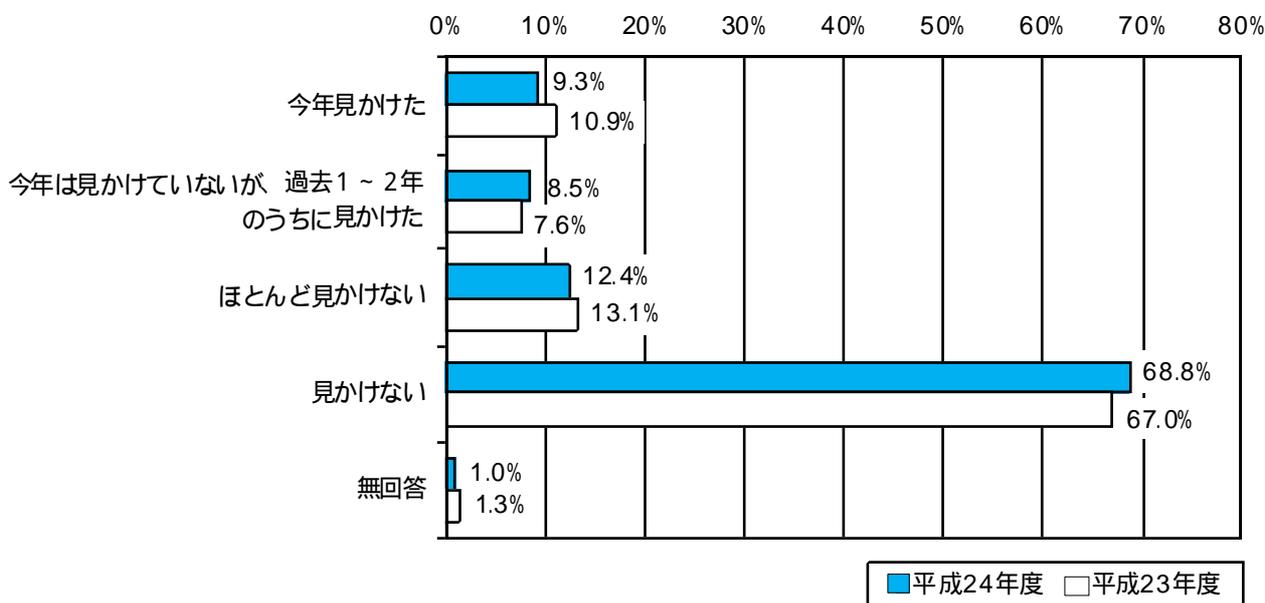
		今年見かけた	今年は見かけていないが、過去1～2年のうちに見かけた	ほとんど見かけない	見かけない	無回答	合計	
全体	度数	297	270	393	2,186	32	3,178	
	割合	9.3%	8.5%	12.4%	68.8%	1.0%	100.0%	
地域区分	市街地地域	度数	51	94	112	834	7	1,098
		割合	4.6%	8.6%	10.2%	76.0%	0.6%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	104	69	94	465	10	742
		割合	14.0%	9.3%	12.7%	62.7%	1.3%	100.0%
	犀南地域	度数	39	26	95	681	7	848
		割合	4.6%	3.1%	11.2%	80.3%	0.8%	100.0%
	松代・若穂	度数	55	37	46	133	3	274
		割合	20.1%	13.5%	16.8%	48.5%	1.1%	100.0%
	中山間地域	度数	47	40	45	60	2	194
		割合	24.2%	20.6%	23.2%	30.9%	1.0%	100.0%

「住んでいる地区でホテルを見かけることがあるか」については、「見かけない(68.8%)」という回答が最も多く、「ほとんど見かけない(12.4%)」の回答と合計すると、およそ8割の市民がホテルを見かけていないことが分かった。

「今年見かけた」は9.3%、「今年は見かけていないが、過去1～2年のうちに見かけた」は8.5%となり、この2つの回答を合計した「最近ホテルを見かけた市民の割合」は17.8%であり、2割に達していない。

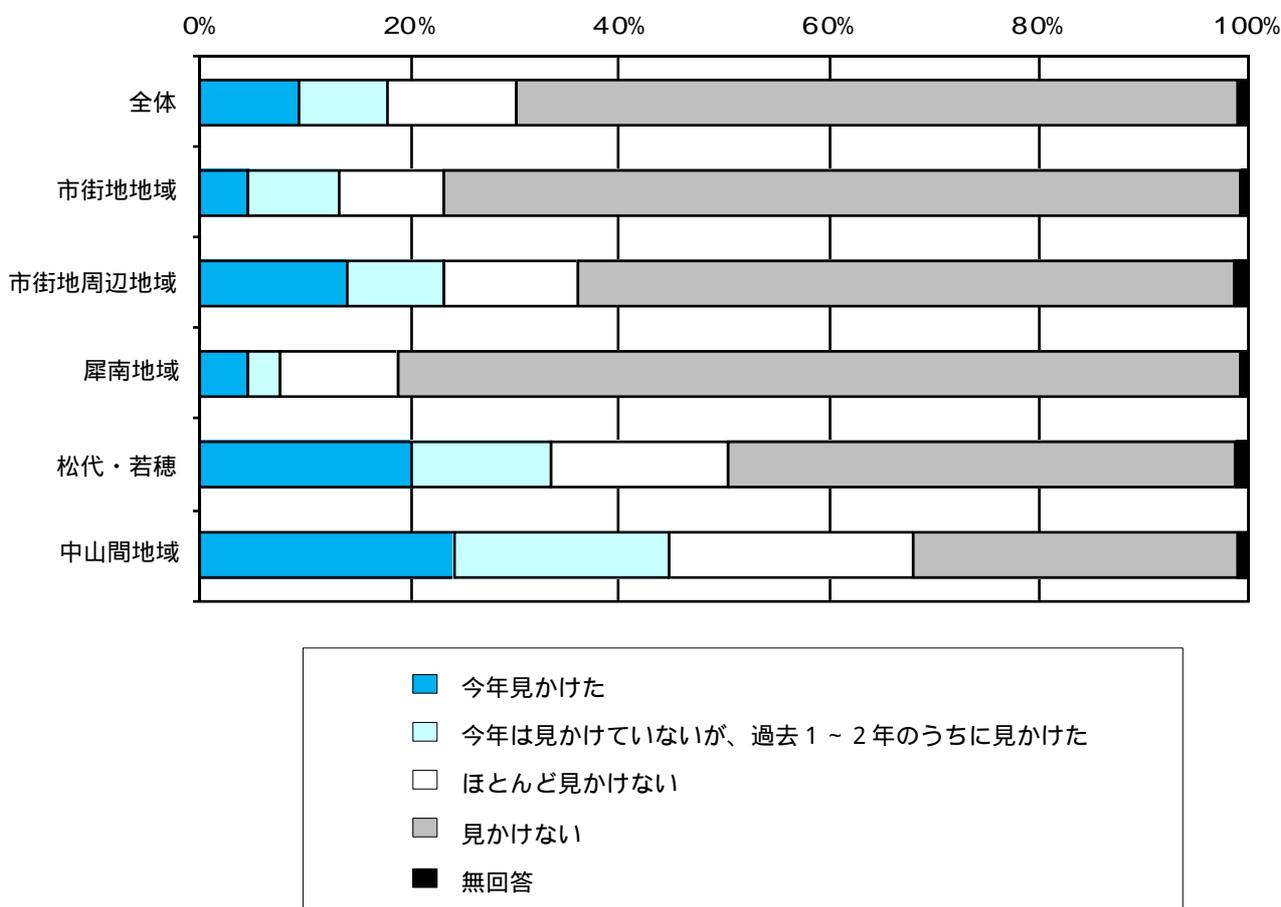
平成 23 年度の調査結果と比較すると、「見かけない」という回答は 1.8 ポイント増加した。

一方、「今年見かけた」および「今年は見かけていないが、過去 1～2 年のうちに見かけた」を合計した、「最近ホテルを見かけた市民の割合」は、平成 23 年度(18.5%)より 0.7 ポイント減少し、17.8%となった。



地域別で見ると、「最近ホテルを見かけた市民の割合」は、「中山間地域(44.8%)」が最も高く、4割以上の市民が「見かけた」と回答している。

一方、同割合が最も低かった地域は「犀南地域(7.7%)」で、「中山間地域」と比較すると 37.1 ポイントの大きな開きが見られる。



## 行政施策の満足度（第四次長野市総合計画 基本施策 アンケート指標）

### 市民満足度トップは「消防や救急救命活動」

問 19 あなたの日常生活を思い出していただき、1 から 44 のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号1つにをつけてください。実感や印象、経験でお答えください。  
 （選択肢：「1. そう思う」「2. ややそう思う」「3. あまりそう思わない」「4. そう思わない」「5. わからない」）

#### 【「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目】

順位	項 目	そう思う	やや そう思う	思う合計
1	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	19.0%	47.9%	66.9%
2	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	18.6%	46.5%	65.1%
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	16.2%	47.6%	63.8%
4	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	23.2%	38.3%	61.5%
5	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	13.2%	46.7%	59.9%

#### 【「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目】

順位	項 目	そう思う	やや そう思う	思う合計
40	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	1.9%	16.8%	18.7%
41	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている	1.8%	13.4%	15.2%
42	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1.0%	12.4%	13.4%
43	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1.3%	7.8%	9.1%
44	工業や製造業に活気がある	0.8%	6.1%	6.9%

「日常生活を思い出し、各項目についてどのように思うか」についての回答結果から、「そう思う」、「ややそう思う」という回答割合の合計上位5項目、下位5項目は、上記のとおりである。

市民の満足度が最も高い項目は、「消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている（思う合計 66.9%）」ことであった。消防や救急救命活動に対する満足度は、前年度から 9.6 ポイント向上し、初めてトップになった。

このほか、「生活排水や汚水の処理が適切に行われている（65.1%）」ことや、「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである（63.8%）」こと、「豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある（61.5%）」ことが6割以上の満足度を得ており、長野市の生活環境については、多くの市民が満足している結果となった。

一方、満足度が低い項目は、「工業や製造業の活気」、「仕事への就きやすさ」、「森林や山林資源の整備と有効活用」などであった。雇用や経済の活性化が、依然として大きな課題になっている。

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目】

順位	項目	あまりそう 思わない	そう思わない	思わない 合計
1	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	36.5%	36.9%	73.4%
2	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている	35.9%	36.4%	72.3%
3	工業や製造業に活気がある	36.2%	36.0%	72.2%
4	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	40.2%	28.6%	68.8%
5	個性的で魅力的なお店が増えている	33.3%	31.0%	64.3%

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目】

順位	項目	あまりそう 思わない	そう思わない	思わない 合計
40	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	21.3%	8.4%	29.7%
41	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	19.3%	7.3%	26.6%
42	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	20.3%	5.8%	26.1%
43	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	14.0%	6.4%	20.4%
44	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	11.1%	3.1%	14.2%

「日常生活を思い出し、各項目についてどのように思うか」についての回答結果から、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答割合の合計上位5項目、下位5項目は、上記のとおりである。

仕事への就きやすさや工業や製造業の活気について満足度が低くなっているほか、「魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている(思わない合計72.3%)」ことや「公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(68.8%)」ことに対する満足度が低くなっている。

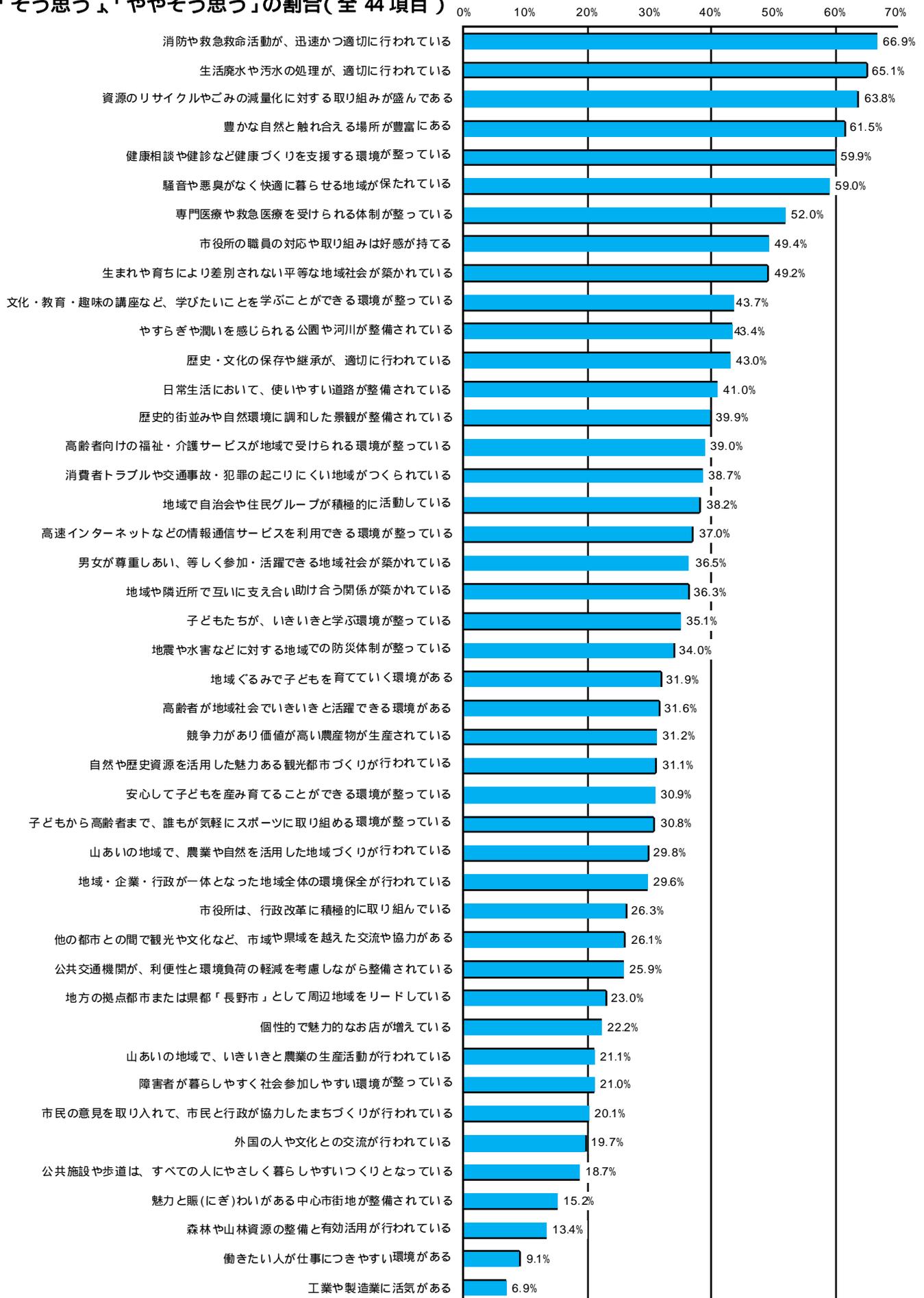
**<参考> 第四次長野市総合計画**

第四次長野市総合計画は、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち“ながの”」をまちづくりの目標(都市像)に定め、市民福祉の更なる向上と新たなまちづくりを展望した総合的な市政運営を行うための基本方針(長野市の最高方針)である。平成19年度を初年度として、平成28年度を目標としている。

総合計画は、まちづくりの方針や施策を示す「基本構想」と、施策の展開や取組内容を示す「基本計画」、具体的な事業を示す「実施計画」で構成されている。

「基本計画」は、目標年次までの前半5年間(平成19年度から平成23年度)の前期基本計画と、後半5年間(平成24年度から平成28年度)の後期基本計画に分けられ、基本施策の「アンケート指標」を定め、市民の皆さんによる評価の視点を導入している。

## 「そう思う」、「ややそう思う」の割合(全 44 項目)



複数回答

## 回答結果一覧（設問順）

No.	設 問 項 目	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない	無回答
1	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	14.8%	34.6%	20.8%	12.8%	12.3%	4.6%
2	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	4.7%	21.6%	30.7%	16.5%	20.9%	5.7%
3	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	4.5%	21.6%	27.7%	12.8%	27.0%	6.4%
4	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	4.2%	18.8%	32.5%	22.0%	16.6%	6.0%
5	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	4.4%	25.4%	27.2%	14.3%	22.6%	6.2%
6	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	6.1%	32.1%	26.7%	11.4%	17.6%	6.1%
7	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	2.9%	17.3%	33.0%	22.1%	19.1%	5.7%
8	男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	5.3%	31.2%	28.8%	11.5%	16.6%	6.5%
9	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	11.3%	38.0%	20.4%	9.6%	14.8%	5.9%
10	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	11.7%	40.4%	22.7%	11.5%	8.1%	5.7%
11	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	13.2%	46.7%	19.3%	7.3%	8.3%	5.3%
12	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	6.4%	29.9%	34.5%	14.0%	9.3%	5.8%
13	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	2.3%	18.7%	36.0%	19.3%	17.7%	6.0%
14	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	4.3%	27.2%	32.8%	14.9%	15.2%	5.6%
15	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	6.3%	32.7%	25.9%	13.2%	16.9%	5.1%
16	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	4.5%	26.4%	29.9%	18.1%	15.3%	5.8%
17	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	8.2%	35.3%	30.5%	16.0%	4.8%	5.4%
18	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	18.6%	46.5%	14.0%	6.4%	9.3%	5.1%
19	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	15.0%	44.0%	21.6%	10.0%	3.7%	5.7%
20	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	16.2%	47.5%	20.3%	5.8%	5.4%	4.7%
21	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	23.2%	38.3%	21.3%	8.4%	3.4%	5.3%
22	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	3.5%	26.2%	33.5%	13.0%	18.5%	5.4%
23	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がとられている	5.3%	33.4%	32.3%	9.9%	13.7%	5.4%
24	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	19.0%	47.8%	11.1%	3.1%	14.2%	4.7%
25	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	5.0%	28.9%	31.9%	10.3%	18.4%	5.4%
26	外国の人や文化との交流が行われている	2.6%	17.1%	30.6%	15.6%	27.9%	6.1%
27	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	5.0%	25.8%	32.7%	17.3%	13.7%	5.5%
28	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	5.9%	37.1%	24.0%	8.8%	18.2%	5.9%
29	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	7.0%	36.7%	26.4%	11.0%	13.1%	5.8%
30	地域ぐるみで子どもを育てている環境がある	4.0%	27.9%	33.8%	13.2%	15.2%	6.0%
31	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	4.9%	30.1%	31.1%	11.0%	17.1%	5.8%
32	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1.3%	7.8%	36.5%	36.9%	12.0%	5.5%
33	個性的で魅力的なお店が増えている	2.9%	19.3%	33.3%	31.0%	7.9%	5.6%
34	工業や製造業に活気がある	0.8%	6.1%	36.2%	36.0%	15.2%	5.7%
35	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1.0%	12.4%	31.0%	23.9%	25.6%	6.1%
36	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	2.8%	18.3%	27.4%	19.9%	25.5%	6.1%
37	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	4.9%	26.3%	27.0%	16.3%	19.5%	6.0%
38	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	3.7%	27.4%	30.6%	18.0%	14.6%	5.7%
39	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	7.7%	29.3%	21.0%	10.0%	25.1%	6.9%
40	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	6.2%	34.8%	29.6%	19.8%	4.5%	5.1%
41	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	3.0%	22.9%	32.9%	24.0%	11.3%	5.9%
42	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	4.2%	35.7%	30.2%	13.7%	10.2%	6.0%
43	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	1.9%	16.8%	40.2%	28.6%	7.3%	5.3%
44	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている	1.8%	13.4%	35.9%	36.4%	6.9%	5.6%

【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	男性 (n = 1,358)	女性 (n = 1,808)	20歳代 (n = 270)	30歳代 (n = 478)	40歳代 (n = 571)	50歳代 (n = 550)	60歳代 (n = 733)	70歳以上 (n = 563)
1	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (69.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (65.3%)	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている (43.3%) 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (43.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (69.2%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (65.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (74.5%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (71.4%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (67.5%)
2	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (65.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (64.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (43.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (64.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (64.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (69.5%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (67.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (65.2%)
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (61.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (64.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (41.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (60.5%) 消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (60.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (64.6%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (67.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (66.2%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (62.3%)
4	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (60.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (63.8%)	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている (41.5%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (60.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (61.6%) 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (61.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (66.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (60.8%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (61.3%)
5	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (57.2%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (62.2%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (40.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (59.8%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (60.4%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (64.4%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (57.2%)	市役所の職員の対応や取り組みが好感が持てる (59.9%)

【地域別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	市街地地域 (n = 1,098)	市街地周辺地域 (n = 742)	犀南地域 (n = 848)	松代・若穂 (n = 274)	中山間地域 (n = 194)
1	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (66.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (68.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (68.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (69.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (62.4%)
2	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (65.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (67.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (67.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (69.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (60.8%)
3	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (63.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (66.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (63.2%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (62.4%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (58.2%)
4	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (62.1%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (58.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (61.7%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (60.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (56.7%)
5	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (61.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (58.5%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (59.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (60.6%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (55.7%)

【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

順位	男性 (n=1,358)	女性 (n=1,808)	20歳代 (n=270)	30歳代 (n=478)	40歳代 (n=571)	50歳代 (n=550)	60歳代 (n=733)	70歳以上 (n=563)
40	公共施設や歩道はすべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (17.7%)	公共施設や歩道はすべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (19.4%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (19.3%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (18.0%)	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている (17.9%)	公共施設や歩道はすべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (17.3%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (15.1%)	個性的で魅力的なお店が増えている (15.5%) 山あいの地域でいきいきと農業の生産活動が行われている (15.5%)
41	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (14.1%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (16.3%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (17.4%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (16.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (15.2%) 公共施設や歩道はすべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (15.2%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (13.8%)	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている (14.5%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (14.9%)
42	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (13.8%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (12.9%)	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている (16.7%)	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている (15.7%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (13.7%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (12.0%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (8.3%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (10.3%)
43	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (9.2%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (9.1%)	工業や製造業に活気がある (13.7%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (12.1%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (7.7%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (9.1%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (7.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (7.6%)
44	工業や製造業に活気がある (6.8%)	工業や製造業に活気がある (7.0%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (11.9%)	工業や製造業に活気がある (7.3%)	工業や製造業に活気がある (6.1%)	工業や製造業に活気がある (6.0%)	工業や製造業に活気がある (4.4%)	工業や製造業に活気がある (5.9%)

【地域別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

順位	市街地地域 (n=1,098)	市街地周辺地域 (n=742)	犀南地域 (n=848)	松代・若穂 (n=274)	中山間地域 (n=194)
40	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (19.5%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (16.7%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (19.0%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (17.5%)	外国の人や文化との交流が行われている (11.9%)
41	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (17.5%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (14.6%)	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている (17.8%)	個性的で魅力的なお店が増えている (15.7%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (10.8%)
42	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (15.6%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (12.1%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (13.2%) 魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (13.2%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (11.3%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (9.8%)
43	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (10.7%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (8.5%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (9.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (6.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (5.7%)
44	工業や製造業に活気がある (7.7%)	工業や製造業に活気がある (6.6%)	工業や製造業に活気がある (7.4%)	工業や製造業に活気がある (6.2%)	工業や製造業に活気がある (3.1%)

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	男性 (n = 1,358)	女性 (n = 1,808)	20歳代 (n = 270)	30歳代 (n = 478)	40歳代 (n = 571)	50歳代 (n = 550)	60歳代 (n = 733)	70歳以上 (n = 563)
1	工業や製造業に活気がある (76.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (73.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (71.5%) 魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (71.5%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (77.0%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (79.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (79.5%)	工業や製造業に活気がある (75.9%)	工業や製造業に活気がある (59.0%)
2	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (73.8%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (71.5%)	工業や製造業に活気がある (66.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (76.4%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (78.5%)	工業や製造業に活気がある (77.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (75.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (58.8%)
3	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (73.6%)	工業や製造業に活気がある (69.0%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (65.9%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (74.5%)	工業や製造業に活気がある (77.9%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (76.9%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (72.0%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (57.9%)
4	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (69.2%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (68.8%)	個性的で魅力的なお店が増えている (58.9%) 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (58.9%)	工業や製造業に活気がある (72.4%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (75.7%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (74.2%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (68.6%)	個性的で魅力的なお店が増えている (56.8%)
5	個性的で魅力的なお店が増えている (63.9%)	個性的で魅力的なお店が増えている (64.8%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (53.3%)	地方の拠点都市または県都・長野市として周辺地域をリードしている (64.4%) 個性的で魅力的なお店が増えている (64.4%)	個性的で魅力的なお店が増えている (68.3%)	個性的で魅力的なお店が増えている (66.9%)	個性的で魅力的なお店が増えている (67.0%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (54.0%)

【地域別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	市街地地域 (n = 1,098)	市街地周辺地域 (n = 742)	犀南地域 (n = 848)	松代・若穂 (n = 274)	中山間地域 (n = 194)
1	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (72.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (72.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (75.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (76.3%)	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている (77.8%)
2	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (72.3%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (71.8%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (75.0%)	工業や製造業に活気がある (70.1%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (73.2%)
3	工業や製造業に活気がある (72.2%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (70.8%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (74.5%)	個性的で魅力的なお店が増えている (68.2%)	工業や製造業に活気がある (70.6%)
4	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (69.4%)	工業や製造業に活気がある (70.6%)	個性的で魅力的なお店が増えている (64.9%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (67.5%)	個性的で魅力的なお店が増えている (65.5%)
5	個性的で魅力的なお店が増えている (63.8%)	個性的で魅力的なお店が増えている (62.9%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (59.1%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (67.2%)	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている (64.9%)

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	男性 (n=1,358)	女性 (n=1,808)	20歳代 (n=270)	30歳代 (n=478)	40歳代 (n=571)	50歳代 (n=550)	60歳代 (n=733)	70歳以上 (n=563)
40	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (29.9%)	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている (29.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (28.1%)	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている (30.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (30.1%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (29.3%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (26.9%)	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている (20.4%)
41	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (29.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (25.7%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (27.8%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (29.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (29.2%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (28.4%)	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている (26.5%)	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる (17.6%)
42	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (26.7%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (24.7%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (26.7%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (27.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (28.5%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (26.9%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (24.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (16.9%) 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (16.9%)
43	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (21.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (20.1%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (26.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (22.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (20.1%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (20.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (22.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (16.7%)
44	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (14.1%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (14.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (18.9%) 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (18.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (17.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (16.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (12.0%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (13.1%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (10.1%)

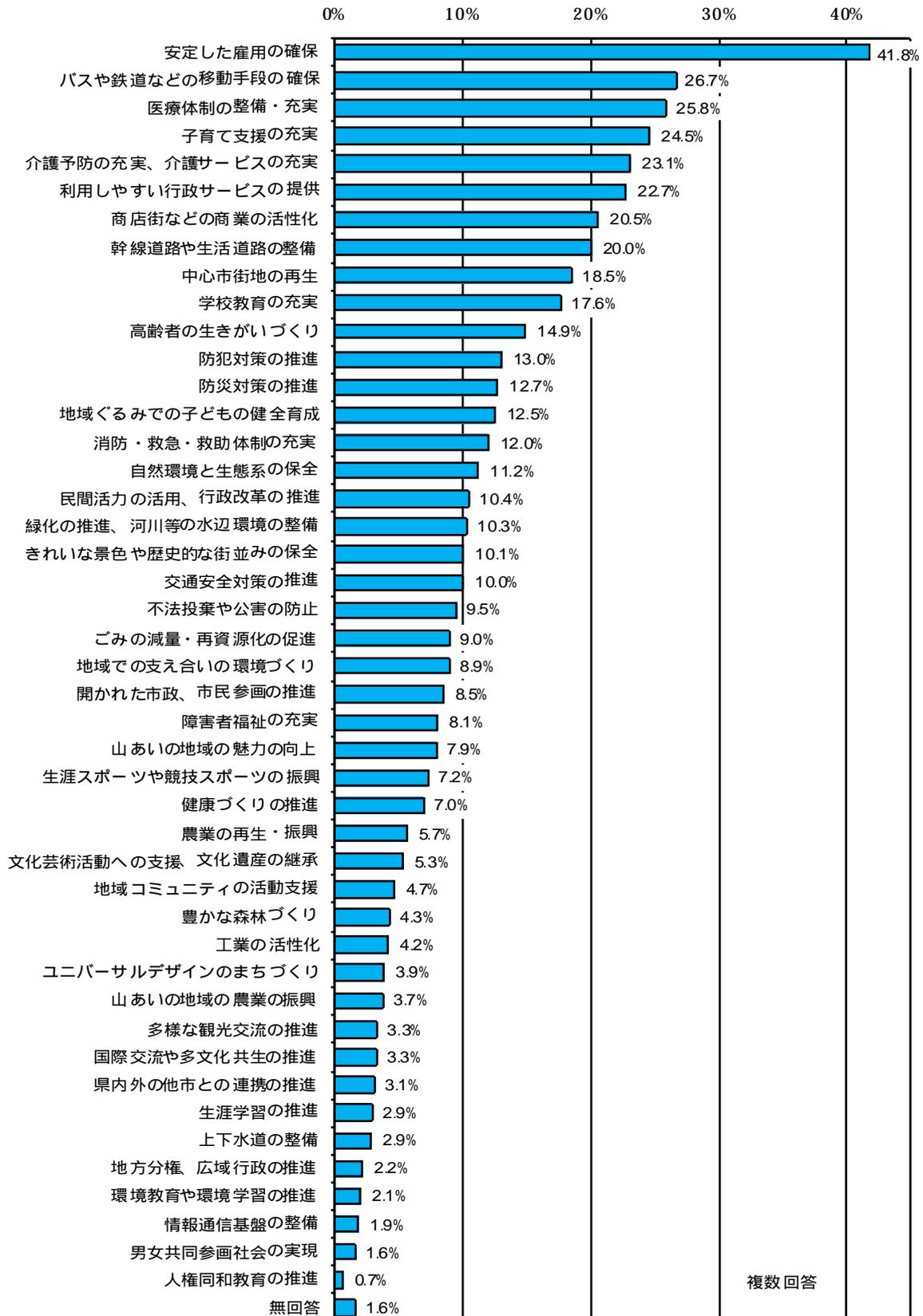
【地域別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	市街地地域 (n=1,098)	市街地周辺地域 (n=742)	犀南地域 (n=848)	松代・若穂 (n=274)	中山間地域 (n=194)
40	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (27.9%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (30.2%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (30.5%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (26.6%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (27.8%) 生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (27.8%) 市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる (27.8%)
41	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (26.8%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (25.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (28.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (24.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (24.7%) 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (24.7%)
42	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (25.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (22.4%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (27.8%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (23.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (23.7%)
43	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (20.7%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (15.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (21.7%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (20.1%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (22.7%)
44	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (14.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (14.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (13.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (12.0%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (19.1%)

## 行政施策の優先度

### 「安定した雇用の確保」4年連続でトップ

問 20 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記 45 項目の中から 5 つ



---

選んで、[回答欄に番号を記入してください。](#)

長野市が「特に力を入れるべき施策」としては、「安定した雇用の確保」が本年度の1位となった。これは平成21年度から4年連続でトップとなり、依然として厳しい雇用環境を表していると考えられる。

「バスや鉄道などの移動手段の確保」が前年度に引き続き、2位になった。この施策も、平成21年度から4年連続で2位を維持している。

前年度7位の「医療体制の整備・充実」が3位に順位を上げた。4位の「子育て支援の充実」、5位の「介護予防の充実、介護サービスの充実」とあわせ、福祉・健康分野に対する市民の関心の高さがうかがえる。

前年度、30位から11位へと大きく順位を上げた「防災対策の推進」は、今年度は13位だった。若干順位を下げたものの、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故などを契機とした、市民の防災に対する高い意識を表しているものと考えられる。

順位	全体 (n = 3,178)	男性 (n = 1,358)	女性 (n = 1,808)	20歳代 (n = 270)	30歳代 (n = 478)	40歳代 (n = 571)	50歳代 (n = 550)	60歳代 (n = 733)	70歳以上 (n = 563)
1	安定した雇用の確保 (41.8%)	安定した雇用の確保 (41.0%)	安定した雇用の確保 (42.4%)	安定した雇用の確保 (50.4%)	子育て支援の充実 (51.0%)	安定した雇用の確保 (41.7%)	安定した雇用の確保 (49.1%)	安定した雇用の確保 (42.2%)	安定した雇用の確保 (31.8%)
2	バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.7%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (25.7%)	医療体制の整備・充実 (27.5%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (35.6%)	安定した雇用の確保 (40.0%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (28.7%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (28.5%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.1%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (28.1%)
3	医療体制の整備・充実 (25.8%)	医療体制の整備・充実 (23.6%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (27.4%)	子育て支援の充実 (32.2%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (27.0%)	子育て支援の充実 (28.5%)	医療体制の整備・充実 (27.8%)	医療体制の整備・充実 (26.9%)	利用しやすい行政サービスの提供 (26.3%)
									バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.3%)
4	子育て支援の充実 (24.5%)	幹線道路や生活道路の整備 (22.7%)	子育て支援の充実 (27.0%)	医療体制の整備・充実 (25.9%)	学校教育の充実 (25.9%)	医療体制の整備・充実 (27.7%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.5%)	利用しやすい行政サービスの提供 (23.6%)	高齢者の生きがいづくり (22.4%)
5	介護予防の充実、介護サービスの充実 (23.1%)	子育て支援の充実 (21.3%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (25.9%)	中心市街地の再生 (25.2%)	医療体制の整備・充実 (25.7%)	学校教育の充実 (26.4%)	利用しやすい行政サービスの提供 (25.1%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (22.0%)	医療体制の整備・充実 (20.6%)
									幹線道路や生活道路の整備 (20.6%)
6	利用しやすい行政サービスの提供 (22.7%)	利用しやすい行政サービスの提供 (20.3%)	利用しやすい行政サービスの提供 (24.5%)	商店街などの商業の活性化 (22.2%)	商店街などの商業の活性化 (25.5%)	商店街などの商業の活性化 (22.9%)	商店街などの商業の活性化 (19.3%)	高齢者の生きがいづくり (21.1%)	消防・救急・救助体制の充実 (17.1%)
						中心市街地の再生 (22.9%)			
7	商店街などの商業の活性化 (20.5%)	商店街などの商業の活性化 (19.4%)	商店街などの商業の活性化 (21.4%)	幹線道路や生活道路の整備 (21.9%)	中心市街地の再生 (22.6%)	幹線道路や生活道路の整備 (21.7%)	幹線道路や生活道路の整備 (18.7%)	商店街などの商業の活性化 (20.3%)	商店街などの商業の活性化 (14.7%)
		介護予防の充実、介護サービスの充実 (19.4%)							
8	幹線道路や生活道路の整備 (20.0%)	中心市街地の再生 (17.0%)	学校教育の充実 (20.2%)	利用しやすい行政サービスの提供 (18.9%)	利用しやすい行政サービスの提供 (21.3%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (20.7%)	中心市街地の再生 (18.4%)	子育て支援の充実 (18.6%)	地域での支え合いの環境づくり (14.0%)
9	中心市街地の再生 (18.5%)	高齢者の生きがいづくり (15.2%)	中心市街地の再生 (19.5%)	きれいな景色や歴史的な街並みの保全 (16.3%)	幹線道路や生活道路の整備 (20.3%)	利用しやすい行政サービスの提供 (19.1%)	子育て支援の充実 (16.9%)	幹線道路や生活道路の整備 (18.4%)	不法投棄や公害の防止 (13.3%)
									学校教育の充実 (13.3%)
10	学校教育の充実 (17.6%)	民間活力の活用、行政改革の推進 (14.7%)	幹線道路や生活道路の整備 (17.9%)	生涯スポーツや競技スポーツの振興 (14.4%)	防犯対策の推進 (17.4%)	防犯対策の推進 (17.2%)	防災対策の推進 (15.3%)	中心市街地の再生 (14.7%)	民間活力の活用、行政改革の推進 (12.3%)
					地域ぐるみでの子どもの健全育成 (17.4%)				

【性別・年代別順位】

男女別で見ると、「安定した雇用の確保」が男女ともにトップとなり、「男性」は「バスや鉄道などの移動手段の確保」が、「女性」は「医療体制の整備・充実」が続いた。

「女性」では10位の「幹線道路や生活道路の整備」は、「男性」で4位に入っている。

年代別では、「30歳代」は「子育て支援の充実」が、それ以外の年代では「安定した雇用の確保」がトップになった。「子育て支援の充実」は、「20歳代」から「40歳代」にかけて3位以内に入ったが、それ以外の年代では順位を下げている。

一方、「介護予防の充実、介護サービスの充実」については、「50歳代」以降の年代で2位を占めているものの、「40歳代」では8位に、「30歳代」以下では上位に入らなかった。

前年度に大きく順位を上げた「防災対策の推進」は、「50歳代」で10位に入っている。

順位	全体 (n = 3,178)	市街地地域 (n = 1,098)	市街地周辺地域 (n = 742)	犀南地域 (n = 848)	松代・若穂 (n = 274)	中山間地域 (n = 194)
1	安定した雇用の確保 (41.8%)	安定した雇用の確保 (39.1%)	安定した雇用の確保 (43.4%)	安定した雇用の確保 (45.6%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (42.3%)	山あいの地域の 魅力の向上 (37.1%)
2	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (26.7%)	医療体制の整備・充実 (27.3%)	子育て支援の充実 (27.2%)	医療体制の整備・充実 (26.5%)	安定した雇用の確保 (40.5%)	安定した雇用の確保 (36.6%)
3	医療体制の整備・充実 (25.8%)	商店街などの 商業の活性化 (25.5%)	医療体制の整備・充実 (26.3%)	子育て支援の充実 (26.3%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (22.6%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (27.8%)
4	子育て支援の充実 (24.5%)	中心市街地の再生 (25.4%)	介護予防の充実、介護 サービスの充実 (26.1%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (25.6%)	介護予防の充実、介護 サービスの充実 (21.9%)	山あいの地域の 農業の振興 (26.8%)
5	介護予防の充実、介護 サービスの充実 (23.1%)	子育て支援の充実 (24.4%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (24.7%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (22.6%)	医療体制の整備・充実 (20.8%)	介護予防の充実、介護 サービスの充実 (22.2%) 幹線道路や 生活道路の整備 (22.2%)
6	利用しやすい行政 サービスの提供 (22.7%)	介護予防の充実、介護 サービスの充実 (23.5%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (24.1%)	学校教育の充実 (21.3%)	子育て支援の充実 (19.3%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (20.6%)
7	商店街などの 商業の活性化 (20.5%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (22.2%)	幹線道路や 生活道路の整備 (23.9%)	介護予防の充実、介護 サービスの充実 (20.5%) 商店街などの 商業の活性化 (20.5%)	農業の再生・振興 (18.2%)	医療体制の整備・充実 (20.1%)
8	幹線道路や 生活道路の整備 (20.0%)	幹線道路や 生活道路の整備 (18.9%) バスや鉄道などの 移動手段の確保 (18.9%)	中心市街地の再生 (18.7%)	幹線道路や 生活道路の整備 (18.4%)	商店街などの 商業の活性化 (17.2%) 幹線道路や 生活道路の整備 (17.2%)	高齢者の生きがいづくり (19.1%)
9	中心市街地の再生 (18.5%)	学校教育の充実 (17.5%)	商店街などの 商業の活性化 (17.3%)	中心市街地の再生 (16.2%)	高齢者の生きがいづくり (16.8%)	地域での支え 合いの環境づくり (17.5%)
10	学校教育の充実 (17.6%)	高齢者の生きがいづくり (14.1%)	学校教育の充実 (16.2%)	地域ぐるみでの 子どもの健全育成 (14.6%)	防災対策の推進 (15.3%)	子育て支援の充実 (15.5%)

### 【地域別順位】

地域別で見ると、「市街地地域」、「市街地周辺地域」、「犀南地域」では「安定した雇用の確保」が、「松代・若穂」では「バスや鉄道などの移動手段の確保」が、「中山間地域」では「山あいの地域の魅力の向上」がそれぞれトップとなった。

2位には、「市街地地域」と「犀南地域」では「医療体制の整備・充実」が、「市街地周辺地域」では「子育て支援の充実」が、「松代・若穂」と「中山間地域」では「安定した雇用の確保」が入っている。

「中山間地域」では、「山あいの地域の農業の振興」が4位に入っている。

---

**【行政施策の優先順位に係る前年度比較】**

設 問 項 目	順 位 ( 回 答 割 合 )	
	平成24年度	平成23年度
安定した雇用の確保	1 (41.8%)	1 (41.6%)
バスや鉄道などの移動手段の確保	2 (26.7%)	2 (29.3%)
医療体制の整備・充実	3 (25.8%)	7 (21.1%)
子育て支援の充実	4 (24.5%)	5 (22.9%)
介護予防の充実、介護サービスの充実	5 (23.1%)	3 (23.2%)
利用しやすい行政サービスの提供	6 (22.7%)	6 (21.4%)
商店街などの商業の活性化	7 (20.5%)	4 (23.0%)
幹線道路や生活道路の整備	8 (20.0%)	9 (20.0%)
中心市街地の再生	9 (18.5%)	8 (20.8%)
学校教育の充実	10 (17.6%)	10 (17.0%)
高齢者の生きがいづくり	11 (14.9%)	12 (13.8%)
防犯対策の推進	12 (13.0%)	20 (9.7%)
防災対策の推進	13 (12.7%)	11 (16.0%)
地域ぐるみでの子どもの健全育成	14 (12.5%)	14 (12.9%)
消防・救急・救助体制の充実	15 (12.0%)	15 (12.9%)
自然環境と生態系の保全	16 (11.2%)	22 (9.2%)
民間活力の活用、行政改革の推進	17 (10.4%)	21 (9.3%)
緑化の推進、河川等の水辺環境の整備	18 (10.3%)	23 (8.1%)
きれいな景色や歴史的な街並みの保全	19 (10.1%)	13 (13.0%)
交通安全対策の推進	20 (10.0%)	27 (6.8%)
不法投棄や公害の防止	21 (9.5%)	18 (10.5%)
ごみの減量・再資源化の促進	22 (9.0%)	17 (11.1%)
地域での支え合いの環境づくり	23 (8.9%)	24 (7.7%)
開かれた市政、市民参画の推進	24 (8.5%)	19 (10.1%)
障害者福祉の充実	25 (8.1%)	26 (7.0%)
山あいの地域の魅力の向上	26 (7.9%)	31 (5.7%)
生涯スポーツや競技スポーツの振興	27 (7.2%)	25 (7.3%)
健康づくりの推進	28 (7.0%)	33 (4.9%)
農業の再生・振興	29 (5.7%)	16 (11.3%)
文化芸術活動への支援、文化遺産の継承	30 (5.3%)	28 (6.1%)
地域コミュニティの活動支援	31 (4.7%)	38 (3.0%)
豊かな森林づくり	32 (4.3%)	32 (5.3%)
工業の活性化	33 (4.2%)	29 (5.8%)
ユニバーサルデザインのまちづくり	34 (3.9%)	36 (3.8%)
山あいの地域の農業の振興	35 (3.7%)	30 (5.7%)
多様な観光交流の推進	36 (3.3%)	35 (4.7%)
国際交流や多文化共生の推進	37 (3.3%)	39 (2.6%)
県内外の他市との連携の推進	38 (3.1%)	40 (2.5%)
生涯学習の推進	39 (2.9%)	34 (4.8%)
上下水道の整備	40 (2.9%)	37 (3.0%)
地方分権、広域行政の推進	41 (2.2%)	43 (1.5%)
環境教育や環境学習の推進	42 (2.1%)	41 (2.1%)
情報通信基盤の整備	43 (1.9%)	42 (1.7%)
男女共同参画社会の実現	44 (1.6%)	44 (0.8%)
人権同和教育の推進	45 (0.7%)	45 (0.5%)



---

### 3 アンケート用紙

平成 24 年 10 月 25 日

各 位

## 「まちづくりアンケート」ご協力をお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

このアンケートは、市民の皆さまのご意見やご要望をお聴きし、長野市のまちづくりに反映させることを目的に、昭和 57 年度から毎年度実施しております。

本年度は、平成 24 年 10 月 16 日現在の長野市の住民基本台帳に登録されている 20 歳以上の市民の皆さまから、5 千人の方を無作為に抽出させていただき、あなたにアンケートをお願いすることとなりました。

この調査のまとめはコンピューターにより統計的に処理を行いますので、個人の秘密が漏れたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはありません。つきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、この調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの記入にご協力をお願い申し上げます。

なお、調査結果の概要は、平成 25 年 3 月発行の「広報ながの」に掲載する予定です。

敬具

長野市長 鷲澤 正一

### ご記入の方法などについて

この「まちづくりアンケート」は、あなた自身の率直な考えをお書きください。

回答は、あなた自身の考えに近いものをお選びください。

「その他」に当てはまる場合は、( ) 内に具体的に記入してください。

ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに  
**平成 24 年 11 月 8 日 (木) までにご返送ください。**

このアンケートについてのお問い合わせは、

長野市企画政策部広報広聴課広聴担当

電話：026・224・5004 (直通) までお願いいたします。

## まちづくりアンケート

以下、選択肢の該当する番号に をしてください。

### 【最初にあなた自身についてお聞きします】

問A あなたがお住まいの地区は。

- |         |        |       |       |        |        |
|---------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 1 第一    | 2 第二   | 3 第三  | 4 第四  | 5 第五   | 6 芹田   |
| 7 古牧    | 8 三輪   | 9 吉田  | 10 古里 | 11 柳原  | 12 浅川  |
| 13 大豆島  | 14 朝陽  | 15 若槻 | 16 長沼 | 17 安茂里 | 18 小田切 |
| 19 芋井   | 20 篠ノ井 | 21 松代 | 22 若穂 | 23 川中島 | 24 更北  |
| 25 七二会  | 26 信更  | 27 豊野 | 28 戸隠 | 29 鬼無里 | 30 大岡  |
| 31 信州新町 | 32 中条  |       |       |        |        |

地区名が分からない場合は、町名を記入してください。( )

問B あなたの性別は。

- 1 男性 2 女性

問C あなたの年代は。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代  
4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上

問D あなたの職業は。

《自営業主および家族従業員》

- 1 農業・林業・漁業 2 工業 3 商業・自由業

《会社員・公務員》

- 4 会社員(事務系) 5 会社員(技術系) 6 公務員・教員

《その他》

- 7 主婦 8 パート・アルバイト 9 無職(学生含む) 10 その他

問E あなたは長野市にお住まいになって何年になりますか。

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満  
3 10年以上20年未満 4 20年以上

### 【広報活動について】

問1 あなたは長野市の行政情報を得るために、主にどの方法を利用していますか。利用頻度の多いものから3つ以内で選び、 をしてください。(順番は問いません)

- 1 広報ながの(広報紙)  
2 長野市ホームページ(インターネット・スマートフォン)  
3 携帯電話版の長野市ホームページ  
4 長野市メールマガジン  
5 インターネットテレビ局「愛テレビながの」  
6 テレビ・ラジオの市政放送番組  
7 テレビ・ラジオのニュース番組  
8 新聞に掲載される長野市の広告  
9 新聞のニュース記事  
10 チラシなどの回覧物  
11 その他( )  
12 特に利用していない

問2 「広報ながの」についてお伺いします。あなたは、「広報ながの」の掲載情報に関して、日頃どのよう  
 感じていますか。次の3つの観点から、それぞれ1つだけ をしてください。

掲載内容について

- 1 非常に興味がある
- 2 興味がある
- 3 普通である
- 4 あまり関心がない
- 5 全く関心がない

掲載の分かりやすさについて

- 1 非常に分かりやすい
- 2 分かりやすい
- 3 普通である
- 4 分かりにくい
- 5 非常に分かりにくい

情報の量について

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 多すぎる  | 2 やや多い  | 3 普通である |
| 4 やや少ない | 5 少なすぎる |         |



広報ながの9月号表紙



10月号表紙

問3 あなたが「広報ながの」を読む頻度はどのくらいですか。次の中から1つだけ をしてください。

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 毎月(毎号)欠かさずに読んでいる | 2 年に6回以上読んでいる |
| 3 年に3~5回読んでいる      | 4 年に1~2回読んでいる |
| 5 全く読んでいない         |               |

問4 広報ながのについて、今後見やすい紙面とするために望ましいことは、どんなことだと思えますか。  
 次の中から1つだけ をしてください。(印刷に掛かる経費は増やさないことを前提としています。)

- 1 記事の量を少なくして文字を大きくする
- 2 記事の量を少なくして写真やグラフ、絵などを盛り込む
- 3 ページ数を減らし、カラーまたは2色刷りとする
- 4 縦書き・横書き、左綴じ・右綴じなどデザインや記事の表記方法を統一する
- 5 タブloid版(新聞の半分の大きさ)とし、ページ数を減らす
- 6 その他( )
- 7 現在のままでよい

問5 あなたが「長野市ホームページ」を利用する頻度はどのくらいですか。次の中から1つだけ をしてください。

- 1 ほぼ毎日利用している
- 2 定期的に(週に数回程度)利用している
- 3 定期的に(月に数回程度)利用している
- 4 必要に応じて、時々利用している
- 5 全く利用したことがない
- 6 インターネットに接続する環境をもっていない



長野市ホームページ(トップページ)



問9 全員の方にお伺いします。市立図書館では、過去に実施したアンケート調査の結果を受け、開館時間の延長や祝日開館をはじめ、インターネット予約の実施、移動図書館の巡回コース拡大など、サービスの充実を図ってきましたが、さらに利用しやすくするために実施したらよいと思うものを次の中から3つ以内で選び、 をしてください。

- 1 予約した本や借りた本を、図書館以外の場所でも受け取ったり返却したりできるようにする
- 2 開館時間(\*1)をさらに延長する
- 3 1人当たりの貸し出し冊数(\*2)を増やす
- 4 専門書や実用書などの資料を充実させる
- 5 おはなし会や講演会などの行事を充実させる
- 6 図書館にインターネット閲覧用のパソコンを設置する
- 7 電子書籍の貸し出しサービスを行う
- 8 図書などの宅配サービス(有料)を行う
- 9 その他( )
- 10 現状のままでよい

( \*1 ) 現在の開館時間：長野図書館 午前9時45分から午後7時まで(土・日・祝日は午後6時まで)  
南部図書館 午前10時から午後6時まで

( \*2 ) 貸し出し冊数：1人10冊まで(移動図書館は5冊まで)

### 【選挙における投票行動について】

問10 平成23年(2011年)9月18日に執行された長野市議会議員一般選挙で、あなたは投票しましたか。次の中から1つだけ をしてください。

- 1 投票した 問11へ
- 2 投票しなかった 問12へ
- 3 選挙権がなかった(未成年・住所要件・国籍要件など) 問13へ

問11 問10で「1 投票した」に をした方にお伺いします。あなたが投票した理由について、次の中から2つ以内で選び、 をしてください。

- 1 市政をさらに良くするためには、投票することが大切と思ったから
- 2 投票することは義務であるから
- 3 投票することは権利であるから
- 4 当選させたい候補者がいたから
- 5 投票率の向上が課題であると聞いていたから
- 6 自分の関係する団体、組織、知り合いの人に投票を頼まれたから
- 7 友人や家族が行くから、何となく
- 8 その他( )

問12 問10で「2 投票しなかった」に をした方にお伺いします。あなたが投票しなかった理由について、次の中から3つ以内で選び、 をしてください

- 1 仕事が忙しく、時間がなかったから
- 2 旅行やレジャーに出掛けていたから
- 3 病気(介護・看病を含む)または体調が悪かったから
- 4 適当な候補者がいなかったから
- 5 候補者の人柄や政策が分からなかったから
- 6 市政や選挙には関心がないから
- 7 選挙で市政や暮らしが良くなるとは思えないから
- 8 自分一人が投票しなくても影響がないから
- 9 投票所が遠かった(不便だった、分からなかった)から
- 10 その他( )



【市政全般について】

問19 あなたの日常生活を思い出していただき、1から44のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号1つに をしてください。実感や印象、経験でお答えください。

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
例	や な環境が整っている	1	2	3	4	5

《行政経営について》

1	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	1	2	3	4	5
2	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
3	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	1	2	3	4	5
4	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	1	2	3	4	5
5	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	1	2	3	4	5
6	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	1	2	3	4	5
7	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	1	2	3	4	5

《保健・福祉について》

8	男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	1	2	3	4	5
9	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	1	2	3	4	5
10	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	1	2	3	4	5
11	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	1	2	3	4	5
12	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	1	2	3	4	5
13	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1	2	3	4	5
14	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	1	2	3	4	5
15	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5
16	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	1	2	3	4	5

《環境について》

17	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	1	2	3	4	5
18	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	1	2	3	4	5
19	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	1	2	3	4	5
20	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	1	2	3	4	5
21	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	1	2	3	4	5
22	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	1	2	3	4	5

問19の続き

質問項目		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
------	--	------	--------	-----------	--------	-------

《防災・安全について》

23	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	1	2	3	4	5
24	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	1	2	3	4	5
25	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	1	2	3	4	5

《教育、文化について》

26	外国の人や文化との交流が行われている	1	2	3	4	5
27	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	1	2	3	4	5
28	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	1	2	3	4	5
29	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	1	2	3	4	5
30	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	1	2	3	4	5
31	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	1	2	3	4	5

《産業、経済について》

32	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1	2	3	4	5
33	個性的で魅力的なお店が増えている	1	2	3	4	5
34	工業や製造業に活気がある	1	2	3	4	5
35	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1	2	3	4	5
36	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	1	2	3	4	5
37	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	1	2	3	4	5
38	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	1	2	3	4	5

《都市整備について》

39	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	1	2	3	4	5
40	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	1	2	3	4	5
41	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	1	2	3	4	5
42	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	1	2	3	4	5
43	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	1	2	3	4	5
44	魅力と賑(にぎ)わいがある中心市街地が整備されている	1	2	3	4	5

問20 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記45項目の中から5つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

分野	番号	項目	分野	番号	項目
行政経営	1	利用しやすい行政サービスの提供	教育・文化	27	国際交流や多文化共生の推進
	2	民間活力の活用、行政改革の推進		28	生涯スポーツや競技スポーツの振興
	3	県内外の他市との連携の推進		29	文化芸術活動への支援、文化遺産の継承
	4	地方分権、広域行政の推進		30	生涯学習の推進
	5	山あいの地域の魅力の向上		31	地域ぐるみでの子どもの健全育成
	6	地域コミュニティの活動支援		32	学校教育の充実
	7	開かれた市政、市民参画の推進		33	安定した雇用の確保
保健・福祉	8	男女共同参画社会の実現	産業・経済	34	商店街などの商業の活性化
	9	人権同和教育の推進		35	工業の活性化
	10	医療体制の整備・充実		36	豊かな森林づくり
	11	健康づくりの推進		37	山あいの地域の農業の振興
	12	地域での支え合いの環境づくり		38	農業の再生・振興
	13	障害者福祉の充実	39	多様な観光交流の推進	
	14	高齢者の生きがいづくり	都市整備	40	情報通信基盤の整備
	15	介護予防の充実、介護サービスの充実		41	幹線道路や生活道路の整備
16	子育て支援の充実	42		バスや鉄道などの移動手段の確保	
17	緑化の推進、河川等の水辺環境の整備	43		きれいな景色や歴史的な街並みの保全	
環境	18	上下水道の整備	44	ユニバーサルデザインのまちづくり	
	19	不法投棄や公害の防止	45	中心市街地の再生	
	20	ごみの減量・再資源化の促進			
	21	自然環境と生態系の保全			
	22	環境教育や環境学習の推進			
防災・安全	23	防犯対策の推進			
	24	交通安全対策の推進			
	25	消防・救急・救助体制の充実			
	26	防災対策の推進			

**回答欄**

1	2	3	4	5

アンケートは以上です。  
お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

恐れ入りますが、**11月8日(木)**までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。



---

平成 2 5 年 3 月発行

発行：長野市

編集：長野市企画政策部 広報広聴課

長野市大字鶴賀緑町 1 6 1 3 番地 電話 0 2 6 ( 2 2 4 ) 5 0 0 4 ( 直通 )

E-Mail : kouhou-kouchou@city.nagano.lg.jp

[http : www.city.nagano.nagano.jp/](http://www.city.nagano.nagano.jp/)

集計・印刷：株式会社 共栄測量設計社